

# <sup>デジタルカメラ</sup> COOLPIX W300 活用ガイド



### • 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。

- 「安全上のご注意」(viページ)、「<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(xページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

# 肻 見たいページを探す

閲覧中のページで右下の 🎧 をタッチまたはクリックすると、いつでもこのページ に戻れます。

# 目次項目から探す

はじめに	iii
目次	xiv
各部の名称	1
撮影の準備	9
撮影と再生の基本操作	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	
動画	
位置情報機能を使う	
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	
メニューを使う	
資料	

# 目的から探す







耐衝撃・防水 について



画像の編集 (静止画)



撮影モードを 選ぶ







# はじめに

# はじめにお読みください

このたびは、COOLPIX W300をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

## 本書の記載について

- ページ右下の () をタッチまたはクリックすると「見たいページを探す」(口ii) を表示します。
- 本文中のマークについて

マーク	意味
V	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたい ことを記載しています。
I	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、 メッセージなどは、[]で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。



はじめにお読みください



## ご確認ください

#### ●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

#### ●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正 常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損 害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご 容赦願います。

#### ●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(電池、バッテリーチャージャー、本体充電AC アダプター、ACアダプター、USBケーブル)に適合するように作られていますの で、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を 示すホログラムシールが貼られています。
- ・ 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになる と、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱 や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。



他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能
 性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

#### ●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記の ウェブサイトからダウンロードできます。 http://downloadcenter.nikonimglib.com
   ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。
- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます(有料)。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



はじめにお読みください

#### ●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著 作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的 であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合があ りますのでご注意ください。

#### ●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー(メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む)内のデータはカメラやパ ソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄し た後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要な データが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任 において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、セットアップメニュー(□120)の[設定クリアー]でカ メラの各種設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフト ウェアなどを使ってメモリー内のデータを完全に削除するか、セットアップメ ニュー(□120)の[メモリーの初期化]または[カードの初期化]でメモリー を初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをお すすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況 やけがなどに十分ご注意ください。

メモリーカードに保存したログデータの扱いは、メモリーカード内の他のデータ と同じです。メモリーカードに未保存の取得済みデータは、[ログ取得]→[全ロ グ取得終了]→[ログ消去]で消去できます。

#### ●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 (VCCIマークは以下の操作で画面上に表示されます。MENUボタンを押す→↓メ ニューアイコン→認証マークの表示→⑩ボタン)

VCCI-B



🕤 はじめに

はじめにお読みください

# 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に 「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



は、実行しなければならない内容です。







安全上のご注意

vi



│ 禁止	<b>電源を入れたまま長時間直接触らない</b> 低温やけどの原因になります。
◎ 禁止	<b>引火、爆発のおそれのある場所では使わない</b> プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉 塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。
○ 禁止	フラッシュやAF補助光、LEDライト、動画照明を運転者にむけて発光 しない 事故の誘発につながります。
◇ 禁止	<b>幼児の手の届くところに置かない</b> 故障やけがの原因になります。 小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
○ 禁止	<b>ストラップ類を首に巻きつけない</b> 事故の原因になります。
○ 禁止	<ul> <li>指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない</li> <li>指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、</li> <li>以下の点に注意する</li> <li>コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない。</li> <li>重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げたりしない</li> <li>海外旅行者用電子式変電圧器(トラベルコンバーター)や DC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない</li> <li>発火、感電の原因になります。</li> </ul>
│ 禁止	<b>充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグ に触らない</b> 感電の原因になります。
後 接触	<b>高温環境や低温環境では、直接触らない</b> やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。



🕤 はじめに

安全上のご注意

∖注意 

$\bigcirc$	禁止	レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。 逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。
0	実行	使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする 位置情報記録機能はOFFにする ログの取得は終了する 無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しな いようにする 医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に 悪影響を与えるおそれがあります。
	実行	<b>長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す</b> 故障や発火の原因になります。
	接触 禁止	<b>フラッシュを人体やものに密着させて発光させない</b> やけどや発火の原因になります。
$\bigcirc$	禁止	AF補助光、LEDライト、動画照明を直接見ない 視覚に悪影響を及ぼすことがあります。
$\bigcirc$	禁止	<b>夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない</b> 故障や発火の原因になります。
		<b>危険</b> (電池について)
$\bigcirc$	禁止	<ul> <li>電池は誤った使いかたをしない</li> <li>注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。</li> <li>充電池は、専用の充電池以外を使わない</li> <li>電池を火の中に入れたり、加熱したりしない</li> <li>電池を分解してい</li> </ul>

- 電池を分解しない
  - 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて ショート(短絡)しない
  - 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げた りしない



viii



指定の方法で充電する

実行い流し、医師の診察を受ける

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

放置すると、目に傷害を与える原因になります。

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗

	警告 (電池について)
◇ 禁止	<b>電池を乳幼児の手の届く所に置かない</b> 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
│ 禁止	<b>水につけたり、雨にぬらしたりしない</b> 発火や故障の原因になります。 ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってくだ さい。
│ 禁止	変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない 所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する 放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
● 実行	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニー ルテーブなどで接点部を絶縁する 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。 ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただく か、自治体の規則に従って廃棄してください。
<b>月</b> 実行	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水 で洗い流す 故置すると皮膚のかぶれなどの原因になります。



🕤 はじめに

安全上のご注意

# <重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

- ここに記載している耐衝撃性能、防水/防じん性能は、すべての状態での無破壊、 無故障、防水を保証するものではありません。
- 本製品をぶつけたり落としたり、本製品に重いものを載せたりして、強い衝撃 や振動や圧力を与えないでください。変形して気密性を失い、故障や浸水の原 因になります。
- お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

### 耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock<sup>※</sup>に準拠した当社試験(高さ240 cmから厚さ5 cmの合板上へ落下)をパスしています。

なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象で はありません。

※ 米国国防総省の試験方法の規格です。

5台のカメラを使って、高さ122 cmから26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を行い、5台以内で26方向の落下をクリアすることと規定されています。

## 防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 30 m で 60分まで撮影できます。\*\*

※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。

- 本製品の防水性能は、真水(プール、河川、湖など)と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると部品がサビつくなど修 理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。
- 付属品は防水仕様ではありません。

#### ▶ クリーニングするときのご注意

- マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- クリーニング時はベンジンなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。

#### 🕤 はじめに

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について



### 耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意

- 本製品を落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしない。
- 水中で本製品に衝撃を与えない。
  - 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
  - 本製品を水深 30 m より深いところに持ち込まないでください。
  - 水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。本製品は水に浮きません。
- 水中で60分以上連続して使わない。
- ぬれたメモリーカード、電池をカメラに入れない。
   カメラや手がぬれた状態でカバーを開閉しないでください。浸水や故障の原因になります。
- 水中で電池/メモリーカードカバーを開閉しない。
- カメラの外側や電池 / メモリーカードカ バーの内側に水滴などの液体が付着した ら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取る。
  - カメラの外側や電池 / メモリーカード カバーの内側に異物が付着したら、す ぐにブロアーや柔らかい布などで取 り除いてください。
  - 電池 / メモリーカードカバー内側の防水パッキンに異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。付属のブラシは防水パッキンの清掃以外には使用しないでください。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40℃
   以上の高温下に長時間放置しない。
  - 防水性能が劣化します。
  - 水温0℃から40℃の範囲内でお使いく ださい。
- 温泉では使用しない。







#### 🕤 はじめに

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

хi

## 水中で使用する前のご注意

水中で使用するときには以下を実施してください。

- 陸上専用ストラップを取り外す。
- 電池/メモリーカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる。
- 電池/メモリーカードカバーの防水パッキンにひび割れや変形がないか確かめる。
   防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- 電池/メモリーカードカバーを確実に閉じたか確かめる。
  - ダイヤルの指標が、「閉じる」状態になっていることも確かめてください。

### 使用温度と湿度、結露について

このカメラは、-10℃~+40℃での動作確認をしています。 寒冷地や標高の高い山では、以下にご注意ください。

- 電池の性能が一時的に低下します。カメラや予備電池は、衣服の内側に入れる など、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、電源をONにした直後は画像モニターが通常よりも 少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあり ます。

#### ● 結露しやすい環境について

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズや画 像モニターの内側がくもる(結露する)場合があります。本機の故障や不具合で はありません。

- 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、電池/メモリーカードカバーを開閉する

#### ● 結露しにくくするには

- 電池 / メモリーカードカバーを開けた状態にしたカメラと、市販の乾燥剤をビニール袋などに入れて密閉してください。
   カメラ内部の湿度を下げると、結露しにくくなります。
- 水中で使用する前には、カメラの温度が高くなる場所(直射日光が当たる場所 など)を避けて保管してください。
   カメラの温度が高い状態で水中に入れると、急激な温度変化により結露発生の 原因になります。



━ <重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

xii

#### ● くもりを取る方法

高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源をOFFにしてから電池/メモリーカードカバーを開ける。
 電池とメモリーカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、くもりが取れます。

### 点検・修理について

- 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、
   防水性能の点検(有料)をおすすめします。
- 防水パッキンが劣化していると思われるときはご購入店かニコンサービス機関 にご相談ください。防水パッキンの防水性能は1年以上すると劣化することがあ ります。
- カメラ内部へ浸水した場合はただちに使用を中止し、すみやかにニコンサービス機関へお持ちください。



<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について



# 目次

**6** 目次

見たいページを探す	ii
- 目次項目から探す	ii
目的から探す	ii
はじめに	iii
はじめにお読みください	iii
本書の記載について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi
<重要>耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露について	X
耐衝撃性能について	x
防水/防じん性能について	x
耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意	xi
水中で使用する前のご注意	xii
使用温度と湿度、結露について	xii
点検 · 修理について	xiii
各部の名称	
カメラ本体	2

·/J/· /································	. ~
画像モニターの表示内容	. 4
撮影画面の表示内容	. 4
再生画面の表示内容	. 7
アクティブガイド画面の表示内容	. 8



撮影の進備	9
陸上専用ストラップの取り付け方	10
電池とメモリーカードを入れる	11
電池やメモリーカードを取り出すには	12
電池を充電する	13
電源を ON にして、カメラをセットアップする	15

撮影と再牛の基本操作	17
画像を撮影する	
動画を撮影する	20
LEDライトを使う	20
画像を再生する	
画像を削除する	22
削除画像選択画面の操作方法	
アクション操作	
1コマ表示で前後の画像を表示する	
アクションメニューを使う	





いろいろな撮影	25
撮影モードを選ぶ	. 26
*(おまかせシーン)モード	. 28
シーンモード (撮影状況に合わせて撮影する)	. 30
シーンモードのヒントとご注意	. 31
かんたんパノラマの撮影方法	. 37
かんたんパノラマの再生方法	. 39
クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)	. 40
ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)	. 42
笑顔自動シャッターを使う	. 44
セルフコラージュを使う	. 45
卤(オート撮影)モード	. 47
クリエイティブスライダーを使う	. 47
マルチセレクターで設定する撮影機能	. 49
フラッシュモード	. 50
セルフタイマー	. 52
マクロモード(接写する)	. 54
露出補正(明るさを調節する)	. 55
ズームを使う	. 56
ピント合わせについて	. 57
シャッターボタンの半押しと全押し	. 57
顔認識撮影について	. 58
ターゲットファインドAFについて	. 59
オートフォーカスが苦手な被写体	. 60
フォーカスロック撮影	. 61
フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧	. 62
撮影時に組み合わせて使えない機能	. 64





いろいろな再生	66
拡大表示	67
サムネイル表示 / カレンダー表示	68
撮影日一覧モード	69
グループ画像の再生と削除	70
グループ画像の再生方法	70
グループ画像を削除する	71
画像の編集(静止画)	72
画像編集の前に	72
クイックエフェクト(色合いや雰囲気を変える)	72
簡単レタッチ(コントラストと鮮やかさを高める)	73
D-ライティング(画像の暗い部分を明るく補正する)	74
赤目補正(フラッシュ撮影による赤目を補正する)	74
メイクアップ効果(人物の顔をきれいに見せる)	75
情報合成画像(電子コンパスなどの情報を画像に写し込む)	76
スモールピクチャー (画像サイズを小さくする)	77
トリミング(画像の一部を切り抜く)	78
動画	79
動画の基本的な撮影と再生	80
動画撮影中に静止画を記録する	84
タイムラプス動画を撮影する	85
スーパーラプス動画を撮影する	87
ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)	88
スペシャルエフェクトを使う	90
動画再生中の操作	91
動画の編集	92
動画の必要な部分だけを切り出す	92
動画の1フレームを静止画として保存する	93
	94
位置情報機能でできること	95
位置情報を画像に記録する	97
A-GPSファイルの更新方法	99
高度計 / 水深計を使う	100
移動情報のログを記録する	101
ログ取得を開始する	101
ログ取得を終了しメモリーカードに保存する	103
高度 / 水深ログをグラフで表示する	104
アクティブガイドを表示する	105



xvii

テレビ、プリンター、パソコンとの接続	107
画像の活用方法	108
日は、シロカリンス	110
パソコンを使わずにプリントする	111
カメラとプリンターを接続する	111
1 コマずつプリントする	112
複数の画像をプリントする	
2000日際とクラフィック (MX Studio)	115
NX Studioをインストールする	115
NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む	116
	110
メニューを使う	119
メニューの操作方法	120
画像選択画面の操作方法	122
メニュー項目一覧	123
撮影メニュー	123
動画メニュー	124
再生メニュー	125
通信メニュー	125
位置情報設定メニュー	126
セットアップメニュー	127
撮影メニュー(撮影モード共通)	128
画像モード (画像サイズ/画質)	128
撮影メニュー(🗖(オート撮影)モード)	130
ホワイトバランス (色合いの調節)	130
連写	132
ISO感度設定	134
AFエリア選択	135
AFモード	138
ベストフェイスメニュー	139
セルフコラージュ	139
目つぶり軽減	140
動画メニュー	141
動画設定	141
AFエリア選択	145
AFモード	146
動画手ブレ補正	147
動画照明	147
風切り音低減	148
フレームレート設定	148



xviii



再生メニュー	149
送信画像の指定	149
スライドショー	150
プロテクト設定	151
画像回転	151
画像コピー(メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー)	152
グループ表示設定	153
通信メニュー	154
文字入力画面の操作方法	156
位置情報設定メニュー	157
位置情報設定	157
POI設定(地名情報の記録と表示)	158
ログ取得	159
ログデータ表示	160
衛星による日時合わせ	160
電子コンパス設定	161
高度/水深設定	162
セットアップメニュー	163
地域と日時	163
モニター設定	165
日付写し込み	167
静止画手ブレ補正	168
AF補助光	169
電子ズーム	169
操作音	170
水中フラッシュ	170
アクション操作の感度	171
アクション画像送り	171
オートパワーオフ	172
LED ライトタイマー	172
カード/メモリーの初期化(フォーマット)	173
言語 /Language	173
画像コメント	174
著作権情報	175
パソコン接続充電	176
設定クリアー	177
認証マークの表示	177
バージョン情報	177



**6** 目次

(次期) 17	0
頁科1/	ð
無線通信機能についてのご注意17	'9
位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意 18	31
取り扱い上のご注意	32
カメラについて	32
電池について	33
本体充電ACアダプターについて 18	34
メモリーカードについて	35
お手入れ方法	36
水中で使用後のクリーニング	36
水中以外で使用後のクリーニング	36
保管について	37
警告メッセージ	38
故障かな?と思ったら	<del>)</del> 2
記録データのファイル名	)3
使用できるアクセサリー	)5
水中スピードライトの装着方法	)6
主な仕様	0
使用できるメモリーカード	4
地名情報データ使用許諾契約書	6
索引	21
ニコンプラザについて	26
修理に関するお問い合わせ先	26
修理サービスのご案内	27
製品の使い方に関するお問い合わせ先	28



# 各部の名称

カメラ本体	2	
画像モニターの表示内容	4	





# カメラ本体



1	ストラップ取り付け部	. 10
2	シャッターボタン	.19
3	電源スイッチ/電源ランプ…	.15
4	測位アンテナ部	.98
5	フラッシュ	. 50
6	LEDライト セルフタイマーランプ AF補助光 動画照明	.20 .52 147
7	レンズ	

8	マイク(ステレオ)		
9	電池/メモリーカー 閉ダイヤル	ドカバ	一開 11
10	電池 / メモリーカ- ロック解除ボタン	ードカ	バ <u>ー</u> 11
11	防水パッキン	x	, xii
12	Micro-USB端子	13、	109
13	HDMIマイクロ端子	(Type	D) 109



カメラ本体



※ 本書では、マルチセレクターの上下左右を押す操作を▲▼◀▶と表記しています。



カメラ本体

# 画像モニターの表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。 初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します([モニター 設定](□165)→[モニター表示設定]→[情報オート]時)。

## 撮影画面の表示内容





ら 各部の名称



21	セルフタイマー	52
22	自分撮りタイマー	52
23	笑顔自動シャッター	44
24	セルフコラージュ45、	139
25	ペット自動シャッター	34
26	動画撮影中の静止画記録	84
27	ISO感度表示	.134
28	ソフト	42
29	アクティブD-ライティング	Ť
		47
30	ファンデーション	42
31	ホワイトバランス	.130

32	美肌	42
33	色合い	47
34	スペシャルエフェクト	90
35	鮮やかさ42、	47
36	連写モード34、	132
37	タイムラプス動画	85
38	比較明合成	35
39	再生倍速	87
40	手持ち撮影/三脚撮影…31、	32
41	逆光 (HDR)	33
42	目つぶり軽減	140







43	AFエリア (ターゲットファイン ドAF)59、136	53	ログ取得表示(高度/水深) 
44	AFエリア (顔認識、ペット検出) 34、44、58、135	54	ログ取得表示(位置情報) 101
45	AFエリア(マニュアル、中央)	55	位置情報受信状態95
	61、135	56	Bluetooth通信表示 <sup>※</sup> 155
46	AFエリア(ターゲット追尾)	57	Wi-Fi通信表示154
		58	機内モード154
47	露出補止值	59	気圧表示 100
48	記録可能時間(動画)…80、81	60	高度表示/水深表示 100
49	記録可能コマ数(静止画)19	61	□ 反 式 / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
50	内蔵メモリー表示19	01	
	コンパス表示(方位ゲージ)	62	地名情報(POI情報)158
51			
52	コンパス表示(方位磁石)		
52			

※ 点灯:スマートフォン/タブレットとBluetoothで接続中です。 点滅:スマートフォン/タブレットとの再接続の待機中です。画像送信中にBluetooth 通信が切断されたときも点滅します(□□201)。



# 再生画面の表示内容



1	撮影日一覧表示	69
2	プロテクト表示	151
3	グループ画像([ <b>1枚ずつ</b> ] 時)	設定 153
4	メイクアップ効果済み表示	₹ 75
5	クイックエフェクト済み表	责 <b>72</b>
6	D-ライティング済み表示.	74
7	簡単レタッチ済み表示	73
8	赤目補正済み表示	74
9	内蔵メモリー表示	
10	画像の番号/全画像数	
11	動画の再生時間	
12	画像モード	128
13	かんたんパノラマ	39
14	動画設定	141
15	スモールピクチャー	77

トリミング済み表示 67、78
音量表示91
クイックエフェクト設定ガイド
かんたんパノラマ再生ガイド グループ画像再生ガイド 動画再生ガイド
撮影時刻
撮影日
本体充電ACアダプター接続中 表示
電池残量表示19
ファイル名203
位置情報記録済み表示97
気圧表示100
高度表示/水深表示 100
コンパス表示(方位磁石) 95,161



画像モニターの表示内容

7

# アクティブガイド画面の表示内容



※ グラフの横軸は、取得中のログの合計時間、縦軸は取得中のログの高低差を表示します。 グラフは1秒間隔で自動更新されます。



# 撮影の準備

陸上専用ストラップの取り付け方	10
電池とメモリーカードを入れる	11
電池を充電する	13
電源を ON にして、カメラをセットアップする	15





# 陸上専用ストラップの取り付け方

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。





陸上専用ストラップの取り付け方



# 電池とメモリーカードを入れる



- 電池/メモリーカードカバーロック解除ボタンを押し込み(①)、電池/メモリーカードカバー開閉ダイヤルを回して(②)、カバーを開けます(③)。
- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら(④)、奥まで差し込みます(⑤)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます(⑥)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- 電池/メモリーカードカバーを閉じ(⑦)、カバー側面の赤い部分が見えなくなるまで本体に押し込みながら、電池/メモリーカードカバー開閉ダイヤルを、カチッと音がするまで回します(⑧)。
   1000

確実にカバーがロックされていることを確認してください。

- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、撮影、画像の 削除、カードの初期化ができません。
- 撮影したデータは、メモリーカードまたは内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。

#### ▶ 防水と防じんについてのご注意

「耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意」→□□xi

#### ▶ ストラップひもの挟み込みに注意

電池/メモリーカードカバーを閉めるときに、ストラップのひもを挟み込むと電池/メモ リーカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認 してから電池/メモリーカードカバーを閉めてください。



電池とメモリーカードを入れる

11



#### ▶ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラ で初期化してください。

- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。 初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー(□120)の[カードの初期化]を選びます。

### 電池やメモリーカードを取り出すには

電源をOFFにして、電源ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていること がありますので、ご注意ください。





# 電池を充電する



- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は充電ランプがゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、充電ランプが消灯します。コンセントから本体充電ACアダプ ターを外し、USBケーブルを外してください。
   充電時間は、残量がない電池の場合、約2時間20分です。
- 充電ランプが速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
  - 充電可能な温度ではない。
  - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
  - 電池に異常がある。



### ✔ USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

### ▶ 充電についてのご注意

- 充電中もカメラを操作できますが、充電時間は長くなります。
- 電池残量が極端に少ないときは、充電中でもカメラを操作できない場合があります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。





# 電源をONにして、カメラをセットアップする

#### 1 電源スイッチを押して、カメラの電源をONにする

• 設定項目の変更や決定には、マルチセレクターを使います。



- 言語選択の画面が表示されます。マルチセレク ターの▲▼で言語を選び、◎ボタンを押して決 定します。
- ・ 言語はセットアップメニュー (□120) → [言語
   /Language] で変更できます。

	言語/Language	
Y		
	English	
	日本語	
•		ローキャンセル

## 右の画面が表示されたら、以下に従って MENUボタンまたは®ボタンを押す

- スマートフォン/タブレットと無線接続しない場合: MENUボタンを押して、手順3に進みます。
- スマートフォン/タブレットと無線接続する場合:

   ・ アップ手順は、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。

Constant Sector
 SnapBridgeを使って、撮った写真を
スマートフォンに送信してシェアしま
しょうIOKボタンを押してください。
 SnapBridgeは通信メニューで
後からでも設定できます。
 SnapBridgeは通信メニューで

SnapBridgeアプリで無線接続すると、カメラで撮影した画像をスマートフォン/ タブレットに送信することや、リモート撮影などができます。

3 [地域と日時を設定しますか?]と表示されたら、▲▼で[はい]を 選び、®ボタンを押す



電源をONにして、カメラをセットアップする

- 4 自宅のある地域(現在地)を選び、® ボ タンを押す
  - ▲を押すと夏時間を設定できます。設定オンで時 計が1時間早くなり、地図上部に%が表示されま す。取り消すには▼を押します。



5 日付の表示順を▲▼で選び、®ボタンを押す

### 6 日付と時刻を設定して、@ ボタンを押す

- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分]を選んで®ボタンを押し、設定を確認します。



- 7 確認画面が表示されたら [はい]を選び、 ®ボタンを押す
  - 地域と日時は、セットアップメニュー(□120) → [地域と日時] で変更できます。

### 8 防水に関するメッセージを確認し、▶を押す

- 防水に関するメッセージは、以下の場合などに表示されます。
  - ご購入後はじめて電源をONにして設定したとき
  - シーンモードの [水中] に設定したとき
  - 充電後に電源をONにしたとき



電源をONにして、カメラをセットアップする




# 撮影と再生の基本操作

画像を撮影する	
画像を再生する	21
画像を削除する	
アクション操作	24





### 画像を撮影する

∞●(おまかせシーン)モードを例に説明します。∞●(おまかせシーン)モードでは、構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。

### 1 カメラを構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピー カーなどに、指などがかからないようにご注意く ださい。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。





#### -2 構図を決める

• ズーム位置を変えるには、ズームレバーを動かします。 大きく写す



広い範囲を写す





画像を撮影する

- カメラが撮影状況を判別すると、撮影モードアイ コンが切り換わります。
- □:電池残量はあります。 □: 電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数 メモリーカードをカメラに入れていないときは、 ■が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。



記録可能コマ数

#### 3 シャッターボタンを半押しする

- 半押しとは、シャッターボタンを押して、軽く 抵抗を感じるところで止めたままにすること をいいます。
- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑 色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、 画面中央でピントが合います。
- AFエリアまたはAF表示が点滅したときはピン トが合っていません。構図を変えて半押しをや り直してください。





AFエリア

4 シャッターボタンを半押ししたまま、全押 しして撮影する



### ▶ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または 動画の記録中です。 電池/メモリーカードカバーを開けたり、 電池やメモリーカードを取 り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメ モリーカードが壊れることがあります。



画像を撮影する





### 🖉 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、画面が消灯して待機状態になり、電源ランプ が点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に画面を再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

### 

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
   暗い場所でフラッシュモード(①49)が③(発光禁止)のとき
   ズーム位置が望遠側のとき
- ・ 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー(□120)の
   「静止画手ブレ補正]を
   [しない]にしてください。

### 動画を撮影する

撮影画面を表示し、●(\*▼動画撮影)ボタンを押す と撮影を開始します。終了するにはもう一度●(\*▼) ボタンを押します。

電池の温度が低温になると、動画の画像サイズ/フレームレートが制限されることがあります。手のひらなどで電池を温めてから使用してください。



### LEDライトを使う

暗い場所などでLEDライトを使用できます。 其(LEDライト)ボタンを長押しすると、LEDライト が点灯します。消灯するには、
其ボタンを押します。 カメラの電源がOFFのときもLEDライトを使用でき ます。

 セットアップメニュー(□120)の[LEDライト タイマー]で、LEDライトが消灯するまでの時間 を設定できます。





### 6 撮影と再生の基本操作

### ら 撮影と再生の基本操作

画像を再生する

٩T

21

- 1コマ表示でズームレバーをW(EE) 側に動かすと、画像を一覧できる「サ ムネイル表示 になります。
- 側に動かすと、拡大表示されます。
- 1コマ表示でズームレバーをT(Q)
- ンを押すと画像に効果を付けられます。

- と、再生モードで電源がONになります。

▶ (再生)ボタンを押して、再生

画像を再生する

モードにする

- 2 マルチセレクターで前後の画像を表示する
  - ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わり ます。

  - 撮影した動画を再生するには、∞ボタンを押します。 撮影に戻るには、
     ボタンまたはシャッターボ タンを押します。
- ок 次の画像を表示













### 画像を削除する

1 削除したい画像を表示して面(削除) ボタンを押す



マルチセレクターの▲▼ で削除方法を選び、 ®ボタンを押す

• 削除をやめるには、MENUボタンを押します。



- 3 [はい]を選び、®ボタンを押す
  - 削除した画像は、元に戻せません。

### ▶ グループ画像の削除について

- 連写した画像や比較明合成、クリエイティブモード、 セルフコラージュで撮影した画像は「グループ画像」 として保存され、再生すると1コマ(代表画像)のみ を表示します(初期設定)。
- 代表画像の表示中に面ボタンを押すと、そのグループ 内の画像すべてが削除されます。
- グループ内の画像を個別に削除するときは、∞ボタン を押して1コマずつに展開表示してから面ボタンを押 します。

### 

撮影モードで面ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

### 6 撮影と再生の基本操作

画像を削除する









### 削除画像選択画面の操作方法

- マルチセレクターの◀▶で、削除したい画 像を選ぶ
  - ズームレバー(□3)をT(Q)側に動かすと1コマ表示に、W(■)側に動かすと一覧表示に切り換わります。

### 2 ▲▼でON/OFFを設定する

ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。





- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
  - 確認画面が表示されます。表示内容に従って操作してください。



画像を削除する

### アクション操作

カメラを振ると、以下の操作ができます。

### 1コマ表示で前後の画像を表示する

再生の1コマ表示で、カメラを上下方向に振 ると次の画像を表示します。前後方向に振 ると前の画像を表示します(セットアップ メニュー(□120)[アクション画像送り] が[する]時)。

 カメラを振るときは、必ずストラップを手 に通してしっかりカメラを持ち、図のよう に手首を使って一振りしてください。



### アクションメニューを使う

(アクション)ボタンを押し、アクションメニューを表示します。

カメラを振って以下の項目を選び、
 ボタンを押して決定してください。





項目	内容
撮影モード選択	撮影モードを選べます(一部のみ)。
🐙 動画撮影開始	●ボタンを押して、動画撮影を開始/終了します。●(*果動画撮影) ボタンでは撮影を終了できません。
▶ クイック再生	画像を1コマ表示します。アクション操作で画像送りができます。
Ⅹ終了	アクションメニューを終了します。

アクションメニューの表示中は、 (€ボタン、シャッターボタン、電源ボタン、 弐 (LEDライト) ボタンのみ操作できます。





# いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ	26
*(おまかせシーン)モード	28
シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)	30
クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)	40
ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)	42
✿(オート撮影)モード	47
マルチセレクターで設定する撮影機能	49
フラッシュモード	50
セルフタイマー	52
マクロモード(接写する)	54
露出補正(明るさを調節する)	55
ズームを使う	56
ピント合わせについて	57
フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧	62
撮影時に組み合わせて使えない機能	64



### 撮影モードを選ぶ

以下の撮影モードがあります。

構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。 • **ミシーン** 

撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができます。

- ●C クリエイティブ
   1回の撮影で、エフェクト付きの画像4コマとエフェクトなしの画像を同時に記録します。
- ・ ご ベストフェイス 人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。笑顔自動シャッターやセ ルフコラージュを使って撮影ができます。
- ■ ショートムービーショー 数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービー ショー(「飯1080/30p] または「飯1080/25p])を作成します。
- ・ 🖸 オート撮影

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。



 マルチセレクターの▲▼ で 撮影モードを選び、®ボタン を押す

シーンモードを選んだときは、
 ・
 ・
 ボタンを押す前に
 トを押し、シーンまたは効果の種類を選びます。
 ・





26

🕤 いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ

### 🖉 ヘルプ表示について

撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が表示されます。 説明の表示/非表示は、セットアップメニュー[**モニター設定**]の[**ヘルブの表示**]で切 り換えられます。



撮影モードを選ぶ

### **運\*(おまかせシーン)モード**

構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。

#### 撮影画面にする → 〇 (撮影モード) ボタン → 300 (おまかせシーン) モー ド → ® ボタン

撮影状況を自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。

ž*	ポートレート (1~2人程度のアップ)
21	ポートレート(人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	風景
2	夜景ポートレート(1~2人程度のアップ)
<b>1</b>	夜景ポートレート(人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
e"	夜景
	クローズアップ
<b>*2</b> `	逆光(人物以外の撮影)
<b>*</b> 21	逆光(人物撮影)
ő×*	水中 **
SCOR *	その他の撮影状況

※ カメラを水の中に入れると、水中モードに切り換わります。

### ▶ (おまかせシーン) モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図した設定に切り換わらないことがあります。その場合は、 他の撮影モードに切り換えて撮影してください(□26)。
- 電子ズーム使用時は、撮影状況の判別は

  になります。

### ▶ 水の中から出した後のご注意

カメラを水の中から出した後、まれに、水中モードから他の設定に自動で切り換わらな いことがあります。

カメラに付着した水滴などを、手で軽く払うか、柔らかい乾いた布でふき取ってください。お手入れの仕方は、「水中で使用後のクリーニング」(□186)をご覧ください。

### 水中での位置情報記録について

水中での位置情報記録について→□36



∞ (おまかせシーン) モード



### **\***(おまかせシーン)モードで設定できる機能

- フラッシュモード (ロ50)
- セルフタイマー (□52)
- 露出補正(囗55)
- 画像モード (□128)



らいろいろな撮影

### シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができ ます。

撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → 2 (上から2番目のアイコン<sup>\*\*</sup>) → ▶ → ▲▼ → シーンを選択する → ∞ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

💈 ポートレート(初期設定)	■ 夜景 <sup>※1、2</sup> (□32)
■ 風景 <sup>※1、2</sup>	🗱 クローズアップ(印32)
🔓 タイムラプス動画(🛄85)	¶ 料理(□□32)
<b>⋞</b> スポーツ <sup>※2</sup> (Ⅲ31)	<ul> <li>打ち上げ花火<sup>※1、3</sup> (口33)</li> </ul>
☑ 夜景ポートレート(□□31)	💽 逆光 <sup>*2</sup> (🛄33)
<b>※</b> パーティー <sup>※2</sup> (□31)	🛱 かんたんパノラマ (印37)
	<b>☆</b> ペット (皿34)
<b>⑧</b> 雪 <sup>*2</sup>	🔊 比較明合成 <sup>※4</sup> (〇〇35)
▲ 夕焼け <sup>※2、3</sup>	🛱 スーパーラプス動画(🛄87)
▲ トワイライト <sup>※1、2、3</sup>	<b>娄</b> 水中 <sup>※2</sup> (囗36)

※1 ピントは遠景に合います。

※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

- ※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの[静止画手ブレ補正](□168)を[しない]にしてください。
- ※4 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。[夜景と光跡]では、ピントは画面中央のエリアで合わせます。[夜景と星軌跡]および[星軌跡]では、ピントは遠景に合います。

30



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

ら いろいろな撮影

### シーンモードのヒントとご注意

#### 💐 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
- 約7.5コマ/秒の速度で約5コマまで連写できます([画像モード]が[6.4608×3456]時)。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 2コマ目以降のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

#### ☑ 夜景ポートレート

- 【「夜景ボートレート」を選ぶと表示される画面で、 「「手持ち撮影」または 泉 (三 脚撮影)を選びます。
- ・ 🗗 [手持ち撮影]:
  - 撮影画面の■アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
  - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることが あります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- 👷 [三脚撮影] 🗄
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
  - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

#### 淡 パーティー

ら いろいろな撮影

手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(□168)を[しない]にしてください。



■ 夜景

- ■[夜景]を選ぶと表示される画面で、□○[手持ち撮影]または♀[三脚撮影]を選びます。
- 🗗 [手持ち撮影] :
  - 撮影画面の■アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
     撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- ・ • [三脚撮影]:
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
  - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

#### 沈 クローズアップ

- マクロモード(□54)がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア(AFエリア)を移動できます。
   ・「「ボタンを押し、マルチセレクターの▲▼▲▶で移動し、
   ・「「ボタンで決定します。

#### ¶ 料理

- マクロモード(□54)がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ・ 色合いをマルチセレクターの▲▼で調節できます。
   ・
   合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

11 ® &		1080 (sa) 16. (21)
15m 15m 15m 1010hPa	[]	
		25m 0s
		500



らいろいろな撮影

#### ◎ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。
- 露出補正は使えません(□155)。

#### 🖺 逆光

- ・
   [[逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR (ハイダイナミックレンジ) 合成の [ON] /
   [OFF] を撮影状況に合わせて選びます。
- [OFF]:人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
   シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- [ON]:明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - シャッターボタンを全押しすると、連続撮影し、以下の2コマを記録します。
    - HDR合成していない画像
    - HDR合成した画像(白とびや黒つぶれを抑えた画像)
  - 記録可能コマ数が1 コマの場合は、撮影時にD- ライティング(□174)で暗い部分 を明るく補正し、1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

### ✔ HDRについてのご注意

三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアッ プメニューの「静止画手ブレ補正」(□□168)を [しない] にしてください。



#### ₩ ペット

- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、 犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます(ペット自動シャッター)。
- ・ √ [ペット] を選ぶと表示される画面で、 ⑤ [単写] または □ [連写] を選びます。
   ⑤ [単写]: 犬または猫の顔を検出するたびに、1コマ撮影します。
  - □ [連写]: 犬または猫の顔を検出するたびに、3コマ連写します。

### ✔ ペット自動シャッターと自分撮りタイマーについて

マルチセレクターの◀(心)を押すと、以下の設定ができます。

- 圖[ペット自動シャッター]:犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
  - 自動シャッターで連写を5回繰り返すと [OFF] になります。
- シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。
- 955 [自分撮りタイマー]:シャッターボタンを全押ししてから5秒後にシャッターが きれます。
  - シャッターボタンを全押ししてから構図を決めてください。
  - 詳しくは「セルフタイマー」(□152)をご覧ください。
  - 犬、猫または人物の顔を検出してピントを合わせます。
     連写はできません。
- OFF:シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。
   犬、猫または人物の顔を検出してピントを合わせます。

### AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエ リア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色 に変わります。顔を検出していないときは、ピントは 画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬、猫 または人物以外に枠が表示されることがあります。





#### **ら**いろいろな撮影

#### 🔊 比較明合成

- 動きのある被写体を一定間隔で自動撮影し、それぞれの画像を比較し明るい部分だけ を合成して1コマの画像として記録します。車のライトの流れや星の動きなど、光の 軌跡を撮影します。
- ・ 
   『
   に較明合成]
   を選ぶと表示される画面で、
   ふ
   「夜景と
   を異
   が
   〕または
   認
   [
   星軌跡]
   を選びます。

項目	内容
🗟 夜景と光跡	夜景を背景に、車のライトの流れなどを撮影するのに適しています。 • 4秒ごとに、シャッタースピード4秒で撮影します。50 コマ撮 影すると自動終了します。 • 10 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画 像を、自動保存します。
認 夜景と星軌跡	夜景を構図に入れて、星の動きを撮影するのに適しています。 • 25 秒ごとに、シャッタースピード 20 秒で撮影します。300 コ マ撮影すると自動終了します。 • 30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画 像を、自動保存します。
<b>涩 星軌跡</b>	<ul> <li>星の動きを撮影するのに適しています。</li> <li>30 秒ごとに、シャッタースピード 25 秒で撮影します。300 コマ撮影すると自動終了します。</li> <li>30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。</li> </ul>

- 撮影の合間は画面が消灯することがあります。画面の消灯中は、電源ランプが点滅します。
- 途中で撮影を終了するには、

   ・ボタンを押します。
- お好みの軌跡を得られたら撮影を終了して下さい。撮影を続けると、合成部分が白とびすることがあります。
- 撮影途中に自動で保存された画像と、撮影終了時に合成された画像は、グループ化され、撮影終了時に合成された画像が代表画像となります(□70)。
- セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(□168)の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。

### ▶ 比較明合成についてのご注意

- メモリーカードを入れていないときは、撮影できません。
- 撮影が終了するまで、メモリーカードを交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- 露出補正は使えません(□155)。

6 いろいろな撮影

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)



#### ✓ 残り時間について

撮影が自動終了するまでの残り時間を、画面で確認でき ます。

28	
<u> 10m Os</u>	
	Ⅲ撮影終了

#### 🛎 水中

- 「水中」を選ぶと、位置情報記録について、水深補正についての画面に続き、防水に関 するメッセージが表示されます。メッセージを確認し、マルチセレクターの▶を押す と、次のメッセージ画面が表示されます。シャッターボタンを押すと、以降の画面を 表示せずに撮影画面になります。
- 水中で撮影するときは、「<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(□x) をご覧ください。
- 水中では無線通信はできません。

#### 水中での位置情報記録について

測位しているとき、または位置情報をスマートフォン/タ ブレットから取得しているときに、シーンモードを「水 中]に設定する、または運<sup>\*</sup>(おまかせシーン)モードに して水中に入ると、右図のような画面が表示されます。 [はい]を選んで®ボタンを押すと、水中に入る前、最後 に取得した位置情報を、水中で撮影した画像にも記録し ます。





#### **ら** いろいろな撮影

### かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → 2 (上から2番目のアイコン<sup>※</sup>) → ▶ → ▲ ▼ → □ (かんたんパノラマ) → ∞ ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

 撮影する範囲を № [標準] または № [ 「ワイド] から選び、 @ ボタンを押す

- 2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせる
  - ズーム位置は、広角側に固定されます。
  - 画面中央でピントが合います。
- 3 シャッターボタンを全押しし、シャッター ボタンから指を離す
  - カメラを動かす方向を示す △▽
     ○マークが表示されます。
- 4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす
  - カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
  - 設定の範囲を撮影し終えると撮影が終了します。
  - ピントと露出は、撮影終了まで固定されます。



種淮







37



### カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク(△▽<)と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。</li>
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒 (ビア[標準]時)、または約30秒(ビル・[ワイド]時) が経過すると撮影は終了します。



### ▶ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化 が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。

### 🖉 かんたんパノラマの画像サイズについて

• 最大画像サイズ(ピクセル)は、以下の4種類になります。



▶₩ [ワイド] に設定時



 パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、 画像サイズは小さくなります。



### かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして(凹21)、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、®ボタンを押すと、撮影したきと同じ方向でスクロールします。





再生中は、画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを 選び、∞ボタンを押すと以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	*	∞ボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。	
早送り	*	❷ボタンを押している間、スクロールを早送りします。	
一時停止		一時停	止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		411	❷ボタンを押している間、巻き戻しします。
		⊪	<ul><li> 必ボタンを押している間、スクロールします。 </li></ul>
			自動スクロールを再開します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。	

### ▶ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示が できないことがあります。

### ▶ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリン ターによっては、プリントできないことがあります。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)



## クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

1回の撮影で、エフェクト付きの画像4コマとエフェクトなしの画像を同時に記録します。

### 撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ クリエイティブモード → ® ボタン

画面中央でピントが合います。

4種類表示されます。

- 1 ◎ボタンを押す
  - エフェクトの選択画面が表示されます。



パラエティー 🗘

25m 0s

ĊC.

- マルチセレクターの▲▼でエフェクトを 選び、®ボタンを押す
  - 「バラエティー」、「セレクトカラー赤」、「セレクトカラー緑」、「セレクトカラー青」、「ライト」(初期設定)、「デプス」、「メモリー」、「クラシック」、
     「ノワール」から選べます。



動画に付けられるエフェクトは1種類のみです。
 ▶を押して、付けたいエフェクトを選びます。

### 3 シャッターボタンまたは●(\*▼動画撮影)ボタンを押して撮影する

 記録した5コマはグループ化されます。代表画像はエフェクトを付けた画像です (□70)。



40

**ら** いろいろな撮影

クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

### クリエイティブモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□50)
- セルフタイマー (□52)
- マクロモード (□54)
- 露出補正(囗55)
- 撮影メニュー (□128)



**ら** いろいろな撮影

クリエイティブモード (効果を付けて撮影する)

### ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)

人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → 🗖 (撮影モード) ボタン → 😇 ベストフェイスモード → ® ボタン

1 マルチセレクターの▶を押す

### 2 効果を付ける

- ●で効果を選びます。
- ▲▼で効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果が付けられます。
   ジ [美肌]、 以 [ファンデーション]、 〇 [ソフト]、 ③ [鮮やかさ]、 図 [明るさ (露出補正)]
- スライダーを非表示にするには、図[終了]を選びます。
- すべての効果を確認したら、
   ・ すべての効果を確認したら、
- 3 構図を決め、シャッターボタンを押す

### ✔ ベストフェイスモードについてのご注意

撮影画面の画像と保存した画像では、効果の度合いが異なる場合があります。

#### 🖉 メイクアップ効果の設定について

明るさ(露出補正)を選ぶと、ヒストグラムが表示されます。→□155







#### **ら** いろいろな撮影

ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)

### ベストフェイスモードで設定できる機能

- メイクアップ効果(□142)
- 笑顔自動シャッター (□44)
- セルフコラージュ (□45)
- フラッシュモード(□50)
- セルフタイマー (□52)
- ベストフェイスメニュー (□139)

### [美肌] と [ファンデーション] について

- ベストフェイスモードで [美肌] または [ファンデーション] を設定すると、 カメラが人物の顔を検出時に、画像処理で顔の肌をなめらかにしたり、顔色を 調整したりしてから記録します(最大3人)。
- ・ 
   (おまかせシーン)モード、シーンモードの
   [ポートレート]または
   [夜景
   ポートレート]での
   家影時も、
   [美肌]の
  効果を付けて
   記録します。
   効果の
   食合
   いは
   設定できません。
- 再生メニューの [メイクアップ効果] でも、撮影後に [美肌] や [ファンデー ション] の効果を付けられます (口75)。

### ▶ [美肌] と [ファンデーション] についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。



ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)





### 笑顔自動シャッターを使う

撮影画面にする → 🗖 (撮影モード) ボタン → 😇 ベストフェイスモード → ® ボタン

マルチセレクターの◀を押し、図[笑顔自動シャッ ター]を選んで®ボタンを押すと、カメラが人物の笑 顔を検出するたびに、自動でシャッターがきれます。

- メイクアップ効果は、笑顔自動シャッターよりも 先に設定してください(□142)。
- シャッターボタンを押して撮影すると、笑顔自動 シャッターが終了します。



### ▶ く ぼ 顔 自 動 シャッター につ い ての ご 注 意

- 撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります (□58)。シャッターボタンを押しても撮影できます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□164)。

#### セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は 速く点滅します。



ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)



### セルフコラージュを使う

4回または9回のインターバル撮影をした画像を1コマの画像として記録できます(コラージュ画像)。



マルチセレクターの
 を押し、
 記していた
 1ラージュ]を選んで®ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
- ◆ 使押す前に、MENUボタンを押して[セルフコラージュ]を選択すると、[撮影回数]、[撮影間隔]、
   [シャッター音の設定]が設定できます(□139)。
- メイクアップ効果を付けて撮影する場合は、先に 設定してください(□142)。





### 2 撮影をする

- シャッターボタンを押すと、カウントダウン(約 5秒)が始まり、自動的にシャッターがきれます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。撮影の約3秒前になると、カウントダウンが始まります。
- ・ 画面に撮影する回数分の〇が表示されます。撮影
   ・申は黄色で表示され、撮影後は白色になります。







ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)

# 3 [撮影回数] で設定した回数の撮影が終わると表示される画面で [はい] を選び、 ®ボタンを押す

- コラージュ画像が保存されます。
- ・撮影した画像はコラージュ画像とは別に1コマずつ保存されます。これらの画像 はグループ化され、コラージュ画像が代表画像となります(□□70)。
- [**いいえ**]を選んだときは、コラージュ画像は保存されません。

### ✔ セルフコラージュについてのご注意

- 設定した回数の撮影が終わる前にシャッターボタンを押すと、撮影が中断されコラージュ画像は保存されません。中断前に撮影した1コマ画像は保存されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(1064)。



ベストフェイスモード(顔をよりきれいに撮影する)



## 🖸 (オート撮影)モード

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

#### 撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ (オート撮影) モード → ® ボタン

ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択](□135)の設定によって異なります。初期設定は、[ターゲットファインドAF](□159)です。

#### 〇 (オート撮影) モードで設定できる機能

- クリエイティブスライダー (□47)
- フラッシュモード (□50)
- セルフタイマー (□52)
- マクロモード (□54)
- 撮影メニュー (□128、130)

### クリエイティブスライダーを使う

明るさ(露出補正)、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングを調節して撮 影できます。

撮影画面にする → Δ (撮影モード) ボタン → Δ (オート撮影) モード → ® ボタン

1 マルチセレクターの▶を押す





### 2 ◀▶で項目を選ぶ

- **ふ**[**色合い**]:画像全体の色合い(赤み/青み)を 調節します。
- ●[鮮やかさ]:画像全体の鮮やかさを調節します。
- ・
   **図** [明るさ(露出補正)]:
   画像全体の明るさを調
   節します。
- ・ 昭[アクティブD-ライティング]:白とびや黒つ ぶれを軽減します。効果の度合いを昭H(強め)、
   ・ 昭N(標準)、昭L(弱め)から選びます。

### 3 ▲▼で調節する

- 画面で調節の度合いを確認できます。
- 他の項目を設定するには、手順2に戻ります。
- スライダーを非表示にするには、▲ [終了] を選びます。
- すべての設定を取り消すには、? [リセット]を 選びのボタンを押します。手順2からやり直して ください。





### 4 設定が終了したら、®ボタンを押す

• 設定が反映され、撮影画面に戻ります。

#### 🖉 クリエイティブスライダーの設定について

- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□164)。
- 明るさ(露出補正)、鮮やかさ、色合い、およびアクティブD-ライティングの設定は、 電源をOFFにしても記憶されます。
- ヒストグラム表示について→□255

#### 

- [アクティブD-ライティング]は、白とびを抑えるように撮影し、記録時に階調を調節します。
- 再生メニューの [D-ライティング] (□74) は、記録した画像の階調を調節します。



□ (オート撮影) モード



## マルチセレクターで設定する撮影機能

撮影画面でマルチセレクターの▲ (\$) ◀ (᠔) ▼ (义) ▶ (図) を押すと、以下 の機能を設定できます。



フラッシュの発光モード(フラッシュモード)を撮影状況に合わせて設定できます。

- ・ ご セルフタイマー /自分撮りタイマー
   シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれます。
- ・ マクロモード 被写体に近づいて撮影するときに設定します。
- ・ 
   ・ 
   留出補正
   画像全体の明るさを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。



マルチセレクターで設定する撮影機能



### フラッシュモード

フラッシュの発光モード (フラッシュモード)を撮影状況に合わせて設定できます。

### 1 マルチセレクターの▲(\$)を押す



\$ AUTO

\$⊚ ⊛ \$ \$

- フラッシュモード(□51)を選び、<sup>®</sup>ボ タンを押す



シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を 確認できます。

- 点灯:シャッターボタンを全押しすると、発光します。
- 点滅:フラッシュの充電中です。撮影できません。
- 消灯:発光しません。









#### フラッシュモードの種類

#### \$AIT 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。 • 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

#### \$● 赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

#### ④ 発光禁止

フラッシュは発光しません。

 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をお すすめします。

#### 

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

#### \$SLOW スローシンクロ

タ景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体 を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

#### ▶ フラッシュ撮影についてのご注意

ズーム位置が広角側で、フラッシュを使うと、撮影距離によっては画像の周辺部が暗く なることがあります。

望遠側に少しズーム操作すると、改善することがあります。

#### ダ フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります(□262)。
- 以下の撮影モードでは、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
  - シーンモードの [水中]
  - 🖸 (オート撮影) モード

#### ✓ 赤目軽減自動発光について

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を 軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して 記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常 よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。



フラッシュモード

## セルフタイマー

シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれます。 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補 正](口168)を [しない] にしてください。

1 マルチセレクターの◀(心)を押す



<mark>රා10s</mark> රා2s

**9** 5s

0FF

### シャッターがきれるまでの秒数を選び、 のボタンを押す

- [**心10s**] (10秒):記念撮影などに適しています。
- [3] (2秒):手ブレの軽減に適しています。
- [**9**5s] (5秒、自分撮りタイマー):自分撮りに適 しています。

### 3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- [
   (10秒) / [
   (2秒) では、ピントが合っているか確認してください。
- [95s] (5秒、自分撮りタイマー)では、手順4でシャッターボタンを全押しして から構図を決めてください。

### 4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフ タイマーランプが点滅し、シャッター がきれる約1秒前になると、点灯に変わ ります。
- シャッターがきれると、セルフタイ マーは [OFF] になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。

も いろいろな撮影
セルフタイマー






### 

• [**心10s**] / [**心2s**]: シャッターボタンを全押しすると、ピントと露出が固定されます。

• [**9**5s]:シャッターがきれる直前にピントと露出を合わせます。

### 🖉 セルフタイマーの設定について

\_\_\_\_ 撮影モードによっては、設定できないことがあります(□162)。



セルフタイマー

## マクロモード(接写する)

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

### 1 マルチセレクターの▼(激)を押す



# [ON]を選び、®ボタンを押す ®ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。



### 3 ズームレバーを動かし、必マークやズーム 表示が緑色になるズーム位置にする



緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約
 10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
 ヘマークのズーム位置では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。

#### 🖉 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります(□□62)。
- ・ 以下の撮影モードでは、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
  - シーンモードの [スーパーラプス動画]、[水中]
    - ショートムービーショーモード





54

らいろいろな撮影

マクロモード (接写する)

## 露出補正(明るさを調節する)

画像全体の明るさを調節できます。

### 1 マルチセレクターの▶(図)を押す



### 2 補正値を選び、®ボタンを押す

- 明るくする:「+」側に設定します。
- 暗くする:「-」側に設定します。
- 撮影モードがベストフェイスモードのときは、メ イクアップ効果が表示されます(□142)。
- 撮影モードが

   (オート撮影) モードのときは、 クリエイティブスライダーが表示されます (□47)。



ヒストグラム表示

#### 露出補正の設定について

- 以下のシーンモードでは、露出補正は使えません。
  - [タイムラプス動画]の[星空/150分間撮影]、[星軌跡/150分間撮影]
  - [打ち上げ花火]
  - [比較明合成]
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。
- 以下の撮影モードでは、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
  - シーンモードの [スーパーラプス動画]
  - ショートムービーショーモード

#### 🖉 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、 露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画 素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。



露出補正(明るさを調節する)

## ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す: T側
- 広い範囲を写す: ₩側 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。



WF

- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量 が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーをT側に動 光学ズーム電子ズーム かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡 大できます(「動画設定](□141)が「2006/2160/30p](4K UHD)または [2006/25p](4K UHD)のときは約2倍まで)。

#### 🖉 電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わ ります。

- ズーム表示が青色のとき:ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画 質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき:画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。





## ピント合わせについて

### シャッターボタンの半押しと全押し

半押し		<ul> <li>シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることを「半押し」といいます。</li> <li>半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</li> <li>ピントを合わせる位置(AFエリア)は、撮影モードによって異なります。</li> </ul>
全押し	<b>↓</b>	<ul> <li>シャッターボタンを深く押し込むことを「全押し」といいます。</li> <li>・ 全押しするとシャッターがきれます。</li> <li>・ 全押しするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</li> </ul>



### 顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動 的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- ∞ (おまかせシーン) モード (□28)
- シーンモード(口30)の[ポートレート]、[夜景 ポートレート]
- ベストフェイスモード (□42)
- □ (オート撮影) モード (□47) で [AFエリア 選択] (□135) を [顔認識オート] に設定時

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、 AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合:

- ・
   (おまかせシーン) モードでは、カメラが判別した撮影状況によって AF エリアが変わります。
- シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、またはベストフェイス モードでは、画面中央にピントが合います。

#### ▶ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

#### 動画撮影時の顔認識について

動画撮影時、動画メニューで[**AFエリア選択](□145**)を[**顔認識オート**]に設定す ると、顔にピントを合わせて撮影できます。

顔を認識していない状態で●(\*果動画撮影)ボタンを押した場合は、画面中央にピント が合います。





### ターゲットファインドAFについて

□ (オート撮影) モードの [AFエリア選択] (□135) が [ターゲットファイン ドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わ せます。

カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

 カメラが主要な被写体を検出していないときは、9 つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとら えているAFエリアでピントが合います。ピントが 合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑 色に点灯します。



AF エリア

### V ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス]の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
  - 被写体が非常に暗い、または明るい
  - 主要被写体の色に特徴が少ない
  - 主要被写体が画面の周辺部にある
  - 主要被写体が同じパターンを繰り返す



らいろいろな撮影

### オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい(太陽が背景に入った日陰の人物など)
- 被写体にコントラストがない(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)
- 遠いものと近いものが混在する被写体(オリの中の動物など)
- 同じパターンを繰り返す被写体(窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど)
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影(□□61)をお試しください。



### フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

- 1 □ (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (□135)
- 2 被写体を画面中央に配置し、 シャッターボタンを半押しする

半押ししたまま構図を変える
・ 被写体との距離は変えないでください。

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に 点灯します。
- 露出も固定されます。

3





4 シャッターボタンを全押しして撮影する









## フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの 初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ	セルフタイマー	マクロ (CD54)
2011 (およかセシーク)	<b>Z</b> AUIU <sup>AAA</sup>	OFF	OFF <sup>m</sup>
シーンモード			**2
え(ポートレート)	<b>4</b> ®	OFF	OFF <sup>*3</sup>
■(風景)	$\mathfrak{S}^{*3}$	OFF <sup>**4</sup>	OFF <sup>**3</sup>
🔓 (タイムラプス動画)	<b>()</b> <sup>*3</sup>	OFF	OFF <sup>*3</sup>
💐 (スポーツ)	<b>(3</b> <sup>*3</sup>	OFF <sup>**3</sup>	OFF <sup>**3</sup>
☑(夜景ポートレート)	<b>‡⊚</b> <sup>⋇5</sup>	OFF	OFF <sup>**3</sup>
💥 (パーティー)	<b>‡⊚</b> <sup>%6</sup>	OFF	OFF <sup>**3</sup>
🗣 (ビーチ)	\$AUTO	OFF	OFF <sup>**3</sup>
<b>⑧</b> (雪)	\$AUTO	OFF	OFF <sup>**3</sup>
🚔 (夕焼け)	<b>()</b> <sup>*3</sup>	OFF	OFF <sup>**3</sup>
當 (トワイライト)	<b>()</b> <sup>*3</sup>	OFF <sup>**4</sup>	OFF <sup>**3</sup>
➡(夜景)	<b>()</b> <sup>*3</sup>	OFF <sup>**4</sup>	OFF <sup>**3</sup>
👪 (クローズアップ)	٢	OFF	ON <sup>**3</sup>
<b>判</b> (料理)	<b>3</b> *3	OFF	ON <sup>**3</sup>
● (打ち上げ花火)	<b>3</b> *3	OFF <sup>**3</sup>	OFF <sup>**3</sup>
🖭 (逆光)	\$ <sup>*7</sup> , <sup>(*)*7</sup>	OFF	OFF <sup>**3</sup>
🛱 (かんたんパノラマ)	<b>3</b> *3	OFF <sup>**3</sup>	OFF <sup>**3</sup>
<b>%</b> (ペット)	<b>3</b> *3	<sup>*8</sup> آه	OFF
🔊 (比較明合成)	<b>3</b> *3	ڻ2s	OFF <sup>**3</sup>
	<b>3</b> *3	OFF	OFF
🐞 (水中)	۲	OFF	OFF
🕰 (クリエイティブ)	\$AUTO	OFF	OFF
	\$AUTO <sup>*9</sup>	OFF <sup>*10</sup>	OFF <sup>**3</sup>
🗯 (ショートムービーショー)	<b>3</b> *3	OFF	OFF
◘ (オート撮影)	<b>\$</b> AUTO	OFF	OFF

らいろいろな撮影

フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧



- ※1 判別した撮影状況に合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。 (発光禁止)に変更できます。
- ※2 変更できません。歴に判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 95s [自分撮りタイマー] は使えません。
- ※5 変更できません。[三脚撮影]のときは、赤目軽減で強制発光します。
- ※6 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※7 [HDR] が [OFF] のときは\$(強制発光)に、[HDR] が [ON] のときは③(発 光禁止)に固定されます。
- ※8 國 [ペット自動シャッター] と95s [自分撮りタイマー] が使えます(□34)。 [心10s] または [心2s] は使えません。
- ※9 [目つぶり軽減] が [する] のときは使えません。
- ※10 [心10s]、[心2s]、 95s [自分撮りタイマー]以外に 図[笑顔自動シャッター] (□44)や間[セルフコラージュ](□45)も使えます。



フラッシュ、セルフタイマー、マクロモードの初期設定一覧



## 撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
	連写(囗132)	[ <b>単写</b> ]以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (皿140)	[ <b>目つぶり軽減</b> ] を [ <b>する</b> ] に設定すると、フ ラッシュは使えません。
フラッシュモード	水中フラッシュ (口170)	[水中フラッシュ] を [する] にすると、[赤 目軽減自動発光] は選べません。[赤目軽減自 動発光] を先に選んでいた場合は、[自動発 光] に変更されます。
セルフタイマー	AFエリア選択 (口135)	[ <b>ターゲット追尾</b> ] にすると、セルフタイマー は使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (口135)	[ <b>ターゲット追尾</b> ] にすると、マクロモードは 使えません。
画像モード	連写(囗132)	<ul> <li>連写の設定によって、「画像モード]は以下に 固定されます。</li> <li>「先取り撮影]時: ① (画像サイズ:1280×960ピクセル)</li> <li>「高速連写120 fps]時: 圖 (画像サイズ:640×480ピクセル)</li> <li>[高速連写60 fps]時: ① (画像サイズ:1280×960ピクセル)</li> </ul>
ホワイトバランス	クリエイティブ スライダーの色 合い(囗47)	クリエイティブスライダーで色合いを調節す ると、撮影メニューの[ホワイトバランス] は設定できません。[ホワイトバランス]を設 定するときは、クリエイティブスライダーの 設定画面で日を選び、いったん明るさ、鮮や かさ、色合い、アクティブD-ライティングの 設定をリセットしてください。
連写	セルフタイマー (ロ52)	[ <b>先取り撮影</b> ] に設定しても、セルフタイマーを使うと1コマずつの撮影になります。
ISO感度設定	連写(囗132)	[先取り撮影] 、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] にすると、[ISO 感度設定] は [オート] に固定されます。

64

6 いろいろな撮影

撮影時に組み合わせて使えない機能



制限される機能	設定	内容	
AFエリア選択	クリエイティブ スライダーの色 合い(囗47)	[ターゲットファインドAF]時、クリエイティ ブスライダーで色合いを調節すると、主要被 写体は検出しません。主要被写体を検出する には、クリエイティブスライダーの設定画面 で記を選び、いったん明るさ、鮮やかさ、色 合い、アクティブD-ライティングの設定をリ セットしてください。	
	ホワイトバランス (皿130)	[ターゲットファインドAF]時、[ホワイトバ ランス]を[オート]以外にすると、主要被 写体は検出しません。	
日つぶり起演	笑顔自動シャッター (□□44)	[ <b>笑顔自動シャッター</b> ] にすると、[ <b>目つぶり</b> 軽減] は動作しません。	
日フパリギー風	セルフコラージュ (ロ45)	[ <b>セルフコラージュ</b> ]にすると、[ <b>目つぶり軽</b> <b>減</b> ]は動作しません。	
미서훈니 저 과	連写(囗132)	[ <b>単写</b> ] 以外にすると、日付と時刻を写し込めません。	
日刊寺し込み	目つぶり軽減 (口140)	[ <b>目つぶり軽減</b> ]を [ <b>する</b> ] に設定すると、日 付と時刻を写し込めません。	
	フラッシュモード (ロ50)	[ <b>する (ハイブリッド)</b> ] に設定時、フラッシュ が発光する場合、[ <b>する</b> ] に固定されます。	
	セルフタイマー (ロ52)	[ <b>する (ハイブリッド)</b> ] に設定時、セルフタ イマーにすると、[ <b>する</b> ] に固定されます。	
静止画手ブレ補正	連写(囗132)	[ <b>する (ハイブリッド)</b> ] に設定時、[ <b>単写</b> ] 以 外にすると、[ <b>する</b> ] に固定されます。	
	ISO感度設定 (印134)	[する (ハイブリッド)]に設定時、ISO感度 を[感度制限オート]またはISO 400以上に 設定すると、[する]に固定されます。	
電子ズーム	AFエリア選択 (口135)	[ <b>ターゲット追尾</b> ]にすると、電子ズームは使 えません。	

### ▶ 電子ズームについてのご注意

- ・撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません(□169)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

🕤 いろいろな撮影

撮影時に組み合わせて使えない機能

65



# いろいろな再生

拡大表示	. 67
サムネイル表示 / カレンダー表示	. 68
最影日一覧モード	. 69
グループ画像の再生と削除	. 70
画像の編集(静止画)	. 72



🕤 いろいろな再生

## 拡大表示

再生モードの1コマ表示(印21)でズームレバー をT(Q拡大表示)側に動かすと、拡大表示されます。T(Q)

1 コマ表示

拡大表示

- ・ 拡大率を調節するには、ズームレバー(₩(■)/T(Q))を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- ・ 拡大表示中に∞ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

### 🖉 画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像と して保存できます(□178)。



拡大表示

## サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示(□21)でズームレバーをW(■サムネイル表示)側に動かすと、画像を 一覧できる「サムネイル表示」になります。





- 表示コマ数は、ズームレバー (₩(■)/T(Q)) で変更できます。
- サムネイル表示でマルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画像を選び®ボタン を押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で▲▼◀▶を押して、日付を選んで®ボタンを押すと、その日 に撮影した画像に移動して表示します。

#### ▶ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2017年1月1日」の画像として 扱われます。







## 撮影日一覧モード

#### ▶ボタンを押す(再生モード) → ▶ボタン → @撮影日一覧 → @ボタン

マルチセレクターの▲▼で日付を選び、 @ ボタンを 押すと、選んだ撮影日の画像を再生します。

- 選んだ撮影日の画像を対象に、再生メニュー (□149)の機能が使えます([画像コピー]を除く)。
- 撮影日の選択画面では、以下の操作ができます。
  - MENUボタン:以下の機能が使えます。
    - スライドショー

▲ いろいろな再生 撮影日一覧モード

プロテクト設定<sup>※</sup>

※ 選んだ撮影日の画像をすべて同じ設定にできます。

- 面ボタン:選んだ撮影日の画像を、すべて削除します。

#### ✔ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去29日分までです。それ以前の画像は、「過去 画像」に分類されます。
- 表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2017年1月1日」の画像として扱われます。





## グループ画像の再生と削除

### グループ画像の再生方法

連写した画像や比較明合成、クリエイティブモード、セルフコラージュで撮影した 画像は「グルーブ画像」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コ マを代表画像として表示します。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、 ®ボタンを押します。

●ボタンを押した後の操作方法は、以下のとおりです。

- ・ 画像を切り換えるには、マルチセレクターの◀▶
   を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲ を押し、代表画像の表示に戻します。
- グループ内の画像をサムネイル表示やスライド ショーで再生するには、再生メニュー [グループ 表示設定](□153)を [1枚すつ] にしてください。





### ✔ グループ画像の表示方法について

- このカメラ以外で撮影した画像は、グループ画像として表示できません。
- カメラ内のメモリーカードに保存されたグルーブ画像が1000セットを超えると、それ 以降に撮影した画像をグルーブ画像として表示できません。不要なグルーブ画像を削 除するか、メモリーカードを交換してください。ただし、不要なグルーブ画像を削除 しても、撮影時にグループ化されなかった画像はグルーブ画像として表示できません。

#### ダ グループ画像で使える再生メニュー

- グループ内の画像の1コマ表示中にMENUボタンを押すと、再生メニュー(□149)の機能が選べます。
- 代表画像でMENUボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
  - 送信画像の指定、プロテクト設定、画像コピー



グループ画像の再生と削除

70

### グループ画像を削除する

グループ画像では、**価**(削除)ボタンを押すときに表示されている画像によって、 削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中:
  - [表示画像]:表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
  - [削除画像選択]: 削除画像の選択画面(□23) で代表画像を選ぶと、その グループ内の画像をすべて削除します。
  - [全画像]:メモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中:
  - [表示画像]:表示している1コマを削除します。
  - [削除画像選択]:グループ内の画像を選択して削除します。
  - [表示グループ]:表示しているグループ内の画像をすべて削除します。



グループ画像の再生と削除

## 画像の編集(静止画)

### 画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異 なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

#### 画像編集の制限

- 画像は10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

### クイックエフェクト(色合いや雰囲気を変える)

種類	内容
絵画調/フォトイラスト/ソフトボートレート/ 背景モノクロポートレート/魚眼効果/ クロススクリーン/ミニチュア効果	画像を加工して、さまざまな効果を付け ます。
かすみ取り	水中での撮影などで起こりがちな画像 のかすみを軽減します。



- ズームレバー(□3)をT(Q)側に動かすと1コマ表示に、W(□)側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、 MENUボタンを押します。
- 3 [はい]を選び、@ボタンを押す
  - 編集画像が作成されます。



画像の編集(静止画)



1010525



## 簡単レタッチ(コントラストと鮮やかさを高める)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン→ 簡単レタッチ
 ● ® ボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選 び、®ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。







### D-ライティング(画像の暗い部分を明るく補正する)

▶ボタンを押す(再生モード)→画像を選ぶ→MENUボタン→
 D-ライティング→®ボタン

マルチセレクターの▲▼で [実行] を選び、 <sup>®</sup> ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、[キャンセル]を選び、
   のボタンを押します。



### 赤目補正(フラッシュ撮影による赤目を補正する)

▶ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ→ MENUボタン→ 赤目補正→ ®ボタン

#### 効果を確認し、∞ボタンを押す

中止するときは、マルチセレクターの◀を押します。



### ▶ 赤目補正についてのご注意

- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ペット(犬または猫)の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分が補正されることがあります。







### メイクアップ効果(人物の顔をきれいに見せる)

▶ボタンを押す(再生モード)→画像を選ぶ→MENUボタン→ メイクアップ効果 → ®ボタン

1 マルチセレクターの▲▼◀ ▶で編集する 人物を選び、のボタンを押す

検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



 同時に複数の効果を付けられます。 のボタンを押す前に、すべての効果を設定または 確認してください。 じ [小顔]、□ [美肌]、□ [ファンデーション]、 アイ]、😌 [ホワイトアイ]、😌 [アイシャドウ]、💱 [マスカラ]、🕁 [歯の ホワイトニング]、😸 [リップカラー]、👀 [チーク]

人物の選択画面に戻るには、MENUボタンを押します。

#### 3 効果を確認し、のボタンを押す

- 設定をやり直すには、
   を押して手順2に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、 MENUボタンを押します。









4 [はい]を選び、®ボタンを押す

• 編集画像が作成されます。



#### ▶ メイクアップ効果についてのご注意

- 一回で編集できる顔は1人です。別の顔にメイクアップ効果をつけるには、編集済み画像を再編集します。
- ・
   顔の向きや明るさなどによっては、
   適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像、および画像サイズが640×480以上の画像のみ、メイクアップ効果の編集ができます。

### 情報合成画像(電子コンパスなどの情報を画像に写し込む)

▶ ボタンを押す(再生モード) → 画像を選ぶ → MENUボタン → 情報合成画像
 → ∞ ボタン

マルチセレクターの▲▼で [実行] を選び、 
<sup>®</sup>
ボタンを押す

- 画像に記録された以下の情報が写し込まれます。
  - 電子コンパス
  - 日時
  - 高度/水深
  - 気圧
  - 緯度、経度
- 中止するときは、[キャンセル]を選び、
   ・
   が
   ・
   ボタンを押します。

#### ▶ 情報合成画像についてのご注意

- 画像に記録されていない情報は写し込まれません。
- 画像サイズが小さい画像の場合は情報が正常に表示されないことがあります。



🕤 いろいろな再生

### スモールピクチャー(画像サイズを小さくする)

- 1 マルチセレクターの ▲▼ でスモールピク チャーのサイズを選び、®ボタンを押す
  - 「翻 4608×2592」の画像は [640×360]、
     [1] 3456×3456]の画像は [480×480]のみ 表示されます。
- Xt=−µ29fy 

   (m)

   640x480

   320x240

   160x120
- 2 [はい]を選び、®ボタンを押す
  - 編集画像が作成されます(圧縮率約1/8)。





### トリミング(画像の一部を切り抜く)

### 1 ズームレバーで拡大表示する(□67)

- 切り抜きたい部分だけが表示されるよう に調節し、MENU(メニュー)ボタンを押す
  - ズームレバーをT(Q)またはW(図)側に動かして拡大率を調節します。■:%が表示される拡大率にしてください。
  - マルチセレクターの▲▼< ▶ で表示範囲を移動 します。
- 3 トリミング範囲を確認し、@ボタンを押す





### 4 [はい]を選び、®ボタンを押す

• 編集画像が作成されます。



### 🖉 画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比(横:縦)は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが 320×240 以下になった画像は、再生画面で小さく表示 されます。



動画

動画の基本的な撮影と再生	80
動画撮影中に静止画を記録する	84
タイムラプス動画を撮影する	85
スーパーラプス動画を撮影する	87
ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)	88
動画再生中の操作	91
動画の編集	92



## 動画の基本的な撮影と再生

#### 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします(□181)。

動画枠



動画の記録可能時間

# 2 ● (\*景動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (①145)の設定によって異なります。
- ボタンを押すと撮影を一時停止し、もう一度
   ボタンを押すと撮影を再開します( 「動画設定]をHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止 画を記録できます(①84)。





- 3 ●(▶) ボタンを押して、撮影を終了する
- 4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、∞ ボタンを押して再生する
  - 動画設定のアイコンが表示されている画像が動 画です。





ら 動画

### 動画枠について

- 動画枠を表示するには、セットアップメニューの[モニター設定](□165)の [モニター表示設定]を [動画枠+情報オート]にします。動画撮影開始前に動 画の写る範囲を確認できます。
- 動画の写る範囲は、動画メニューの「動画設定」や「動画手ブレ補正」などの設定によって異なります。

#### 露出について

動画撮影中にマルチセレクターの▶を押すと、露出が固定されます。解除するに は、もう一度▶を押します。

#### 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって 異なることがあります。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。動画のサイズ/フレームレートが [2006/250] (4K UHD) または [2006/250] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

### ▶ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの 温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。
   自動終了までの残りの秒数(**a**10s)が画面に表示されます。
   自動終了後、電源もOFFになります。
   カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。



### 動画撮影についてのご注意

### ▶ 撮影後の記録についてのご注意

- 撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像また は動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカード
   を取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメ ラやメモリーカードが壊れることがあります。
- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- 動画のファイルサイズによっては、内蔵メモリーに記録できないことがあります。また、メモリーカードから内蔵メモリーにコピーできないことがあります。

#### ▶ 低温下での撮影についてのご注意

電池の温度が0℃未満のときは、[**逦**ඛ2160/30p](4K UHD)、[**逦**扇2160/25p](4K UHD)、[**逦**扇1080/60p]、[**逦**ඛ1080/50p]、[**逦**ඛHS 480/4倍]、[**逦**ඛHS 480/4倍]、 [**逦**ඛHS 1080/0.5倍]、[**逦**ඛHS 1080/0.5倍]の動画は撮影できません。

- 撮影開始前に電池の温度が0℃未満になると、[ඛ1080/30p]または[ඛ1080/ 25p]に切り換わります。
- 「200協2160/30p](4K UHD)、「200協2160/25p](4K UHD)、「200協2160/25p](4K UHD)、「200協1080/60p]、
   「200協1080/50p]、[200協HS 480/4倍]、[200協HS 1080/0.5倍]、
   [200協HS 1080/0.5倍]で撮影中に電池の温度が0℃未満になると、撮影を終了し、自動で電源がOFFになる場合があります。撮影した動画は保存されます。

### ▶ 記録した動画についてのご注意

- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、動画手ブレ補正、明るさが 変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの 現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す 被写体(布地や建物の格子窓など)に色の付いた縞模様(干渉縞、モアレ)が現れる ことがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故 障ではありません。

### ▶ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- ・動画メニューの [動画手ブレ補正] (□147) を [する (ハイブリッド)] に設定すると、動画撮影時に画角(写る範囲)が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、「動画手ブレ補 正]を「しない」に設定してください。

6 動画

82

動画の基本的な撮影と再生

### ▼ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(口60)では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

- 撮影前に動画メニューの [AF エリア選択] を [中央] に、[AF モード] を [シング ルAF] (初期設定) にする。
- 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●(\*果動画撮影)ボタンを押し、動 画撮影を開始してから構図を変える。



## 動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面に (2) が表示されているときに記録できます。
   表示が図のときは記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、動画の画像サ イズ(□141)によって異なります。



- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
  - 動画撮影の一時停止中
  - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
  - 「動画設定」(□141)が「逦跏2160/30p](4K UHD)、「逦ឯ2160/25p](4K UHD)、 「逦跏480/30p]、「逦ឯ480/25p]またはHS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。





## タイムラプス動画を撮影する

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早 送り動画にして記録します。

動画メニューの[フレームレート設定]が[30 fps (30p/60p)]時は、300コマ撮影し[ඛ1080/30p]で記録します。[25 fps (25p/50p)]時は、250コマ撮影し[ඛ1080/25p]で記録します。

撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → 2 (上から2番目のアイコン<sup>\*\*</sup>) → ▶ → ▲ ▼ → 応 (タイムラプス動画) → ∞ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

퓲粓/提影斫亜咕問	撮影間隔		
	30 fps (30p/60p)	25 fps (25p/50p)	
區。街中/10分間撮影(初期設定)	2秒	2.4秒	
🕼 風景/25 分間撮影	5秒	6秒	
醫 夕焼け/50 分間撮影	10秒	12秒	
题星空/150分間撮影 <sup>※1</sup>	30秒	36秒	
	30秒	36秒	

※1 星の動きなどに適しています。ピントは無限遠に固定します。

※2 画像処理で星の動きを光の線で表現します。ピントは無限遠に固定します。

#### 





ら 動画

2 露出(明るさ)を固定するかどうかを選び、∞ボタンを押す(図および図を除く)

 [AE-Lする] にすると、露出を1コマ目で固定します。夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは [AE-Lしない] をおすすめします。



### 3 三脚などでカメラを固定する

### 4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影 する

- 露出補正(口355)は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は、画面が消灯することがあります。
- 300コマまたは250コマ撮影すると自動終了します。
- ○ボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラプス動画を記録します。
- 音声と静止画は記録されません。

#### ▶ タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードを入れていないときは、撮影できません。メモリーカードは、撮影を 終了するまで交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- (
   ・
   ・
   ● 動画撮影) ボタンを押しても、タイムラプス動画は撮影できません。
- セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168)の設定にかかわらず、手ブレ 補正を行いません。





86

## スーパーラプス動画を撮影する

動画を撮影し、早送り動画([**論1080/30p**] または [**論1080/25p**])にして 記録します。カメラを移動させながら撮影し、被写体の移り変わりを時間短縮し て記録するのに適しています。

撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → 2 (上から2番目のアイコン<sup>\*\*</sup>) → ▶ → ▲▼ → 芯 (スーパーラプス動画) → ® ボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

1 マルチセレクターの ▲▼ で再生倍速を選 び、 <sup>(1)</sup>ボタンを押す

- 初期設定の [6倍速] では、6分間撮影した場合、
   1分間の動画として再生されます。
- ファイルサイズが4GBに達するか、撮影時間が29 分を超えると、自動的に終了します。

2 ● (\* 動画撮影)ボタンを押して、撮影を開始する

- ピント合わせをするエリアは、[AF エリア選択] (□145)の設定によって異なります。初期設定 は、[顔認識オート]です。
- 撮影時間と再生時間を画面で確認できます。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします(①165)。
- 音声は記録されません。

#### ● 静止画撮影について ●

- ●(\*果 動画撮影)ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、静止画([118]4608×2592]) を撮影できます。
- 動画の撮影中に静止画を撮影できます(□84)。



スーパーラプス動画を撮影する





撮影時間

再生時間





## ショートムービーショーモード (つなげて作る 短編動画)

数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービー ショー([₪1080/30p]または[₪1080/25p])を作成します。

撮影画面にする → **凸** (撮影モード) ボタン → 触ショートムービーショー モード → ∞ボタン

- MENU (メニュー)ボタンを押し、撮影の設 定をする
  - [撮影回数]:動画(素材)の記録時間と撮影回数の組み合わせを選びます。 初期設定では、2 秒間の素材を15回撮影し、30 秒間の動画を作成します。



- [スペシャルエフェクト] (□190): さまざまな効 果をつけて撮影できます。効果は素材ごとに変更できます。
- [BGM]: バックグラウンドミュージックを選びます。ズームレバー(□3)をT (9)側に動かすと、試聴できます。
- 設定が終了したら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を 終了してください。
- 2 (\*景動画撮影)ボタンを押して、素材を撮影する
  - 手順1で設定した素材の記録時間が経過すると、 自動的に撮影が終了します。
  - 一連の撮影は、一時的に中断できます。
     →「撮影の中断について」(□189)
- 3 撮影した素材を確認、または削除する
  - 確認するには、
     ・確認するには、
  - 削除するには、面ボタンを押します。直前に撮影した素材、またはすべての素材を削除できます。
  - 素材の撮影を続けるには、手順2の操作を繰り返します。
  - 効果を変更するには、手順1に戻ります。

**ら**動画





撮影回数



88

ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)
### 4 ショートムービーショーを保存する

- 設定した回数の素材を撮影し終えると、ショートムービーショーが保存されます。
- 設定した回数の撮影を終える前にショートムービーショーを保存するには、撮影 待機画面でMENUボタンを押し、[撮影終了]を選びます。
- 保存すると、素材は削除されます。

#### 素材確認中の操作

音量を調整するには、再生中にズームレバー(□3) を動かします。 画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、∞ボタ ンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン		内容		
巻き戻し	*	<b>⊛</b> ボタ	●ボタンを押している間、巻き戻しします。		
早送り	*	<b>⊛</b> ボタ	ンを押している間、早送りします。		
		一時停	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。		
一時停止	•	٩IJ	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しし ます。		
		₽	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りし ます。		
			再生を再開します。		
再生終了		撮影の	待機画面に戻ります。		
撮影終了	Ľ1	撮影済みの素材でショートムービーショーを保存します。			

### ▶ 撮影時のご注意

- メモリーカードを入れていないと、撮影できません。
- ショートムービーショーを保存するまでは、メモリーカードを交換しないでください。

#### ✓ 撮影の中断について

- 撮影を中断して、他のモードに切り換えて撮影や再生ができます。再度ショートムービーショーモードを選ぶと、素材の撮影を再開できます。



89

ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)



### ショートムービーショーモードで設定できる機能

- セルフタイマー (□52)
- マクロモード (ロ54)
- 露出補正(囗55)
- ショートムービーショーメニュー (□188)
- 動画メニュー (□141)

### スペシャルエフェクトを使う

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → 🗖 (撮影モード) ボタン → 📾 ショートムービーショー モード → ® ボタン → MENUボタン → スペシャルエフェクト → ® ボタン

種類	内容
SOFT ソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼか します。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような 雰囲気にします。
□ 硬調モノクローム	コントラストが強めの白黒写真にします。
🖋 セレクトカラー	選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
🕉 クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
息1 トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗 めに表現します。
息2 トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
OFF しない(初期設定)	画像に効果を付けません。

[セレクトカラー]または [クロスプロセス]を選んだときは、マルチセレクターの▲▼で色を選び、
 ◎ボタンで決定します。

セレクトカラー	
	2
	E
□□1色決定	

90

ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)

ら 動画

# 動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー(□□3)を動かします。



画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、∞ボタ ンを押すと以下の操作ができます。

•	« <mark>  </mark>	*			WINT
	<ii></ii>	⊪	Ŗ	ŵ	
一時停止時					

機能	アイコン		内容		
巻き戻し	۲	<b>®</b> ボタ	∞ボタンを押している間、巻き戻しします。		
早送り	*	<b>⊛</b> ボタ			
		一時停	止します。一時停止中は、以下の操作ができます。		
		411	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しし ます。		
一時停止	_	₽	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りし ます。		
	•		再生を再開します。		
		13	撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイ ルとして保存します。		
		Â	撮影した動画の1 フレームを静止画として切り出して 保存します。		
再生終了		1コマ	表示に戻ります。		

# 動画の編集

# 動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

- 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (□)91)
- マルチセレクターの< ▶で操作パネルの ■を選び、®ボタンを押す



- 3 ▲▼で編集操作パネルの以【(始点の設定) を選ぶ
  - ●で始点を調節します。
  - 編集を中止するには、

     「(戻る)を選び、
     ◎ボタンを押します。



### 4 ▲▼で以(終点の設定)を選ぶ

- ●で終点を調節します。
- ・設定した範囲をプレビューするには、■を選び、
   ●ボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度
   ●ボタンを押します。



5 ▲▼で凹(保存)を選び、凾ボタンを押す

• 画面に従って保存します。







動画の編集

## ▶ 動画編集についてのご注意

- 編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示が回のときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

# 動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を 表示します(□191)。
- マルチセレクターの ◀ ▶ で操作パネルの 図 を選び、 図 ボタンを押します。
- 確認画面で [はい] を選び、 ® ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は標準(圧縮率約1/8)です。画像サイズは元の動画の画像サイズ(□141)になります。



### ▶ 静止画切り出しの制限



動画の編集

# 位置情報機能を使う

位置情報機能でできること	95
位置情報を画像に記録する	97
高度計 / 水深計を使う	100
移動情報のログを記録する	101
高度 / 水深ログをグラフで表示する	104
アクティブガイドを表示する	105



# 位置情報機能でできること

★(位置情報設定)メニュー(□120)で[位置情報設定]の[内蔵位置情報記録]を[する]にすると、測位衛星の電波の受信を開始します。 受信状態は、撮影画面で確認できます。

 %相または%1:4つ以上、または3つの衛星から受信して、 位置情報を取得しています。



- ▶: 電波を受信していません。

### 撮影地点の位置情報を画像に記録する

- カメラが測位している状態で撮影すると、画像に位置情報(緯度・経度)を記録します。
- 位置情報設定メニュー [電子コンパス設定]の[コンパス表示]を[する]にすると、撮影したおおよその方角も記録します。

### ログを記録する

- 測位した状態で位置情報設定メニュー [ログ取得]の[全ログ取得開始]を選びと、カメラを持って移動した場所の位置情報および高度・水深を一定間隔で記録します。
- 記録したログ(位置情報や高度・水深の移動記録)は、[ログ取得]でログ取得 を終了し[ログ保存]を選ぶと、メモリーカードに保存されます。
- メモリーカードに保存した高度・水深のログは、位置情報設定メニュー [ログ データ表示]の[高度/水深ログ]を選ぶと、グラフに表示できます。
- 現在記録中の高度・水深ログのグラフを、アクティブガイド(□105)で確認 できます。



### POI情報を表示する

- カメラが測位している場合、位置情報設定メニュー [POI設定]の [POI記録]
   を [する]にすると、現在地に最も近い地名情報も、撮影する画像に記録します。
- カメラが測位している場合、位置情報設定メニューの[POI表示設定]を[する]にすると、撮影画面およびアクティブガイドでは現在地に最も近い地名情報を表示し、再生画面では画像に記録した地名情報を表示します。





▲ 位置情報機能を使う

位置情報機能でできること

# 位置情報を画像に記録する

### MENUボタンを押す → メメニューアイコン → 位置情報設定 → ®ボタン

カメラの [地域と日時] (□163) は、位置情報機能を使う前に、正しく設定して ください。

## 1 [内蔵位置情報記録] を [する] に設定する

- 設定したらMENUボタンまたはシャッターボタンを 押してメニュー画面を終了します。
- 電波を受信しやすくするため、空のひらけた屋外 で操作してください。

### 2 撮影画面で受信状態を確認する

- ・ 図:衛星から受信ができず、位置情報を取得できません。
   ・画像に位置情報は記録されません。

# 3 測位した状態で撮影する

- 撮影した画像に位置情報が記録されます。





位置情報受信状態



### ▶ 位置情報機能についてのご注意

- 位置情報機能をお使いの前に、「位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意」(□181)をお読みください。
- はじめて測位したときや、測位できない状態で長時間経過したとき、電池を交換したときは、位置情報を取得するまで数分かかります。
   最新の A-GPS ファイルを使うと、位置情報を取得するまでの時間を短くできます
   (□157)。
- 測位衛星の位置は常に変化しています。
   お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できなかったりすることもあります。
   位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。測位アンテナ部(CD2)を空に向けると受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した 位置が実際にいた場所と異なったりすることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
  - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。
   金属製のものでおおうと測位できません。
- 測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることが あります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。
  - 位置情報を取得した時刻は画像に記録されますが、カメラでは表示できません。
- 連写した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

### ▶ 位置情報記録、ログ取得時の電源と電池の消耗について

- [内蔵位置情報記録]を[する]にしていると、カメラの電源をOFFにした後も、位置 情報記録機能が一定の間隔で約6時間作動します。また、ログ取得中(□101)は、カ メラの電源をOFFにした後も、位置情報記録機能やログ取得機能が作動します。
- [内蔵位置情報記録]が[する]時やログ取得時は、電池を通常より消耗します。特に
   [全ログ取得開始]や[位置情報ログ取得開始]を選んでログを取得するときは、電池
   残量にご注意ください。



# A-GPSファイルの更新方法

最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を取得するまでの時間を短くできます。

- 下記のウェブサイトから最新のA-GPS ファイルをパソコンにダウン ロードする
  - http://nikonimglib.com/agps3/
- 2 ダウンロードしたファイルをカードリーダーなどを使って、メモ リーカードの「NCFL」フォルダーにコピーする
  - 「NCFL」フォルダーはメモリーカードの直下にあります。メモリーカード内に 「NCFL」フォルダーがない場合は、メモリーカードの直下に「NCFL」フォルダー を新規作成してください。
- 3 ファイルをコピーしたメモリーカードをカメラに入れる
- 4 カメラの電源を入れる
- 5 MENU(メニュー)ボタンを押して位置情報設定メニューを表示し、 マルチセレクターで[位置情報設定]を選ぶ
- **6** [A-GPSファイル更新] を選び、ファイルを更新する
  - ファイルの更新終了まで、約2分かかります。

### ✔ A-GPSファイル更新についてのご注意

- A-GPSファイルは、ご購入後はじめての測位では無効です。2回目の測位から有効になります。
- A-GPS ファイルの有効期限は、更新画面で確認できます。有効期限が切れている場合は、有効期限がグレーで表示されます。
- A-GPS ファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位は速くなりません。
   A-GPSファイルは位置情報機能を使う前に更新することをおすすめします。



位置情報を画像に記録する



# 高度計/水深計を使う

現在地の高度や水深、気圧を撮影時に画面で確認したり、撮影した画像に記録し たりできます。

- ・ 画像に記録した高度/水深および気圧は、再生メニューの[情報合成画像](□76) で画像に写し込めます。
- 高度/水深ログの取得機能を使うと、撮影した画像をログと連動させて表示できます(□104)。

### ▶ 高度計/水深計についてのご注意

- あらかじめ位置情報設定メニュー [高度/水深設定] (□162)の [高度/水深補正] で、 高度/水深を補正してください。水中で使用する前には、必ず水上で0mに補正をして ください。
- このカメラの高度計 / 水深計を登山やダイビングなどの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 高度は気圧計を使って算出しているため、気象条件によっては正しく表示されないことがあります。
- 水深計の目盛で25 mを超えると、表示はオレンジ色に変わります。水深計の目盛で30 m を超えると、表示は赤色に変わります。

#### 

- 位置情報設定メニュー[高度/水深設定]の[高度計/ 水深計表示]を [する](初期設定)にすると、高度計 /水深計を表示できます。
- 水深計、水深表示は、シーンモードを「水中」に設定したとき、または運(おまかせシーン)モードにして水中に入ったときに表示されます。[水中]のときにカメラが水中に無い場合は、水深計の表示が0mに固定されます。
- 高度の表示範囲は-300 m ~ +4500 m、水深の表示範囲は0 m ~ 35 mです。
- 高度/水深を補正すると、高度表示/水深表示の横に窓 が表示されます。

高度計または水深計



高度表示または水深表示



100

6 位置情報機能を使う

# 移動情報のログを記録する

# ログ取得を開始する

#### MENUボタンを押す → メメニューアイコン → ログ取得 → ® ボタン

### マルチセレクターの▲▼で取得開始する ログを選び、®ボタンを押す

- [全ログ取得開始]: 位置情報、高度情報、水深情報のログを取得します。
- [位置情報ログ取得開始]:位置情報のログを取得 します。
- [水深ログ取得開始]:水深情報のログを取得します。

2 ログ取得する間隔を選び、®ボタンを押す

 取得するログによって、設定できるログ取得間隔 は異なります。

3 ログ取得する時間を選び、®ボタンを押す

- 取得するログによって、設定できるログ取得時間 は異なります。
- ログの取得が始まります。MENUボタンを押してメニュー画面を終了してください。
- ログ取得中は、撮影画面に LOG が表示されます (CL6)。
- 設定した時間が経過するとログ取得が自動的に終了し、ログデータが一時的にカメラに記録されます。ログ取得が終了したらメモリーカードに保存してください(□103)。



ログ取得間隔 15 秒

×,

30 秋

10分





### ▶ ログ取得についてのご注意

- 日時が設定されていない場合は、ログ取得はできません。
- 全ログ取得時、または水深ログ取得時は、取得開始前に位置情報設定メニュー [高度 /水深設定] (□162)の[高度/水深補正]で高度または水深を補正してください。
- ログ取得時間内に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電 池残量がなくなると、ログ取得が終了します。
   位置情報ログ取得中は、電池を特に早く消耗しますので、電池の残量にご注意ください。
- ログ取得を開始してもカメラが測位していない期間はログ取得できません。
- カメラの電源をOFFにしていても、ログ取得時間が残っている場合は、設定した時間 が過ぎるまでログ取得します。
- ログ取得時間内でも、以下の操作をすると、ログ取得が終了します。
  - 電池を取り外す
  - [位置情報設定] → [内蔵位置情報記録] を [しない] にする([水深ログ取得開始] で取得開始した水深ログを除く)
  - セットアップメニューの [設定クリアー] をする
  - 内蔵時計の設定(地域や日時)を変更する
  - 位置情報設定メニューで [ログ取得] →ログ取得終了を選ぶ (□103)
- 以下の操作中は、ログ取得が一時中断されます。
  - 連写撮影中
  - 動画撮影中
  - USBケーブルまたはHDMIケーブル接続中 操作を終了するとログ取得を再開します。
- ログデータは一時的にカメラに記録されます。カメラにログデータが残っていると、 新しくログ取得ができません。ログ取得後は、メモリーカードにログデータを保存し てください(□103)。



# ログ取得を終了しメモリーカードに保存する

#### MENUボタンを押す → メメニューアイコン → ログ取得 → ® ボタン

取得したログをグラフで表示するには、メモリーカードに保存する必要があります。



設定した取得時間が経過する前でも、取得終了するログを選んで終了できます。

#### 

- メモリーカードにログデータを保存します。
- メモリーカードにログデータが保存されたことを確認するには、位置情報設定メニューの[ログ データ表示]を選びます。



۵	全ログ取得終了
	ログ保存
	ログ消去
<b>F</b> y	
ť	

### ▶ ログデータについてのご注意

- ログ取得開始から終了までの間に一度も測位できなかった場合は、ログデータは保存 できません。
- メモリーカードに保存したログデータについて → □204

#### 🖉 ログデータを消去するには

- カメラに一時的に記録されたログデータを消去するには、手順2で「ログ消去」を選びます。
- メモリーカードに保存されたログデータを削除するには、[ログデータ表示](□160) で[位置情報ログ]または[高度/水深ログ]を選び価ボタンを押します。

### 🖉 位置情報ログデータについて

NMEAフォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。



移動情報のログを記録する



# 高度/水深ログをグラフで表示する

MENUボタンを押す → メメニューアイコン → ログデータ表示 → ® ボタン → 高度/水深ログ → ® ボタン

- 表示したいログ(日付)を選んで∞ボタンを押す と、記録した高度情報または水深情報をグラフで 表示します。
  - グラフの横軸は取得したログの合計時間、縦軸 は取得したログの高低差を表示します。
  - ログ取得中に撮影した画像がある場合は、画像 をサムネイル表示し撮影ポイントをグラフ上に 表示します。
- ログの一覧画面で面ボタンを押すと、選択中のロ グまたは保存されたすべての高度/水深ログを削 除できます。



サムネイル表示

- 内容 操作 MENUボタン ログの一覧画面に戻ります。 ▲▶で<br/>
  古色い<br/>
  選択枠を<br/>
  移動します。 マルチセレクター 黄色い選択枠は、ログの取得数の合計が30個を超える場合に表 示されます。 ■ (Q)側に動かすと、選択枠で囲まれた部分を拡大表示します。 ズームレバー 
   ● で表示位置を移動できます。
   W(配)で全体表示に戻ります。 サムネイル表示の画像が選択され、以下の操作ができます。 ▲▶でサムネイル画像の選択を移動します。 
   ・ 選択中の画像の撮影ポイントがグラフト
   マルチセレクター で黄色に変わります。 ®ボタン T(Q): 選択中の画像を1コマ表示します。 ズームレバー ◀▶で前後の画像を切り換えられます。 W(図): グラフの表示に戻ります。 グラフの操作画面に戻ります。 Rボタン
- グラフの表示中は以下の操作ができます。



高度/水深ログをグラフで表示する



# アクティブガイドを表示する

① (ツール)ボタンを押すと、現在取得している位置情報などが確認できるアクティブガイドが表示されます。



アクティブガイドの表示中に®ボタンを押すと、表示する情報を切り換えること ができます。



- ※1 シーンモードの [水中] 時、または水中検出時は、水深表示になります。
- ※2 取得中の高度ログまたは水深ログのグラフが表示されます。水中検出時は、水深ロ グのグラフが表示されます。高度ログおよび水深ログを取得していないときは、グ ラフは表示されません。
- アクティブガイドを終了するには、
   アクティブガイドを終了するには、
- アクティブガイドから撮影画面にするには、シャッターボタン、□ボタンまたは●(\*果)ボタンを押してください。

### ▶ アクティブガイドについてのご注意

• 撮影中やアクションメニューの表示中などでは、アクティブガイドを表示できません。

• 水中検出時は、一部の情報は表示されません。



アクティブガイドを表示する

### ▶ 電子コンパスについてのご注意

- 電子コンパスをお使いの前に、「位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意」(□181)をお読みください。
- カメラのレンズが上を向いているときは、電子コンパスおよび方位は表示されません。
- このカメラの電子コンパスを登山などの専門的な用途に使用しないでください。表示 される内容はあくまでも目安です。
- 以下のような物の近くでは、方位を正確に計測できないことがあります。
   磁石、金属、電動機、家庭電化製品、送電線など
- 以下のような場所では、方位を正確に計測できないことがあります。
   自動車、電車、船舶、航空機、建物や地下街などの中
- 位置情報を取得できないと、方位を正確に計測できないことがあります。



アクティブガイドを表示する



# テレビ、プリンター、パソコンと の接続

画像の活用方法	
テレビで鑑賞する	110
パソコンを使わずにプリントする	
パソコンに画像を取り込む(NX Studio)	115



107

### S テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# 画像の活用方法

撮影した画像は、SnapBridgeアプリを使って楽しむだけでなく、以下の機器とカ メラを接続することで、さまざまな用途に活用できます。

#### テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。 接続方法:市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続 します。

#### パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像 をプリントできます。

接続方法: USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

#### パソコンに画像を取り込む (NX Studio)



パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。 接続方法:USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

 パソコンと接続する前に、NX Studio をパソコンにインストール してください。



108

#### 🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続





- 必ずカメラの電源をOFFにしてからカバーを開け、水滴が残っていないことを確認してください。水滴が残っている場合は、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- プラグは形状と向きを確認して、必ずカメラの電源をOFF にしてから、まっすぐに抜き差ししてください。
- カメラの電池残量が十分にあることを確認してください。別売のACアダプターEH-62F を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のAC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



### 「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# テレビで鑑賞する

### 1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

• プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 2 テレビの入力を外部入力に切り換える
  - 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。
- 3 カメラの ▶ (再生) ボタンを長押しして電源をONにする
  - 画像がテレビに表示されます。
  - カメラの画面は点灯しません。
  - [25p] (4K UHD) または [22kg2160/25p] (4K UHD) で記録した動画を4K UHD画質 で再生するには、4Kに対応したテレビおよびHDMIケーブルをお使いください。



110

### 「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

# カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する
  - プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 3 カメラの電源が自動的にONになる
  - カメラの画面に [PictBridge] 画面(①) が表示された後、[ブリント画像選択] 画面(②) が表示されます。





### V PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[**パソコン接続充電**] (**□176**)を[**オート**] にするとプリント できない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、 カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[**パソコン接続充電**]を[**しな** い] に設定してから、再接続してください。



111

S テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンを使わずにプリントする

# 1コマずつプリントする

- 1 マルチセレクターの◀ ▶でプリントする 画像を選び、QRボタンを押す
  - ズームレバーをW(■)側に動かすと一覧表示 に、T(Q)側に動かすと1コマ表示に切り換わり ます。
- 2 ▲▼ で [プリント枚数設定] を選び、 @ ボタンを押す
  - ▲▼でプリント枚数(9枚まで)を設定し、@ボ タンを押します。
  - [用紙設定]を選び、@ボタンを押す
  - 用紙サイズを選び、のボタンを押します。
  - プリンター側の用紙設定で印刷するには、「プリ ンターの設定〕を選びます。
  - カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリン ターによって異なります。
- 4 「プリント実行」を選び、®ボタンを押す
  - プリントが始まります。

3

パソコンを使わずにプリントする

🖌 テレビ、プリンター、パソコンとの接続



ブリント画像選択

K











# 複数の画像をプリントする

 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、 MENU (メニュー) ボタンを押す



### マルチセレクターの▲▼で[用紙設定]を 選び、®ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、
   ・ 用紙サイズを選び、
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリ ンターの設定]を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリン ターによって異なります。
- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。
- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、<sup>®</sup>ボタンを押す







113

🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンを使わずにプリントする

#### プリント選択

プリントする画像(最大99コマまで)と、 プリント枚数(各9枚まで)を設定します。

- マルチセレクターの ◀▶ で画像を選び、
   ▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、
   4とプリント 枚数が表示されます。選択をキャンセル するには、枚数を0にします。
- ズームレバーを▼(Q)側に動かすと1コマ表示に、W(図)側に動かすと一覧表示に切り換わります。



・設定が終了したら 
 ● ボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、
 ● ボタンを押すと画像のプリントが始まります。

全画像プリント

メモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリント します。

プリント枚数の確認画面が表示されたら、[ブリント実行]を選び、
 ・
 がタンを押すと画像のプリントが始まります。



5 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# パソコンに画像を取り込む(NX Studio)

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続できます。ニコンのソフトウェア NX Studioをインストールすると、画像の転送、閲覧、および調整ができます。



# NX Studioをインストールする

NX Studioのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。 ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確 認ください。

- 下記のホームページからNX Studioの最新のインストーラーをダウンロードし、 画面の指示に従ってインストールしてください。 https://downloadcenter.nikonimglib.com/
- 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことがあります。



115

🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む (NX Studio)

# NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む

NX Studioの詳しい使い方はヘルプをご覧ください。

### 1 パソコンに接続する

メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカ メラとパソコンを接続します。



2 カメラの電源をONにする

- NX StudioのNikon Transfer 2が起動します。Nikon Transfer 2は、NX Studioを インストールすると一緒にインストールされる画像転送ソフトウェアです。
- ・ 起動するプログラム (ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、 Nikon Transfer 2を選んでください。
- 自動で起動しない場合、NX Studioを起動して「取り込む」アイコンをクリック してください。





🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む (NX Studio)

# 3 [転送開始] をクリックする



記録されている画像がパソコンに取り込まれます。

### 4 カメラの電源をOFFにする

USBケーブルを抜いて接続を解除してください。

### Vindows 10またはWindows 8.1をお使いの場合

パソコンの設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。



この場合は、表示されたダイアログをクリックしてから、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2]をクリックしてNikonTransfer 2を選びます。





₲ テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む(NX Studio)



# MacOSをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、macOS 付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリ ケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

### ▶ 動画を転送する場合のご注意

このカメラで使用したメモリーカードを他機種のカメラに入れて、そのカメラから動画 を転送しないでください。動画が転送されないままファイルが削除されるおそれがあり ます。

### ▶ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブル を抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端 子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

### V USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンに接続すると、正しく動作しないことがあります。カメラはパソコンに標準装備されたUSBポートへ接続してください。

#### 🖉 カードリーダーを使用する場合

市販のカードリーダーを使用して画像を転送することもできます。その場合、カードリー ダーがお使いのメモリーカードに対応しているかご確認ください。



118

🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む (NX Studio)

# メニューを使う

メニューの操作方法	
メニュー項目一覧	
撮影メニュー(撮影モード共通)	128
撮影メニュー(🗖(オート撮影)モード)	130
ベストフェイスメニュー	139
動画メニュー	141
再生メニュー	149
通信メニュー	154
位置情報設定メニュー	
セットアップメニュー	



S メニューを使う

# メニューの操作方法

MENU(メニュー)ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- ・ 回 撮影メニュー<sup>※1、2</sup>
- 再生メニュー<sup>※3、4</sup>
- 《T》通信メニュー
- ・ メ 位置情報設定メニュー
- ・ ¥セットアップメニュー

※1 撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

- ※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。
- ※3 再生画面でMENUボタンを押すと設定できます。
- ※4 メニューアイコンと設定できる項目は、再生モードによって異なります。



 メニューアイコンが黄色で表示 されます。



3 メニューアイコンを選び、∞ ボタンを押す

メニュー項目が選べるようになります。



_	セットアップ
Ď	
*	
(( <del>, ,</del> ))	
.1.	
<u></u>	
_ ¥	



🕤 メニューを使う

メニューの操作方法



### 5 設定内容を選び、®ボタンを 押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、 MENUボタンを押してください。



	日付写し込み
<b>D</b>	
((+))	DATE 年·月·日
	MEC 年·月·日·時刻
	しない
Ţ	

メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタン、
 ボタンまたは●(\*果)ボタンを押してください。



メニューの操作方法



# 画像選択画面の操作方法

メニューの操作中に右のような画像選択画面が表示 されたときは、以下の手順で画像を選びます。



训除画像選択

Þ

# 1 マルチセレクターの◀ ▶で画像を選ぶ

- ズームレバー(□3)をT(Q)側に動かすと1コ マ表示に、W(■)側に動かすと一覧表示に切 り換わります。
- ・ [画像回転]の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
  - 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。



メニューの操作方法

# メニュー項目一覧

# 撮影メニュー

撮影画面にする → MENUボタン

### 撮影モード共通

項目	初期設定	
画像モード	[ <b>16</b> ] 4608×3456]	128

### □ (オート撮影) モード

項目	初期設定	- CC
ホワイトバランス	[オート]	130
連写	〔単写〕	132
ISO感度設定	[オート]	134
AFエリア選択	[ターゲットファインドAF]	135
AFモード	[プリAF]	138

### ベストフェイスモード

項目	初期設定	
セルフコラージュ	-	139
目つぶり軽減	[しない]	140



### ら メニューを使う

メニュー項目一覧

### 撮影画面にする → MENUボタン → <br /> ♥メニューアイコン → <br /> ® ボタン

項目	初期設定	m
動画設定	[෩ 1080/30p] または [෩ 1080/25p]	141
AFエリア選択	[顔認識オート]	145
AFモード	[シングルAF]	146
動画手ブレ補正	[する (ハイブリッド)]	147
動画照明	[しない]	147
風切り音低減	[しない]	148
フレームレート設定	-	148



ら メニューを使う

メニュー項目一覧


### ▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン

項目	Ш.
送信画像の指定 <sup>※1</sup>	149
簡単レタッチ <sup>※2</sup>	73
D-ライティング <sup>※2</sup>	74
赤目補正 <sup>※2</sup>	74
メイクアップ効果 <sup>※2</sup>	75
情報合成画像 <sup>※2</sup>	76
スライドショー	150
プロテクト設定 <sup>※1</sup>	151
画像回転 <sup>※1</sup>	151
スモールピクチャー <sup>※2</sup>	77
画像コピー	152
グループ表示設定	153

※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(□122)

※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合 があります。

## 通信メニュー

MENUボタンを押す → (T<sup>\*</sup>)メニューアイコン → ® ボタン

項目	m
機内モード	154
スマートフォンと接続	154
撮影時画像送信	154
Wi-Fi	154
Bluetooth	155
設定の初期化	155

## 位置情報設定メニュー

### MENUボタンを押す → ダメニューアイコン → ®ボタン

項目	Ш.
位置情報設定	157
POI設定	158
ログ取得	159
ログデータ表示	160
衛星による日時合わせ	160
電子コンパス設定	161
高度/水深設定	162



メニュー項目一覧



## セットアップメニュー

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → ®ボタン

項目	Ш.
地域と日時	163
モニター設定	165
日付写し込み	167
静止画手ブレ補正	168
AF補助光	169
電子ズーム	169
操作音	170
水中フラッシュ	170
アクション操作の感度	171
アクション画像送り	171
オートパワーオフ	172
LEDライトタイマー	172
カードの初期化/メモリーの初期化	173
言語/Language	173
画像コメント	174
著作権情報	175
パソコン接続充電	176
設定クリアー	177
認証マークの表示	177
バージョン情報	177

127

6 メニューを使う

メニュー項目一覧



## 画像モード(画像サイズ/画質)

撮影画面にする → MENUボタン → 画像モード → ® ボタン

記録する画像サイズ(画像の大きさ)と画質(画像の圧縮率)の組み合わせを選びます。

画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低い ほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。 設定は、他の撮影モードにも適用されます。

項目※	圧縮率	アスペクト比(横:縦)
16 <b>™</b> * 4608×3456★	約1/4	4:3
6 4608×3456(初期設定)	約1/8	4:3
8 <b>⊾</b> 3264×2448	約1/8	4:3
4 <sub>M</sub> 2272×1704	約1/8	4:3
<b>2</b> <sub>M</sub> 1600×1200	約1/8	4:3
10A 640×480	約1/8	4:3
1608×2592	約1/8	16:9
🔝 3456×3456	約1/8	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例: M 4608×3456:約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

#### ▶ 画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

プリンターの設定を「フチあり」にしてください。プリンターによっては、画像を1:1の 縦横比でプリントできない場合があります。

## ▶ 画像モードについてのご注意

- 以下の撮影モードでは設定できません。
  - シーンモードの [タイムラブス動画]、[かんたんパノラマ]、[スーパーラブス動画]
     ショートムービーショーモード
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(1064)。

ら メニューを使う

撮影メニュー(撮影モード共通)



## 🖉 記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます(□19)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG圧縮の性質上、 画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能 コマ数が異なることがあります。
- ・記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。



#### 129

#### **ら** メニューを使う

撮影メニュー(撮影モード共通)

# 撮影メニュー(🖸(オート撮影)モード)

## ホワイトバランス(色合いの調節)

撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ (オート撮影) モード → ® ボタン → MENUボタン → ホワイトバランス → ® ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。
PRE プリセットマニュアル	[オート] や [電球] などの設定では望ましい結果が 得られない場合に使います(①131)。
※ 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
♣ 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
※ 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
≥ 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
5 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

### ▶ ホワイトバランスについてのご注意

- [オート]、[フラッシュ]以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを③ (発光禁止)に設定してください(□50)。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□164)。





### プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

- 1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く
- マルチセレクターの▲▼で[ホワイトバランス]の[プリセットマニュアル]を選び、®ボタンを押す
  - レンズが測定用のズーム位置になります。

## 3 [新規設定] を選ぶ

 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定]を 選んで®ボタンを押します。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写 体を収め、 ®ボタンを押して測定する

シャッターがきれて、新規設定が終了します(画像は記録されません)。

#### ✓ ブリセットマニュアルについてのご注意 フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワ

イトバランス]を[オート]または[フラッシュ]に設定してください。





0

PRE

AUTO オート

※ 晴天 赤 電球

> 蛍光灯 鼻天

プリセットマニュアル



測定窓



### 

項目	内容
⑤ 単写(初期設定)	1コマずつ撮影します。
□Ⅱ連写Ⅱ	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 約7.5コマ/秒の速度で約5コマ連写できます(「画像モード] が [100 4608×3456] 時)。
⊒∟連写∟	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・約2.3コマ/秒の速度で約10コマ連写できます([画像モード] が[[1] 4608×3456]時)。さらにシャッターボタンの全押 しを続けると速度が低下します。
<b>感先取り撮影</b>	<ul> <li>シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。</li> <li>シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します(□133)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。</li> <li>約20コマ/秒の速度で25コマ(先取り撮影の最大5コマを含む)連写できます。</li> <li>[画像モード]は □(画像サイズ:1280×960 ピクセル)に固定されます。</li> </ul>
<b>[]120</b> 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 約 120 コマ / 秒の速度で 50 コマ連写できます。 ・ [画像モード] は 10 (画像サイズ:640×480 ピクセル) に 固定されます。
<b>□60</b> 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 約 60 コマ / 秒の速度で 25 コマ連写できます。 ・ [画像モード] は 1 (画像サイズ: 1280×960 ピクセル) に 固定されます。



132

撮影メニュー(▲ (オート撮影) モード)

ら メニューを使う

### ▶ 連写についてのご注意

- ・ ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□164)。

### ダ 先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン(感)が緑色に変わります。



## ISO感度設定

#### 撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ (オート撮影) モード → ∞ ボタン → MENUボタン → ISO 感度設定 → ∞ ボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによる ブレを軽減しやすくなります。

• ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容	
AUTO オート (初期設定)	ISO 125~1600の範囲で自動設定します。	
ム號 感度制限オート	自動設定範囲を [ <b>ISO 125-400</b> ]、[ <b>ISO 125-800</b> ] から選べ ます。	
125、200、400、800、 1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。	

### ▶ ISO感度設定についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□64)。

- [オート] 時は、感度が上がったときに 150 が表示されます。
- [感度制限オート]時は、感度の上限値が表示されます。





## AFエリア選択

#### 撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ (オート撮影) モード → ∞ ボタン → MENUボタン → AFエリア選択 → ∞ ボタン

静止画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定 します。

項目	内容	!
(型) 顔認識オート	カメラが人物の顔を認識する と、顔にピントが合います。 →「顔 認 識 撮 影 に つ い て」 (囗58)	
	人物以外の撮影や顔を認識でき ない構図では、シャッターボタ ンを半押しすると、9つあるAF エリアのうち最も手前の被写体 をとらえているエリアでピント が合います。	AF IJ 7 1/250 F28 AF IJ 7
[13] マニュアル	マルチセレクターの▲▼◀ ▶ で、AFエリアを、ピントを合わ せたい位置に移動できます。 ・マルチセレクターでフラッ シュモードなどを設定したい ときは、⑩ ボタンを押します。 AF エリアの移動に戻るには、 もう一度®ボタンを押します。	移動可能エリア 「 「 「 」 AF エリア



135

撮影メニュー(□(オート撮影)モード)

ら メニューを使う

項目	内容	
[•] 中央	画面中央の被写体にピントが合 います。	
<del>⑧</del> ターゲット追尾	動く被写体の撮影に使います。 ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を 追いかけて移動します。→「ター ゲット追尾の使い方」(□137)	Constants Constants
【■】ターゲットファ インドAF (初期設定)	カメラが主要な被写体を検出す ると、その被写体にピントが合 います。 →「ターゲットファインドAFに ついて」(□159)	1/250 F23 AFIU7

## ✔ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択]の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□164)。

#### 

動画撮影時のAFエリア選択は、動画メニューの[AFエリア選択](□145)で設定します。





撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ (オート撮影) モード → ∞ ボタン → MENUボタン → AFエリア選択 → ∞ ボタン → <del>◎</del> ターゲット 追尾 → ∞ ボタン → MENUボタン

#### 被写体を登録する

1

- ・ 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、∞ボ タンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で 囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示 が消えます。登録をやり直してください。

## 2 シャッターボタンを全押しして撮影する

AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央の被写体にピントが合います。





### ✔ ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。



#### 撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → □ (オート撮影) モード → ® ボタン → MENUボタン → AFモード → ® ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししなくても、常にピントを合わせます。 常に動作音がします。
<b>PREAF</b> プリAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししなくても、被写体の動きを検知した ときや構図が大きく変わったときなどに、ピントを合わせます。

🖉 動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (□146) で設定します。





# ベストフェイスメニュー

• [画像モード] については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(□128) をご覧 ください。

## セルフコラージュ

メニューを使う
 ベストフェイスメニュー

撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → 凹 ベストフェイスモード → ® ボタン → MENUボタン → セルフコラージュ → ® ボタン

項目	内容
撮影回数	自動撮影する回数(集約画像のコマ数)を設定します。 • [4回](初期設定)と [9回] から選びます。
撮影間隔	1コマの撮影から次の撮影に移るまでの時間を設定します。 • [短い]、[中間] (初期設定)、[長い] から選びます。
シャッター音の設定	セルフコラージュで撮影するときのシャッター音を設定しま す。 • [標準]、[一眼レフ風]、[マジカル] (初期設定)、[なし] か ら選びます。 • セットアップメニューの [操作音] の [シャッター音] とは 連動していません。



### 撮影画面にする → □ (撮影モード) ボタン → 回 ベストフェイスモード → ® ボタン → MENUボタン → 目つぶり軽減 → ® ボタン

項目	内容	
ゆする	撮影のたびに2回シャッターをき り、人物が目をつぶっていない画像 を優先して1コマだけ記録します。 ・ 目をつぶっている可能性のあ る画像を記録したときは、右の メッセージが数秒間表示され ます。 ・ フラッシュは使えません。	<ul> <li>         日つぶり検出した画像を 記録しました。     </li> </ul>
しない(初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。	

## ▶ 目つぶり軽減についてのご注意

\_\_\_\_ この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□□64)。



ベストフェイスメニュー



# 動画メニュー

## 動画設定

撮影画面にする → MENUボタン → 「栗メニューアイコン → 動画設定 → ◎ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーショ ンや早送りになるHS(ハイスピード)動画(□142)があります。選べる項目は、 [フレームレート設定]によって異なります(□148)。

動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします(□214)。動画のサイズ/フレームレートが [2000]
 (4K UHD)または [2000]
 (4K UHD)の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。

### 通常速度の動画

項目(画像サイズ/フレーム レート、記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)	最長撮影時間
2006章 2160/30p(4K UHD) 2006章 2160/25p(4K UHD)	3840×2160	16:9	約7分 約8分
麵 1080/30p 讀 1080/25p (初期設定)	1920×1080	16:9	約27分 約29分
1080/60p 1080/50p	1920×1080	16:9	約13分 約16分
720部 720/30p 720器 720/25p	1280×720	16:9	約29分
480/30p 480/25p	640×480	4:3	約29分



🕤 メニューを使う

### HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法(HS動画)」(□144)

項目	画像サイズ アスペクト比(横:縦)	内容
480 gen HS 480/4倍	640×480 4:3	1/4の速度のスローモーション動画 です。 ・最長撮影時間 <sup>※</sup> :15秒(再生時 間:1分)
<sup>1088</sup> 館 1080/0.5倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 ・ 最長撮影時間 <sup>※</sup> :2分(再生時間: 1分)

※撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができます。表中の最長撮 影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

## ▶ HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。









通常速度で撮影した場合:



#### 400m/400m [HS 480/4倍] で撮影した場合:

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。 再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



#### スローモーション再生

#### 100m/回m [HS 1080/0.5倍] で撮影した場合:

通常速度の1/2のスピードで撮影します。 再生時は、2倍の速さで早送り再生します。





ら メニューを使う

動画メニュー

## スローモーション、早送り動画の撮影方法(HS動画)

撮影画面にする → MENUボタン → マメニューアイコン → 動画設定 → ®ボタン

HS (ハイスピード) 動画で撮影すると、通常再生の1/4の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

- マルチセレクターの ▲▼ で HS 動画 (□142)を選び、®ボタンを押す
  - 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。

	動画設定
	2000 👸 2160/30p
▶	🔤 🛍 1080/30p
	🎰 1080/60p
	720 m 720/30p
	480/30p
Ŷ	480 m HS 480/4 倍

- 2 (\*果動画撮影)ボタンを押して、撮影を開始する
  - HS動画で撮影が始まります。
  - 撮影中に∞ボタンを押すと、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
  - 動画設定アイコンの表示は、HS 動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。
  - ・ HS動画の最長撮影時間(□142)が経過すると、
     自動的に通常速度の動画撮影に切り換わります。

3 ● (▶▼) ボタンを押して、撮影を終了する

<b>1</b> 848	0 120 +	★ 480 30
REC		S 480 m
		(14)
a	OK:30	28



動画メニュー

ら メニューを使う

## AFエリア選択

撮影画面にする → MENU ボタン → ♥メニューアイコン → AFエリア選択 → ® ボタン

動画撮影時の、オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定し ます。

項目	内容
'፟፟፟፟፟ ፼認識オート (初期設定)	カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 →「顔認識撮影について」(□158)
[•]中央	画面中央の被写体にピントが合います。

## ▶ 動画撮影時のAFエリア選択についてのご注意

以下の場合、[顔認識オート] に設定していても、[AFエリア選択] は中央になります。

- 動画メニューの [AFモード] が [シングルAF] で、● (マー) ボタンを押す前に顔認 識していないとき
- [動画設定] をHS動画に設定したとき
- 「動画手ブレ補正」を「する (ハイブリッド)」にして、かつ「動画設定」を「協1080/ 60p] / 「協1080/50p] に設定したとき





撮影画面にする → MENUボタン → アメニューアイコン → AFモード → ®ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適してい ます。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピン トを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気 になるときは、[ <b>シングルAF</b> ]での撮影をおすすめします。

## ✔ AFモードについてのご注意

[動画設定]をHS動画に設定したときは、[シングルAF]に固定されます。



動画メニュー



## 動画手ブレ補正

#### 撮影画面にする → MENU ボタン → 🐂 メニューアイコン → 動画手ブレ補正 → ® ボタン

動画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない]にしてください。

項目	内容
《●》* する (ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処理 で電子的に補正します。画角(写る範囲)は狭くなります。
()) する	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

### ▶ 動画手ブレ補正についてのご注意

- 「動画設定」を「2006/250p](4K UHD)、「2006/250p](4K UHD)またはHS 動画に設定したときは、「する (ハイブリッド)]は選べません。
- [スーパーラプス動画]のときは、[する (ハイブリッド)] に固定されます。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

## 動画照明

撮影画面にする → MENUボタン → ♥ メニューアイコン → 動画照明 → ◎ ボタン

暗い場所などで撮影を補助する動画照明の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
する	動画撮影開始時に動画照明が自動で点灯します。
しない(初期設定)	動画照明は点灯しません。LEDライトを点灯している場合、 動画撮影開始時に消灯します。

### 

[動画照明]の設定にかかわらず、動画撮影中に≒(LEDライト)ボタンを押すと、動画 照明と同じ明るさのLEDライトを点灯または消灯できます(□20)。



動画メニュー



## 風切り音低減

撮影画面にする → MENUボタン → 🐙 メニューアイコン → 風切り音低減 → ® ボタン

項目	内容
<i>≌</i> ⊎ する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再 生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
しない(初期設定)	風切り音を低減しません。

## フレームレート設定

撮影画面にする → MENUボタン → マメニューアイコン → フレームレート設定 → ® ボタン

動画撮影時のフレームレートを選びます。フレームレートの設定を切り換えると、 [動画設定] (□141) で選べる項目が変わります。

項目	内容	
30 fps (30p/60p)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。	
25 fps (25p/50p)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。	



再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集(静止画)」(□72)をご覧ください。

## 送信画像の指定

▶ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → 送信画像の指定 → ® ボタン

カメラ内の静止画を選んで、SnapBridgeアプリで無線接続したスマートフォン/ タブレットに送信します。

画像選択の画面(□122)で、送信画像の指定または解除をします。

- 取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を 取り込むには、SnapBridgeアプリの[画像取り込み]をお使いください。
- 動画は指定できません。動画をスマートフォン / タブレットに取り込むには、 SnapBridgeアプリの [画像取り込み] をお使いください。
- セットアップメニューの [設定クリアー] (□177) または通信メニューの [設定の初期化] (□155) を実行すると、送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。



# スライドショー

▶ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → スライドショー → ® ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目のみを表示します。

- 1 マルチセレクターの▲▼で [開始] を選び、 (Wボタンを押す
  - スライドショーが始まります。
  - ・ [開始]を選ぶ前に [インターバル設定]を選び
     ・
     ・
     ぶタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
  - 繰り返し再生するには、[開始]を選ぶ前に [エンドレス]を選んで®ボタンを押します。



 スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス]に設定している場合も含め、最 大約30分です。

2 終了または再開する

再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。
 終了するには、■を選び®ボタンを押します。再開するには、■を選び®ボタンを押します。



### 再生中の操作

- マルチセレクターの◀▶でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、∞ボタンを押します。



150



再生メニュー

## プロテクト設定

■ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → プロテクト設定 → ® ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面(□122)で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。 メモリーカード/内蔵メモリーを初期化(フォーマット)(□173)すると、プロ テクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

## 画像回転

▶ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → 画像回転 → ®ボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定します。 静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと(□122)、画像回転の画面が表示されま す。マルチセレクターの◀▶を押すと90度回転します。



時計方向に 90 度回転

●ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。





90 度回転

# 画像コピー(メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー)

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン → 画像コピー → ∞ボタン

メモリーカードの画像を内蔵メモリーへ、または内蔵メモリーの画像をメモリー カードへコピーできます。

- ・ 画像が記録されていないメモリーカードを入れて、再生モードに切り換えると
   [撮影画像がありません。]と表示されますが、MENUボタンを押すと[画像コピー]
   を選べます。
- マルチセレクターの▲▼でコピーする方 向を選び、®ボタンを押す



カメラ→カード

選択画像コピー

全画像コピー

►

4

- 2 コピーの方法を選び、®ボタンを押す
  - [選択画像コピー] を選んだときは、画像選択の 画面で、画像を選びます(□122)。
  - [カード→カメラ]を選んだときは、[全画像コ ピー]は選べません。

### ▶ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。

### 🖉 グループ画像のコピーについて

- [選択画像コピー] で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内の画像を表示しているときにMENUボタンを押すと、[カード→カメラ]方向のみコピーできます。[表示グループコビー]を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。



152

ら メニューを使う

再生メニュー

## グループ表示設定

▶ ボタンを押す(再生モード)→ MENU ボタン→ グループ表示設定→ ◎ ボタン

グループ画像(170)の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
む 1枚ずつ     ひ	常に1コマずつ表示します。 再生画面で騒が表示されます。
🕒 代表画像のみ(初期設定)	代表画像のみを表示します。

設定内容は、すべてのグループ画像に反映され、電源をOFFにしても記憶されます。



再生メニュー



#### MENUボタンを押す → 『r<sup>3</sup>メニューアイコン → ® ボタン

カメラとスマートフォン/タブレットを接続するため無線ネットワーク情報を設定 します。

無線接続中は設定を変更できない項目があります。変更するときは、無線接続
 を一時停止してください。

項目		内容
機内モード		[ <b>する</b> ] にすると、すべての無線通信をOFFにします。
スマートフォンと接続		SnapBridgeアブリを使用して、カメラとスマートフォン/ タブレットを接続するときに選びます。詳しくは、付属の 「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。
撮影時画像送信		<ul> <li>画像をスマートフォン/タブレットへ自動送信する条件を設定します。</li> <li>取り込む画像サイズは 2M サイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridge アプリの[画像取り込み]をお使いください。</li> </ul>
Wi-Fi	接続設定	SSID <sup>※</sup> : SSIDを変更できます。英数字の1~32桁で設定します。 認証/暗号:スマートフォン/タブレットと接続するときに、 通信信号を暗号化するかどうかを設定します。
		[OPEN] のときは、暗号化しません。 パスワード <sup>*</sup> :パスワードを設定します。英数字の8~36桁 で設定します。
		チャンネル:無線接続で使用するチャンネルを設定します。 サブネットマスク:通常は初期設定([255.255.255.0])の
		ままお使いください。 DHCPサーバーIPアドレス:通常は初期設定([ <b>192.168.0.10</b> ]) のままお使いください。
	現在の設定	現在の設定を一覧表示します。



154

ら メニューを使う

通信メニュー

項目		内容
	通信機能	[ <b>無効</b> ] にすると、Bluetoothの通信をOFFにします。
Bluetooth	ペアリング 済み機器	接続するスマートフォン/タブレットの切り換えや、接続済 みスマートフォン/タブレットの削除をします。このカメラ は接続するスマートフォン/タブレットを最大5台登録でき ます。ただし一度に接続できるのは1台のみです。
	電源オフ中 の通信	カメラが電源OFFのときや待機状態(ロ20)のときに、ス マートフォン/タブレットと通信をするかどうか設定します。
設定の初期化		通信メニューのすべての設定を初期化します。

※ 英数字の入力方法は「文字入力画面の操作方法」(□156)をご覧ください。

### ▶ 内蔵メモリーについてのご注意

- カメラの内蔵メモリーに保存されている画像は、スマートフォン/タブレットに送信できません。内蔵メモリーの画像を送信するには、再生メニュー [画像コピー] で画像をカメラ内のメモリーカードへコピーしてください。
- カメラにメモリーカードが入っていないときは、スマートフォン/タブレットからのリ モート撮影はできません。





# 文字入力画面の操作方法

#### [SSID]、[パスワード]、[画像コメント]、[著作権情報]の文字入力

- マルチセレクターの▲▼◀▶でキーボードの英数 字を選択します。®ボタンを押すと、選択した英 数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動 します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの ←または→を選んで®ボタンを押します。
- 1文字削除するには、
   ・
   1文字削除するには、
- ・設定を確定するには、キーボードの↓を選んで

   ・ボタンを押します。



- マルチセレクターの▲▼で数値を設定します。▶
   または∞ボタンを押すと、次の桁に移動します。
   ▲を押すと、前の桁に戻ります。
- 設定を確定するには、最後の桁を選んで®ボタン を押します。





((<sub>T</sub>))



## 🕤 メニューを使う

# 位置情報設定メニュー

# 位置情報設定

MENUボタンを押す → ペメニューアイコン → 位置情報設定 → ® ボタン

項目	内容
内蔵位置情報記録	[する] にすると、測位衛星から電波を受信し、測位が始まり ます (口97)。 • 初期設定: [しない]
スマートフォンから 取得	<ul> <li>[する]を選ぶと撮影画像にスマートフォン/タブレットの位置 情報が記録されます。SnapBridgeアプリの位置情報機能を有 効にしてください。</li> <li>初期設定:[しない]</li> <li>[内蔵位置情報記録]を[する]にしてカメラが測位してい るときは、カメラ内蔵の位置情報機能が優先されます。</li> </ul>
情報表示	取得した位置情報を表示します。 • 表示中は更新されません。更新するには、[情報表示]をや り直してください。
A-GPSファイル更新	メモリーカードを使ってA-GPS(アシストGPS)ファイルを更 新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を取得す るまでの時間を短くできます。 • A-GPSファイルの更新方法→□199
位置情報消去	画像に記録された位置情報やPOI情報を消去します。MENUボタ ンを押す前に、位置情報やPOI情報を消去したい画像を選んで ください。 ・ 削除した位置情報や POI 情報は元に戻せません。 ・ このカメラ以外で撮影した画像の位置情報は、消去できません。





# POI設定(地名情報の記録と表示)

### MENUボタンを押す → ダメニューアイコン → POI設定 → ®ボタン

POI (Point of interest、地名情報) に関する設定をします。

項目	内容
POI記録	撮影する画像に地名情報を記録するか設定します。 • 初期設定: [しない] • 地名情報は、静止画にも、動画にも記録できます。
POI表示設定	<ul> <li>画面に地名情報を表示するか設定します(□26,7,8)。</li> <li>再生画面では、[POI 記録]を[する]にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。</li> <li>初期設定:[しない]</li> </ul>
POI表示レベル設定	地名情報の表示レベルを設定します。高レベルを選ぶほど、地 域情報が詳細になります。 ・レベル1:国名を表示します。 ・レベル2~5:表示内容は、国によって異なります。 ・レベル6:ランドマーク名(施設名)を表示します。
POI情報編集	<ul> <li>MENUボタンを押す前に、編集したい画像を選んでください。</li> <li>「POI 変更]:画像に記録された地名情報を変更できます。</li> <li>レベル 6 を選んでいるときに、マルチセレクターの </li> <li>マルチセレクターの </li> <li>マルチセレクターの ▲▼ を押すと、POI 情報のレベルを 変更できます。</li> <li>[POI 削除]:画像に記録されている地名情報を削除します。</li> </ul>

### Ø POI表示について

- 設定した表示レベルに地名情報がない場合は、地名情報が表示されない、または「----」 と表示される場合があります。
- 位置情報をスマートフォン/タブレットから取得しているときは、地名情報は表示されません。また、撮影した画像に地名情報は記録されません。
- 意図したランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なったりする場合があります。



ら メニューを使う

位置情報設定メニュー

#### MENUボタンを押す → メメニューアイコン → ログ取得 → ® ボタン

ログ取得の開始と終了およびログの保存をします(□101)。

	内容
全ログ取得開始 <sup>※1、2</sup>	位置情報、高度情報、水深情報のログを取得します。 • ログ取得間隔とログ取得時間を選択すると、ログ取得 が始まります。
位置情報ログ取得開始 <sup>※1、2</sup>	位置情報のログを取得します。 ・ ログ取得間隔とログ取得時間を選択すると、ログ取得 が始まります。
水深ログ取得開始 <sup>※1</sup>	水深のログを取得します。 • ログ取得間隔とログ取得時間を選択すると、ログ取得 が始まります。

※1 未保存のログがある場合は、選択できません。[全ログ取得終了]、[位置情報ログ取 得終了]または[水深ログ取得終了]を選び、ログを保存または消去してください。

※2 位置情報設定メニューの [内蔵位置情報記録] が [しない] のときは、選べません。



位置情報設定メニュー



## ログデータ表示

#### MENUボタンを押す → ダメニューアイコン → ログデータ表示 → ® ボタン

[ログ取得](□159)でメモリーカードに保存したログデータを確認または削除します。

項目	内容
位置情報ログ	ログ(日付)のリストが表示されます。 • <b>値</b> (ゴミ箱)ボタンを押すと、選択中のログまたは保存されたすべての位置情報ログを消去できます。
高度/水深ログ	表示したいログ(日付)を選んで®ボタンを押すと、高度情報または水深情報をグラフで表示します(□104)。 • 値(ゴミ箱)ボタンを押すと、選択中のログまたは保存されたすべての高度 / 水深ログを消去できます。

## 衛星による日時合わせ

MENUボタンを押す → ペメニューアイコン → 衛星による日時合わせ → ® ボタン

測位衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します。測位状態 を確認してから、日時合わせをしてください。

### ▶ 衛星による日時合わせについてのご注意

- ・設定するには、測位できている必要があります(□□95)。
- 【衛星による日時合わせ】は、セットアップメニューの「地域と日時」(□163)で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。【衛星による日時合わせ】をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- [衛星による日時合わせ] で設定した日時は、電波時計ほどには正確ではありません。
   [衛星による日時合わせ] で時刻が合わないときは、セットアップメニューの [地域と 日時] で設定してください。



位置情報設定メニュー


電子コンパス設定

MENUボタンを押す → ダメニューアイコン → 電子コンパス設定 → W ボタン

項目	内容			
コンパス表示	撮影画面にコンパス(方位計)を表示するか設定します。 ・ 初期設定:[しない] ・ 計測した方位情報をもとに、カメラを向けた方位を表示します。 ・ コンパス表示は、カメラのレンズを下に向けると円型(方位 磁石)の表示に切り換わり、赤い指針が北を指します。 - 表示方法:北、東、南、西 - 表示範囲:16方位 ・ 再生メニューの[情報合成画像]で画像に電子コンパスの表 示を写し込みできます(□76)。			
	コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正 をします。 右の画面が表示されているとき に、カメラが前後、左右、上下 を向くように手首を回しなが ら、8の字を書くように振ってく ださい。			
コンパス補正				





161

ら メニューを使う

位置情報設定メニュー

# 高度/水深設定

#### MENUボタンを押す → ダメニューアイコン → 高度/水深設定 → ®ボタン

項目			
高度計/水深計表示	撮影画面に高度計または水深計を表示するか設定します。 • 初期設定: [する]		
高度/水深補正	<ul> <li>初期設定: [する]</li> <li>高度または水深の補正を行います。</li> <li>[位置情報で補正]:位置情報記録機能を使って高度を補正します。         <ul> <li>高度が表示された確認面面で[はい]を選び ⑩ ボタンを押すと、表示されている値で高度が補正されます。</li> <li>水中では、補正できません。</li> </ul> </li> <li>[手動補正]:高度または水深を入力して補正します。</li> <li>マルチセレクターの ▲▼ で数値を変更、▲ ▶ で入力する 桁数を変更します。</li> <li>一番右の数値にカーソルがあるときに ⑲ ボタンを押すと、 数値を決定します。</li> <li>[補正解除]:[位置情報で補正]または [手動補正]で設定し た補正を解除します。</li> <li>補正解除画面で [はい]を選び ⑳ ボタンを押すと、補正が 解除されます。</li> </ul>		
高度/水深単位	高度/水深表示の距離単位を [m](メートル)(初期設定)また は [ft](フィート)に設定します。		

### ▶ 高度/水深設定についてのご注意

- [高度/水深補正]の[位置情報で補正]で補正するには、位置情報設定メニュー[位置情報設定]の[内蔵位置情報記録]が「する]で、4つ以上の衛星から受信して測位できている必要があります(口95)。
- [高度計/水深計表示]が[する]のとき、高度計/水深計および高度表示/水深表示、気 圧表示は、セットアップメニュー(□120)[モニター設定]の[モニター表示設定] が[情報OFF]の場合でも、表示されます。



位置情報設定メニュー



# セットアップメニュー

# 地域と日時

MENU ボタンを押す → ¥メニューアイコン → 地域と日時 → @ ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容		
スマートフォン と同期	[する]を選ぶと、日時設定をスマートフォン/タブレットと同期します。SnapBridgeアプリの日時同期機能を有効にしてください。		
日時の設定**	<ul> <li>項目を選ぶ:マルチセレクターの         ◆ を押します。         日時を合わせる:▲ ▼を押します。         ・ 設定を完了する:[分]を選び、         ⑩ ボタンを押します。         ● 「● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>		
日付の表示順	[ <b>年/月/日</b> ]、[ <b>月/日/年</b> ]、[ <b>日/月/年</b> ] から選びます。		
タイムゾーン※	タイムゾーン(地域)や夏時間(サマータイム)を設定します。 • 自宅(合)を設定してから、訪問先(☆)のタイムゾーンを設 定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録で きます。		

※ [スマートフォンと同期] を [しない] にした場合のみ設定できます。



6 メニューを使う

セットアップメニュー

タイムゾーンの設定方法

1 マルチセレクターの ▲▼ で [タイムゾー ン]を選び、 ®ボタンを押す



# 2 [合 自宅] または [☆ 訪問先] を選び、 ◎ ボタンを押す

• 自宅か訪問先の日時に切り換わります。





ら メニューを使う

ヤットアップメニュー



### 4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ▲を押すと夏時間(サマータイム)になり、%が 表示されます。解除するには、▼を押します。
- ・ Wボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定]で 合わせてください。





### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → モニター設定 → ® ボタン

項目	内容	
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。	
ヘルプの表示	撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が 表示されます。 • 初期設定:[する]	
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定: [ <b>する</b> ]	
画面の明るさ	明るさを調節します。 • 初期設定:[ <b>3</b> ]	

### [モニター表示設定] について

	撮影時	再生時		
情報ON				
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過する と[情報OFF] と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示 します。			
情報OFF				



165

ら メニューを使う

セットアップメニュー





セットアップメニュー



# 日付写し込み

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 日付写し込み → ® ボタン

撮影時に日付と時刻を画像に写し込んで記録します。



項目	内容	
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。	
DATEC 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。	
しない(初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。	

### ▶ 日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日付と時刻を画像から消したり、撮影した後で日付と時刻を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付と時刻を写し込めません。
  - シーンモードの[スポーツ]、[夜景ポートレート](@][手持ち撮影]時)、[夜景]
     (@][手持ち撮影]時)、[逆光]([HDR]が[[0N]]時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]([連写]時)または[比較明合成]
  - クリエイティブモード
  - [目つぶり軽減] (□140) が [する]
  - 連写の設定(□132)が [単写] 以外
  - 動画
  - 動画撮影中に記録した静止画
  - 動画編集で作成した静止画
- 画像サイズが小さいと、日付と時刻が読みにくいことがあります。



167

ら メニューを使う

セットアップメニュー

# 静止画手ブレ補正

#### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 静止画手ブレ補正 → ® ボタン

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない]にしてください。

項目	内容		
())* する (ハイブリッド)	レンズシフト方式で光学的に補正します。以下の条件で は、画像処理で電子的に補正を加えます。 ・ フラッシュ:発光しない ・ シャッタースピード:1/30秒(広角側)、1/60秒(望 遠側)よりも低速 ・ セルフタイマー:OFF ・ [連写]の設定:[単写] ・ ISO 感度:ISO 200以下 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあ ります。		
(4) する(初期設定)	レンズシフト方式で補正します。		
しない	補正しません。		

### ▶ 静止画手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、画面の画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後に画面の画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- シャッタースピードが極端に遅いときは、「する (ハイブリッド)]に設定しても画像 処理による補正はできません。



セットアップメニュー



MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → AF補助光 → ®ボタン

項目	内容		
AUT0 オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補 助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約 3.0 m、望遠側で約3.0 mです。 • AF エリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があり ます。		
なし	AF補助光は点灯しません。		

### 電子ズーム

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 電子ズーム → ® ボタン

項目	内容
する(初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

### ▶ 電子ズームについてのご注意

- 以下の撮影モードでは、電子ズームは使えません。
  - シーンモードの [ポートレート]、[タイムラブス動画]の[星空] および [星軌跡]、 [夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光]([HDR] が [ON] 時)、[かんたんパノラマ]、 [ペット]、[比較明合成]の[夜景と星軌跡] および [星軌跡]、[水中]
  - クリエイティブモード
  - ベストフェイスモード
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません(1165)。



セットアップメニュー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 操作音 → ® ボタン

項目	内容		
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音(電子音1回)、合 焦音(電子音2回)、警告音(電子音3回)、およびオープニング音 が鳴ります。 ・ シーンモードの [ペット] では鳴りません。		
シャッター音	<ul> <li>【あり】(初期設定)にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。</li> <li>動画撮影時、シーンモードの【ペット】または【かんたんパノラマ】では鳴りません。</li> </ul>		

# 水中フラッシュ

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 水中フラッシュ → ® ボタン

別売の水中スピードライトSB-N10 (□206)を装着して、水中撮影するときは [する] に設定します。初期設定は、[しない]です。

### ▶ 水中フラッシュについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□64)。



セットアップメニュー



# アクション操作の感度

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → アクション操作の感度 → ®ボタン

カメラを振って操作(アクション操作)(L124)するときの感度を設定します。 [高]では、小さな振りでも操作できます。[低]では、大きな振りで操作します。 初期設定は、[中]です。

### ▶ アクション操作の感度についてのご注意

アクション操作の [**クイック再生**] または再生モードの1コマ表示中の画像選択操作の感度は固定です。

### アクション画像送り

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → アクション画像送り → ®ボタン

項目	内容	
する (初期設定)	再生モードの1コマ表示中にカメラを振って画像を選べます。	
しない	カメラを振っても画像は選べません。	

### ▶ アクション画像送りについてのご注意

[アクション画像送り]が [する] のときは、カメラの向きを回転させても、画像は自動的に回転しません。



セットアップメニュー

## オートパワーオフ

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → オートパワーオフ → ® ボタン

カメラが待機状態(C220)になるまでの時間を設定します。 [30 秒]、[1分](初期設定)、[5分]、[30分]から選べます。

### 🖉 オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中:3分(オートパワーオフを[30秒]または[1分]に設定した場合)
- [ペット自動シャッター] (□34) で撮影中:5分(オートパワーオフを [30秒] また は [1分] に設定した場合)
- [笑顔自動シャッター](□144)で撮影中:5分(オートパワーオフを[30秒]または [1分]に設定した場合)
- ACアダプター EH-62F接続中: 30分
- HDMIケーブル接続中:30分
- [スマートフォンと接続] で接続待機中:30分

# LEDライトタイマー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → LEDライトタイマー → ® ボタン

LEDライト(□2)が消灯するまでの時間を設定します。 [3分]、[5分](初期設定)、[10分]から選べます。



セットアップメニュー

# カード/メモリーの初期化(フォーマット)

MENUボタンを押す → ♥メニューアイコン → カードの初期化/メモリーの 初期化 → 凾ボタン

メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化(フォーマット)します。 初期化すると、メモリーカード/内蔵メモリー内のデータはすべて削除されます。 削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなど に保存してください。

#### メモリーカードを初期化するには

- メモリーカードをカメラに入れます。
- セットアップメニューの [カードの初期化] を選び@ボタンを押します。

### 内蔵メモリーを初期化するには

- メモリーカードを取り出します。
- セットアップメニューの [メモリーの初期化] を選び®ボタンを押します。

表示された画面で[初期化する]を選び®ボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

# 言語/Language

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 言語/Language → ®ボタン

画面に表示する言語を設定します。



セットアップメニュー



#### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 画像コメント → ® ボタン

あらかじめ登録したコメントを、撮影する画像に添付できます。 添付されたコメントは、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォン/タブレットに 送信する画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。 詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。

項目	内容		
コメント添付	[コメント入力] で登録したコメント を画像に添付します。 ・ [コメント添付]を選んで▶を押し、 チェックボックスをオン [♥] に します。⑩ ボタンを押すと、設定 が有効になり、その後撮影した画像 にコメントが添付されます。	0 ** **	■学ンメント 図 コメント添付 コメント入力 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
コメント入力	36文字までの英数字でコメントを登録で ・ [コメント入力]を選んで ▶ を押すと、 力方法は、「文字入力画面の操作方法」	きます 入力画 (口1	す。 画面が表示されます。入 156)をご覧ください。



画像をカメラで再生しても画像コメントは表示されません。



セットアップメニュー

# 著作権情報

#### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 著作権情報 → ® ボタン

あらかじめ登録した著作権情報を、撮影する画像に添付できます。 添付された著作権情報は、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォン/タブレット に送信する画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。 詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。

項目	内容
著作権情報添付	[撮影者入力] および [著作権者名 入力] ご登録した著作権情報を画像 に添付します。 • [著作権情報添付] を選んで ▶ を 押し、チェックボックスをオン [♥] にします。 ◎ ボタンを押 すと、設定が有効になり、その後 撮影した画像に著作権情報が添 付されます。
撮影者入力	36文字までの英数字で撮影者名を登録できます。 • [撮影者入力] を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。 入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□156) をご覧くだ さい。
著作権者名入力	54文字までの英数字で著作権者名を登録できます。 • [著作権者名入力] を選んで▶ を押すと、入力画面が表示されま す。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□156)をご覧 ください。

### ▶ 著作権情報についてのご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、[著作権情報添付]の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

#### ✓ 著作権情報の表示について

- 画像をカメラで再生しても著作権情報は表示されません。
- SnapBridgeアプリでは、[撮影者入力] と[著作権者名入力] の両方を入力した場合、 著作権者名のみが画像に写し込まれます。



セットアップメニュー



パソコン接続充電

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → パソコン接続充電 → ® ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると(□108)、パソコンからの電力 供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

### ✔ パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源を OFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約4時間10分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的に OFFになります。

### ▶ 充電ランプが速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- ・ 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。
- USB ケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、 電池を交換してください。
- パソコンが休止状態(スリープ状態)で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。



セットアップメニュー



# 設定クリアー

#### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 設定クリアー → ® ボタン

[はい]を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

### 🖉 ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード/内蔵メモリー内の画像をすべて削除(□22)してから[設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

### 認証マークの表示

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 認証マークの表示 → ® ボタン

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

# バージョン情報

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → バージョン情報 → ® ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

• 無線接続中は選択できないことがあります。



セットアップメニュー





無線通信機能についてのご注意	179
位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意…	181
取り扱い上のご注意	182
カメラについて	182
電池について	183
本体充電 AC アダプターについて	184
メモリーカードについて	185
お手入れ方法	186
水中で使用後のクリーニング	186
水中以外で使用後のクリーニング	186
保管について	187
警告メッセージ	188
故障かな?と思ったら	192
記録データのファイル名	203
使用できるアクセサリー	205
水中スピードライトの装着方法	206
主な仕様	210
使用できるメモリーカード	214
地名情報データ使用許諾契約書	216
索引	221
ニコンプラザについて	226
修理に関するお問い合わせ先	226
修理サービスのご案内	227
製品の使い方に関するお問い合わせ先	228



# 無線通信機能についてのご注意

#### ● 電波に係わるご注意

 本製品はWi-Fi(無線LAN)およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域 によって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合がありま す。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコンカ スタマーサポートセンターへお問い合わせください。

#### ● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの 個人情報が漏洩する可能性があります。
  - 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なり すまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品に セキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様 上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理 解の上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責 任を負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、 接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあり ます。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

#### ● 個人情報の管理および免責事項

- ・使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報 を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱い で変化、消失する場合があります。 必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。 当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損 害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー(□120)の[設定クリアー]で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社 は一切の責任を負いません。





#### ● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米 国法の対象です。EAR の輸出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シ リア:変更される可能性があります)以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許 可は不要です。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能/Bluetooth機能のご注意



- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
    - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
  - アマチュア無線局(免許を要する無線局)
     これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、
     通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
  - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiア クセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
  - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載されているニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

#### ● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-FiおよびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任 を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi およびBluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機シス テムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をし てください。



180

無線通信機能についてのご注意

# 位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス) についてのご注意

#### ● 本製品の地名情報データについて

位置情報機能をお使いの前に、「地名情報データ使用許諾契約書」(□216)を必 ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地名情報 (Point of Interest : POI) の更新はいたしません。
- 地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- ・ 中華人民共和国(以下「中国」)と大韓民国の地名情報(POI)は、搭載していません。

#### ● 位置情報記録機能とログ取得について

- 位置情報設定メニュー[位置情報設定]の[内蔵位置情報記録]を[する]にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報記録機能やログ取得機能が作動します(□95)。
- ・ 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。
   位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」(□□v)も必ずお読みください。

#### ● 計測機能について

本製品はカメラです。航法機器や計測機器として使わないでください。

- 本製品が計測する情報(方位、高度、水深など)は、あくまでも目安です。
   航空機、車、人などの航法用途、および測量用途には使わないでください。
- 本製品を登山やトレッキング、水中などでお使いの際は、地図や航法機器、計 測機器を必ず携帯してください。

#### ● 海外でお使いの場合

 位置情報機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を 旅行代理店や大使館などでお確かめください。たとえば、中国では、政府の許 可なしに位置情報ログの収集はできません。

[**内蔵位置情報記録**]を [**しない**] にしてご使用ください。

中国および中国の周辺国の国境付近では、位置情報機能が正常に機能しない場合があります(2014年12月現在)。

資料

181

位置情報機能(GPS/GLONASS、電子コンパス)についてのご注意



# 取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(CDvi~ix)や「<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(CDx)をお守りください。

# カメラについて

#### ● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れ たり、無理な力を加えたりしないでください。

#### ● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラを 持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニー ル袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

#### ● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録デー タが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

#### ● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。 過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、そ の際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生することがあります。

#### ● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてく ださい

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

#### ● 画像モニターについて

- ・ 画像モニター(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られ ており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものが あります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一 部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響 ありません。あらかじめご了承ください。
- 画像モニターは、日差しの強い屋外などで見えにくいことがあります。
- 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。



182



取り扱い上のご注意

# 電池について

#### 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が-10℃~+40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに 使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

#### ● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。 ・ 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。

- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、 性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなって いるときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
   このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

#### ● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があ ります。

#### ● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメ ラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温 し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温 に戻ると使える場合があります。

#### ● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚 れは、乾いた布で拭き取ってください。



\$ 資料

取り扱い上のご注意

#### ● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返 すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電 してからお使いください。

- 保管について
- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管して ください。
- ・電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

#### ● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい 電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイク ルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁して から、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

- 数字の有無と数値は電池に よって異なります。

# 本体充電ACアダプターについて

- 本体充電AC アダプター EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、 必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグア ダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。



184



取り扱い上のご注意

# メモリーカードについて

#### 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません(CQ214)。
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

#### ● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化(フォーマット)しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメ ラで初期化してください。
   未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
   初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・メモリーカードを入れた後にカメラに [このカードは初期化されていません。初期化しますか?]の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、[はい]を選んで®ボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、 データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
  - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
  - カメラの電源をOFFにする
  - ACアダプターを外す

**ら** 資料

取り扱い上のご注意



# お手入れ方法

### 水中で使用後のクリーニング

水中や海辺などでカメラを使った後は、60分以上放置せずに、以下の手順で水洗 いしてください。

 1.電池/メモリーカードカバーを閉じたまま、 真水で洗う

浅い容器に溜めた真水の中に、約10分間浸 け置きしてください。

- 真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い 流してください。
- 水に浸けると、マイクやスピーカーな どの水抜き孔からわずかに気泡が出 ることがありますが、故障ではありま せん。



- 2. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす
  - 乾いた布などの上に立てて置いて、乾かしてください。
  - ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- 3. 水滴などの付着がないことを確認してから、電池/メモリーカードカバーを開け、 パッキンやカメラの内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る
  - 内側がぬれたままでカバーを閉じると、結露や故障の原因になります。

### 水中以外で使用後のクリーニング

レンズ、画像モニター、カメラボディーに付着したゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らか い布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭 いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。



お手入れ方法



# 保管について

カメラを長期間お使いにならないときは電池を取り出し、以下の場所を避けて保 管してください。ただし、カビや故障を防ぐため「月に一度」を目安に電池を入 れ、カメラを操作するようおすすめします。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 取り外した電池は使い切った状態で保管し、半年に1回は充電してください。また、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。



警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるま	_
カメラが高温です。 電源を <b>OFF</b> にします。	でしばらく放置してからご使用ください。	
電池が低温のため 動画設定を 1080/30pにします。	電池の温度が0℃未満です。[ <b>200</b> 齢2160/30p](4K UHD)、[700 <mark>齢2160/25p](4K UHD)、[700齢2160/25p](</mark> 4K UHD)、[700齢206/25p](4K UHD)、[700齢206/25p]	
電池が低温のため 動画設定を 1080/25pにします。	60p]、[麵1080/50p]、[逦歸HS 480/4倍]、 [逦歸HS 480/4倍]、[逦歸HS 1080/0.5倍]、 [逦歸HS 1080/0.5倍]で撮影したい場合は、電池	82
電池が低温のため 機能に制限が かかっています。	を取り出し、手のひらなどで温めてから使用して ください。	
電池残量がありません。	<ul> <li>電池を充電してください。</li> <li>[2008a2160/30p](4K UHD)、[2008a2160/25p] (4K UHD)、[2008a1080/60p]、[2008a1080/50p]、 [2008aHS 480/4 倍]、[2008aHS 480/4 倍]、 [2008aHS 1080/0.5 倍]、[2008aHS 1080/0.5 倍] で撮影中に電池の温度が0℃未満になりました。 撮影終了後、電源が自動的に OFFになります。 動画 設定 を変えて 撮影 してください。</li> <li>[2008a2160/30p](4K UHD)、[2008a2160/25p] (4K UHD)、[2008a1080/60p]、[2008a1080/50p]、 [2008aHS 480/4 倍]、[2008aHS 480/4 倍]、 [2008aHS 1080/0.5 倍]、[2008aHS 1080/0.5 倍] で撮影したい場合は、電池を取り出し、手のひらなどで温めてから使用してください。</li> </ul>	11、13、 183 82
カードがロック されています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック されています。ロックを解除してください。	-
このカードは 使えません。	<ul> <li>メモリーカードへのアクセス異常です。</li> <li>動作確認済みのメモリーカードを使ってくだ</li> </ul>	
カードに異常が あります。	<ul> <li>スモリーカードの端子部分が汚れていないか 確認してください。</li> <li>メモリーカードが正しく挿入されているか確 認してください。</li> </ul>	11、214





表示	考えられる原因や対処法	
このカードは初期化 されていません。 初期化しますか?	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されて いません。 初期化するとメモリーカード内のデータはすべて 削除されるため、メモリーカード内に必要なデー タが残っているときは、[しいえ]を選び、初期化 する前にパソコンなどに保存してください。[は い]を選んで®ボタンを押すと、メモリーカード を初期化できます。	185
メモリー残量が ありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換 してください。	11、22
	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内 蔵メモリーを初期化してください。	173
画像を保存できません。	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内 蔵メモリーを初期化してください。	173
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	22
前回撮影したデータが あります。動画を保存し ますか?	タイムラブス動画の撮影中に電池が切れました。 ・ [はい] を選ぶと、撮影済みの画像でタイムラ ブス動画を作成します。 ・ [しいえ] を選ぶと、未完成のデータを削除し ます。	-
この画像は編集できま せん。	編集可能な条件を確認してください。	72、197
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がか かっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してく ださい。	82、214
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 • 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリー カードを取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコ ビーするときは、MENU ボタンを押して再生メ ニューの [ <b>画像コピー</b> ]を選んでください。	12 152
このファイルは 表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再 生してください。	_
表示できる 画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	150
このファイルは 削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	151



警告メッセージ



表示	考えられる原因や対処法	
衛星からの情報取得に 失敗しました。	時計合わせが正しく行われませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位 してください。	_
カード内に <b>A-GPS</b> ファ イルが見つかりません。	メモリーカードに更新可能なA-GPSファイルがあ りません。 以下のことを確認してください。 ・メモリーカードが入っているか ・メモリーカード内に A-GPS ファイルが入って いるか ・メモリーカード内のA-GPSファイルがカメラ内 の A-GPS ファイルより新しいか ・ 有効期限が切れていないか	-
更新に失敗しました。	A-GPSファイルの更新ができませんでした。 A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。 ウェブサイトからダウンロードし直してください。	99
	メモリーカードが挿入されていません。 メモリーカードを挿入してください。	11
	ログを取得できていません。	103
カードに保存できません。	1日に記録できるログデータの件数を超えています。 ・ 位置情報ログ:1日に 36 件まで ・ 高度ログ、水深ログ:それぞれ1日に 34 件まで	204
	1枚のメモリーカードに保存できるログデータの 件数を超えています。 ・ 位置情報ログ:最大で 100 件まで ・ 高度ログ、水深ログ:合わせて最大で 100件まで 新しいメモリーカードに交換するか、不要なログ データをメモリーカードから削除してください。	103、204
電子コンパスの補正に 失敗しました。	電子コンパスの補正が正しくできませんでした。 屋外で、カメラが前後、左右、上下を向くように 手首を回しながら、8の字を書くように振ってく ださい。	161
電源を入れなおして ください。	エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関ま でご連絡ください。	192
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続 をやり直してください。	111
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源 をONにしてください。エラー表示が続くときは、 ニコンサービス機関までご連絡ください。	192
プリンターエラー: プリンターを確認 してください。	エラーの原因を取り除いた後、[ <b>継続</b> ] を選んで <b>⑩</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	_



警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	
プリンターエラー: 用紙を確認してください。	指定したサイズの用紙をセットした後、【継続】を 選んで®ボタンを押し、プリントを再開してくだ さい。**	_
プリンターエラー: 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[ <b>継続</b> ] を選んで <b>∞</b> ボタンを押し、プリントを再開してください。**	_
プリンターエラー: 用紙がありません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[継続]を 選んでのボタンを押し、プリントを再開してくだ さい。**	_
プリンターエラー: インクを確認してくだ さい。	インクに異常があります。 インクを確認した後、「継続」を選んで®ボタン を押し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	_
プリンターエラー: インクがありません。	インクを交換した後、 <b>[継続</b> ] を選んで <mark>®</mark> ボタン を押し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	_
プリンターエラー: ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [ <b>キャンセル</b> ] を選び <b>ᅇ</b> ボタンを押して、プリン トを中止してください。	-

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。



警告メッセージ



# 故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

### 電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電源 <b>ON</b> の状態で、カメ ラの操作ができない	<ul> <li>画像や動画の記録などの処理が終わるまでお 待ちください。</li> <li>操作できない状態が続くときは、電源を OFF に する操作をしてください。</li> <li>電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直し てください。</li> <li>AC アダプター使用時は付け直してください。</li> <li>記録中であったデータは保存されません。</li> <li>保存済みのデータは電池や AC アダプターの 取り外しでは失われません。</li> </ul>	-
電源を <b>ON</b> にできない	<ul> <li>電池残量がありません。</li> <li>電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッチを押してください。</li> </ul>	11、13、 183 -
カメラの電源が突然切 れる	<ul> <li>オートパワーオフ機能が働きました。</li> <li>低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。</li> <li>[2006年2160/309](4K UHD)、[2007年2160/259](4K UHD)、[2007年2160/259](4K UHD)、[2007年180/309]、[2007年180/309](2007年180/309]、[2007年180/305/46]、[2007540]、[2007540]、[2007540]、[2007540]、[2007540]、[2007540]、[2007540]、[2007654]、[2007540]、[2007540]、[2007540]、[2007554]、[20075554]、[2007554]、[2007554]、[20075554]</li> </ul>	20 183 -
画像モニターに何も映 らない	<ul> <li>電源が入っていません。</li> <li>オートパワーオフ機能が働きました。</li> <li>カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。</li> <li>シーンモードの [タイムラブス動画] または [比較明合成] で撮影中です。</li> </ul>	15 20 
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高 い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くな ることがありますが、故障ではありません。	_



192



こんなときは	考えられる原因や対処法	
カメラ内の電池を充電 できない	<ul> <li>ブラグの接続状態を確認してください。</li> <li>パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。</li> <li>セットアップメニュー [パソコン接続充電]が[しない]になっています。</li> <li>カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。</li> <li>カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダブターで充電してください。</li> <li>パソコンが休止状態(スリーブ状態)になると、充電が中止されることがあります。</li> <li>パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。</li> </ul>	13 120、176 - 15 -
LEDライトが点灯しない	<ul> <li>電池残量がありません。</li> <li>HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。</li> </ul>	11、13、 183 109
LED ライトが突然消灯 する	<ul> <li>LED ライトタイマー機能が働きました。</li> <li>電池残量がありません。</li> <li>動画撮影開始後に LED ライトが消灯する場合は、動画メニュー (動画照明)を [する] に設定するか、</li></ul>	172 11、13、 183 20、147
画像モニターがよく見 えない	<ul> <li>周囲が明るすぎます。</li> <li>暗い場所に移動してください。</li> <li>画面の明るさを調節してください。</li> </ul>	 165
画面で Cが点滅する 撮影日時が正しく表示 されない	<ul> <li>内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00000     <li>00:00」、動画の撮影日時が「2017/01/01 00:00」     <li>と記録されます。セットアップメニュー「地域と日時」で日時を正しく設定してください。</li> <li>ウ蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。</li> </li></li></ul>	4、163
撮影情報や画像情報が 表示されない	セットアップメニュー <b>[モニター設定</b> ]の[ <b>モニ ター表示設定</b> ]が[ <b>情報OFF</b> ]になっています。	165
[ <b>日付写し込み</b> ] が選べ ない	セットアップメニュー [ <b>地域と日時</b> ] が設定され ていません。	163



193

6 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш.
[日付写し込み] を有効 にしたのに、日付が写 し込まれない	<ul> <li>日付を写し込めない撮影モードになっています。</li> <li>動画には写し込みできません。</li> </ul>	167
電源を入れると地域と 日時の設定画面が表示 される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。 カメラを再設定してください。	
設定内容が初期状態に 戻ってしまった	<ul> <li>カメラの時計や一部の設定の保持には、内蔵の時計用電池が使われています。時計用電池はカメラに電池を入れるか AC アダブター(別売)を接続すると約 10 時間で充電され、カメラの電池を取り出しても数日間動作します。</li> </ul>	_
カメラから音がする	[AFモード]の[常時AF]時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	26、138、 146

### 撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	ш
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してくだ さい。	109
撮影できない	<ul> <li>再生モードになっているときは、□ ボタン、 シャッターボタン、または●(*果)ボタンを 押してください。</li> <li>メニューが表示されているときは、NENUボタン</li> </ul>	2、21 120
	を押してください。 • フラッシュランプの点滅中は、フラッシュの充 雷中です。	50
	• 電池残量がありません。	11、13、 183
ピントが合わない	<ul> <li>被写体との距離が近すぎます。おまかせシーン</li> <li>モード、シーンモードの[クローズアップ]、ま</li> </ul>	26、28、32、 49、54
	<ul> <li>オートフォーカスが苦手な被写体を撮影して います。</li> </ul>	60
	<ul> <li>LED ライトを点灯してください。</li> <li>セットアップメニュー [AF 補助光] を [オー</li> </ul>	20 169
	<ul> <li>ト]にしてください。</li> <li>・ 電源を入れ直してください。</li> </ul>	_



194



こんなときは	考えられる原因や対処法	
画像がぶれる	<ul> <li>フラッシュを使ってください。</li> <li>ISO 感度を上げて撮影してください。</li> <li>静止画を撮影するときは [静止画手ブレ補正] を、動画を撮影するときは [動画手ブレ補正] を使ってください。</li> <li>三脚などでカメラを安定させてください (セル フタイマーを併用すると、より効果的です)。</li> </ul>	50 134 147、168 52
フラッシュ撮影時に、画 像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して 写り込んでいます。フラッシュモードを③(発光 禁止)にしてください。	50
	• フラッシュモードが 🕲 (発光禁止) になってい	50
フラッシュが発光しない	・ フラッシュが発光しないシーンモードになっ	62
	ています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定され ています。	64
	<ul> <li>セットアップメニュー [電子ズーム] が [しな</li> </ul>	169
電子ズームが使えない	<ul> <li>撮影モードや他の機能の設定によっては電子 ズームを使えません。</li> </ul>	65、169
[ <b>画像モード</b> ]が選べない	[ <b>画像モード</b> ]が制限される他の機能が設定されて います。	64
[ <b>動画設定</b> ] が選べない	電池の温度が0℃未満です。[ <b>20</b> 60/30p](4K UHD)、[ <b>20</b> 52](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)(4K) ( <b>20</b> 56](4KUHD)、[ <b>20</b> 56](4KUHD)(4KUHD) ( <b>20</b> 56](4KUHD)(4KUHD)(4KUHD)(4KUHD) ( <b>20</b> 56](4KUHD)(4KUHD)(4KUHD)(4KUHD) ( <b>20</b> 56](4KUHD)	82
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [ <b>操作音</b> ] の [ <b>シャッター</b> 音] が [ <b>なし</b> ] になっています。[ <b>あり</b> ] にしてい ても、撮影モードによってはシャッター音が鳴り ません。	170
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー [ <b>AF補助光</b> ] が [ <b>なし</b> ] に なっています。[ <b>オート</b> ] に設定していても、AF エリアの位置や撮影モードによっては点灯しない 場合があります。	169
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	186
画像の色合いが不自然 になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれて いません。	32、47、 130



195

6 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш Ш
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅く なっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	50 134
画像が暗すぎる	<ul> <li>フラッシュモードが ③ (発光禁止)になっています。</li> <li>フラッシュが指などでさえぎられています。</li> <li>被写体にフラッシュの光が届いていません。</li> <li>露出を補正してください。</li> <li>ISO 感度を上げてください。</li> <li>逆光で撮影しています。シーンモードの[逆光]にするか、フラッシュモードを \$ (強制発光)にしてください。</li> </ul>	50 18 211 55 134 33、50
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	55
赤目以外の部分が補正 された	[夜景ボートレート] 以外の撮影モードで、フラッ シュモードを\$◎ (赤目軽減自動発光) 以外にし て撮影してください。	50、62
美肌の効果が得られない	<ul> <li>撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。</li> <li>4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー[メイクアップ効果]の[美肌]をお試しください。</li> </ul>	43 75
画像の記録に時間がか かる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあ ります。 • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作 動したとき • フラッシュを ★ ④ (赤目軽減自動発光)にして 撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき - [夜景ボートレート] の [手持ち撮影] - [夜景] の [手持ち撮影] - [逆光] の [HDR] が [ON] - [かんたんパノラマ] • 美肌機能で撮影したとき • 連写で撮影したとき	- 51 31 32 33 37 43 132
画面や撮影画像にリン グ状の帯や虹色の縞模 様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内 にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト)などが写し込まれることがあります。 光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに 撮影をお試しください。	_



196

6 資料
### 再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	ш
再生できない	<ul> <li>このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。</li> <li>このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。</li> <li>パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。</li> </ul>	_
画像の拡大表示ができ ない	<ul> <li>動画は拡大表示できません。</li> <li>画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と 画像の拡大率が一致しないことがあります。</li> <li>このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できな いことがあります。</li> </ul>	_
画像編集ができない	<ul> <li>・ 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。</li> <li>・ メモリーカード / 内蔵メモリーに空き容量がありません。</li> <li>・ このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。</li> <li>・ 動画は、画像編集できません。</li> </ul>	39、72  
画像を回転できない	<ul> <li>このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。</li> <li>[情報合成画像] で編集した画像は、回転できません。</li> </ul>	 76

# 位置情報機能関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш.
測位できない、 測位に時間がかかる	<ul> <li>撮影する環境によって、測位できないことがあります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。</li> <li>はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したときは、位置情報を取得するまで数分かかります。</li> </ul>	98
撮影した画像に位置情 報が記録されない	撮影時の画面に & や⊠が表示されているときは 位置情報が記録されません。撮影前に位置情報受 信状態を確認してください。	95
撮影した場所と記録した 位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じること があります。測位衛星からの電波の誤差が大きい 場合、最大で数百メートルの誤差を生じることが あります。	98



197

6

故障かな?と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	
記録された地名情報が 意図したものと違う、 または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていなかった り、ランドマーク名が異なる場合があります。	_
A-GPS ファイルが更新 できない	<ul> <li>以下のことを確認してください。</li> <li>メモリーカードが入っているか</li> <li>メモリーカード内に A-GPS ファイルが入っているか</li> <li>メモリーカード内の A-GPS ファイルがカメ う内の A-GPS ファイルより新しいか</li> <li>有効期限が切れていないか</li> <li>A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。 ウェブサイトからダウンロードし直してくだ さい。</li> </ul>	- 99
高度計/水深計を非表 示にできない	位置情報設定メニュー [高度/水深設定] の [高度 計/水深計表示] が [する] 時は、セットアップメ ニュー [モニター表示設定] の設定に関わらず、 高度計/水深計が表示されます。 高度計/水深計を非表示にするには、[高度計/水深 計表示] を [しない] にしてください。	162
撮影画面で、高度表示/ 水深表示と気圧表示が 表示されたままになっ ている	セットアップメニュー[ <b>モニター設定</b> ]の[ <b>モニ ター表示設定</b> ]を[ <b>情報OFF</b> ]に設定してください。	165
[ <b>高度計/水深計表示</b> ] が [ <b>する</b> ] 時でも、高 度計/水深計が表示さ れない	<ul> <li>[高度計/水深計表示]が[する]時でも、以下の場合は高度計/水深計は表示されません。</li> <li>シャッターボタンを半押ししているとき</li> <li>シーンモード[かんたんパノラマ]で撮影中</li> <li>クリエイティブモード</li> <li>動画撮影中</li> <li>[AF エリア選択]の[ターゲット追尾]で被写体が登録されているとき</li> <li>メッセージが表示されているとき</li> </ul>	
水深が0mと表示される	シーンモードが[ <b>水中</b> ]時に、カメラが水中にな いときは水深は0 mと表示されます。	36
位 置 情 報 設 定 メ ニュー [ <b>高度/水深補</b> 正] の [ <b>位置情報で補</b> 正] が選べない	<ul> <li>位置情報設定メニューの [内蔵位置情報記録] が [しない] になっています。</li> <li>4 つ以上の衛星から受信して測位できていない と、選べません。</li> <li>カメラが水中にあります。水中では選べません。</li> </ul>	157 95 
位置情報設定メニュー の[ <b>ログ取得</b> ]が選べ ない	カメラの時計が設定されていません。日付と時刻 を設定してください。	163



故障かな?と思ったら



こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш Ш
[全ログ取得開始] や [位置情報ログ取得開 始] が選べない	<ul> <li>位置情報設定メニューの [内蔵位置情報記録] が [しない] になっています。</li> <li>ログ取得中です。新しくログを取得するとき は、[全ログ取得終了] または [位置情報ログ 取得終了] を選び、取得中のログを終了してく ださい。</li> </ul>	157 103、159
ログデータを保存でき ない	<ul> <li>メモリーカードが入っているか確認してください。</li> <li>記録できるログデータの数は、位置情報ログが1日に36件まで、高度ログ、水深ログがそれぞれ71日に34件までです。</li> <li>1枚のメモリーカードに保存できるログデータは、位置情報ログが最大100件まで、高度/水深ログが合わせて最大100件まで、高度/水深ログが合わせて最大100件までの、合計200件までです。不要なログデータをメモリーカードから削除するか、新しいメモリーカードに交換してください。</li> </ul>	11、103、 204
位置情報設定メニュー の [ <b>衛星による日時合</b> わせ] が選べない	位置情報設定メニューの[ <b>内蔵位置情報記録</b> ]が [ <b>しない</b> ]になっています。	157



故障かな?と思ったら



# 外部機器関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	- m
<b>こんなときは</b> スマートフォン/タブ レットと無線接続でき ない*	<ul> <li>考えられる原因や対処法</li> <li>はじめて無線接続するときは、付属の [SnapBridge 接続ガイド]に従って、接続して ください。</li> <li>無線接続済みの場合、以下の操作をしてください。</li> <li>カメラの電源を入れ直してください。</li> <li>SnapBridgeアブリを再起動してください。</li> <li>一度接続を解除してから再度接続してくだ さい。</li> <li>カメラの「通信メニュー」の設定を確認してく ださい。</li> <li>[機内モード]を[しない]にしてください。</li> <li>[Bluetooth] → [通信機能]を[有効]にし てください。</li> <li>カメラの接続先に、2台以上のスマートフォン/</li> </ul>	 154
	タブレットを登録した場合、カメラの「通信メ ニュー] → [Bluetooth] → [ペアリング済み 機器]で、接続したいスマートフォン/タブレッ トを選んでください。 SnapBridge アブリの接続先に2 台以上のカメ ラを登録したときは、アプリ側で接続先を切り 換えてください。	
	<ul> <li>十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>残量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。</li> </ul>	11
	<ul> <li>HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してく ださい。</li> </ul>	109
	<ul> <li>スマートフォン / タブレットの Bluetooth、Wi- Fiおよび位置情報機能の設定を有効にしてください。</li> </ul>	_
	<ul> <li>SnapBridgeアプリの</li> <li>A (自動連携)をON にしてください。OFFの場合、</li> <li>(画像取り込み)および (リモート撮影)は</li> <li>(使えますが、画像の自動送信はできません。</li> </ul>	_



중 資料

故障かな?と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	
SnapBridge アプリで 無線接続中のスマート フォン/タブレットに 画像を送信できない <sup>*</sup>	<ul> <li>・ 自動送信するときは、以下の操作をしてください。</li> <li>- カメラの[通信メニュー] → [撮影時画像送 信] → [静止画] を [する] にしてください。</li> <li>- SnapBridge アブリの ○ タブ → [自動連携 設定] → [自動連携] を ON にしてください。</li> <li>- SnapBridge アブリの ○ タブ → [自動連携 設定] → [自動車送] を ON にしてください。</li> <li>- カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth]</li> <li>→ [電源オフ中の通信] が [しない] のとき は、カメラの電源を ON にするか、[する] に してください。</li> </ul>	154  155
	<ul> <li>Bluetooth 通信時に送信するコマ数が多いときは、画像送信中に通信が切断されることがあります。LED ライトを消灯し、カメラの電源を入れなおすと、スマートフォン/タブレットに再接続され、[撮影時面像送信]、[送信画像の指定] では画像送信が再開されます。</li> <li>カメラにメモリーカードを入れてください。内蔵メモリーに保存されている画像は送信できません。</li> <li>カメラの操作中は、画像の送信機能が使えないことや、送信が停止することがあります。</li> </ul>	 11、155 
SnapBridge アプリで 無線接続中のスマート フォン/タブレットか らリモート撮影ができ ない <sup>※</sup>	<ul> <li>カメラにメモリーカードが入っていないときは、リモート撮影はできません。メモリーカードを入れてください。</li> <li>カメラの操作中は、リモート撮影が使えないことがあります。</li> </ul>	155 —
SnapBridge アプリで、 静止画をオリジナルサ イズで送信できない <sup>※</sup>	カメラの[ <b>撮影時画像送信</b> ] および[ <b>送信画像の 指定</b> ] では、取り込む画像サイズは2Mサイズに 制限されます。オリジナルサイズで静止画を取り 込むには、SnapBridgeアブリの[ <b>画像取り込み</b> ] をお使いください。	_
接続中のスマートフォ ン/タブレットやパソ コンに、カメラ内の画 像が表示されない	カメラ内のメモリーカードに保存された画像など が10,000個を超えると、それ以降に撮影した画像 は、接続した機器に表示されないことがあります。 ・メモリーカード内の画像数を減らしてください。 必要な画像はパソコンなどに保存してください。	_



6 資料

故障かな?と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш Ш
画像がテレビに映らない	<ul> <li>パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。</li> <li>メモリーカードに画像が記録されていません。</li> <li>内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。</li> </ul>	- - 12
カメラをパソコンに接 続しても、Nikon Transfer 2が自動起動 しない	<ul> <li>カメラの電源が OFF になっています。</li> <li>電池残量がありません。</li> <li>USB ケーブルが正しく接続されていません。</li> <li>パソコンにカメラが正しく認識されていません。</li> <li>Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になって います。Nikon Transfer 2 については、NX Studio のヘルプをご覧ください。</li> </ul>	_ 109、176 109、115 _ _
カメラをプリンターに 接続しても、 PictBridge画面が表示 されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、 セットアップメニュー [パソコン接続充電]を [オート] に設定していると、PictBridge画面が表 示されず、プリントできない場合があります。[パ ソコン接続充電] を [しない] にしてプリンター に接続し直してください。	120、176
プリントする画像が表 示されない	<ul> <li>メモリーカードに画像が記録されていません。</li> <li>内蔵メモリーの画像をプリントするには、メモリーカードを取り出してください。</li> </ul>	_ 12
カメラ側で用紙設定が できない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカ メラで「用紙設定」ができません。プリンター側 で用紙サイズを設定してください。 ・カメラ側で設定した用紙サイズにプリンター が対応していません。 ・自動的に用紙サイズを認識するプリンターを 使っています。	-

※ 付属の「SnapBridge接続ガイド」、およびSnapBridgeアプリのオンラインヘルプも あわせてご覧ください。





# 記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けら れます。

ファイル名: DSCN0001.JPG

1 2 3

①識別子	カメラの画面には表示されません。 ・ DSCN:編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画 ・ SSCN:スモールピクチャー画像 ・ RSCN:トリミング画像 ・ FSCN:トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成 した画像、動画編集で作成した動画	
②ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。	
③拡張子	ファイルの種類を示します。 • JPG:静止画 • .MP4:動画	



記録データのファイル名

✓ メモリーカードに保存したログデータについて

ログデータはメモリーカードの「NCFL」フォルダーに保存されます。

# ファイル名: N<u>171115 0 .LOG</u> ① ② ③

①日付	ログ取得開 ます。	1始した日付(西暦の下二桁と月日:YYMMDD)が付けられ
②識別番号	<ul> <li>同じ日付のログデータを取得順で管理するために、0から順に付けられます。</li> <li>・ 位置情報ログ:0~9、A~Zの合計36文字</li> <li>・ 高度 / 水深ログ:0~9、A~H、J~N、P~Zの合計34文字</li> </ul>	
	ファイルの	)種類を示します。
③拡張子	.LOG	位置情報ログ
	.LGA	高度ログ
	.LGB	水深ログ

- 位置情報ログ:1日に36ファイル、1枚のメモリーカードに100ファイルまで記 録できます。
- 高度ログ/水深ログ:1日に各34ファイル、1枚のメモリーカードに計100ファイ ルまで記録できます。



記録データのファイル名

# 使用できるアクセサリー

充電器	<b>バッテリーチャージャー MH-65P<sup>※1</sup></b> 残量のない状態からの充電時間は、約2時間 <b>30</b> 分です。
ACアダブター	ACアダプターEH-62F <sup>**2</sup> <取り付け方>
	AC アタフターのコードをAC アタフターの溝に奥まで人れてか ら電池室に入れてください。 • AC アダプターの使用中は電池 / メモリーカードカバーを閉め られないため、AC アダプターのコードを引っ張らないように ご注意ください。 コードが引っ張られると電源の接続状態が不良になり、電源が OFF してしまいます。
水中スピードライト	水中スピードライトSB-N10 COOLPIX W300に装着するには、水中光ファイバーケーブルア ダブターSR-CP10A(別売)、水中光ファイバーケーブルSC-N10A (別売)、および水中ブラケットSK-N10A(別売)が必要です。カ メラへの装着方法→□206

- ※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。
- ※2 日本国内専用電源コード(AC 100 V対応)付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。 また、オンラインショップ(ニコンダイレクト)http://shop.nikon-image.com/でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。 アクセサリーの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。



205

資料

# 水中スピードライトの装着方法

COOLPIX W300に水中スピードライトSB-N10を装着して水中でフラッシュ撮影ができます。撮影するときはセットアップメニュー [水中フラッシュ](□170)を[する]にしてください。



水中光ファイバーケーブルアダプター SR-CP10A (別売)

206

- 1 固定ガイド
- 2 ステー
- 3 グリップ固定ネジ
- 4 グリップ
- 5 ストラップフック
- 6 ケース/アダプター固定ネジ
- 7 M4 六角レンチ

- 8 コネクター (SB-N10接続側)
- **9** ケーブル
- 10 コネクター (SR-CP10A 接続側)
- 11 カメラ固定ネジ
- 12 光ファイバーコネクター
- 13 アダプター固定ネジ穴



必ず、水中スピードライトおよびカメラの電源がOFFの状態で作業を行ってください。

### カメラを、水中光ファイバーケーブルア ダプターに取り付ける

 カメラの三脚ネジ穴にアダプターのカメラ固定 ネジを合わせ、しっかり締めて固定します。

### ✔ ご注意

カメラ固定ネジを三脚ネジ穴に合わせるときは、斜 めにねじ込んだり、無理な力をかけたりしないでく ださい。三脚ネジ穴が破損する場合があります。

# 水中ブラケットのグリップに、水中ス ピードライトを取り付ける

水中スピードライトの固定ボルトをしっかり締めて固定します。





# 3 カメラを取り付けたアダプターを、水中 ブラケットに取り付ける

 アダプター固定ネジ穴に、ブラケットのケース/ アダプター固定ネジを合わせ、アダプターとブ ラケットが動く程度に軽く締めます。









- 4 水中光ファイバーケーブルを、アダプ ターに取り付ける
  - ケーブル直線部が長い方のコネクター(SR-CP10A接続側)を、アダプターの光ファイバー コネクターに差し込みます。
  - コネクターを差し込んだら、アダプターの溝(2 箇所)にケーブルを通します。
  - カメラとケーブルを取り付けたアダプ ターを、ステーの固定ガイドに当たるま でスライドさせる
  - ケーブルがアダプターの満から外れないように ご注意ください。
- 6 ブラケットのケース / アダプター固定ネ ジを締めて、アダプターを固定する

7 ブラケットのグリップ内に、水中光ファ イバーケーブルを下側から上側に向かっ て通す











ら 資料

5

8 水中スピードライトのセンサーカバーを 開く



9 コネクター(SB-N10接続側)を水中スピー ドライトの光ファイバーソケットにしっ かりと差し込む





 水中スピードライトやカメラを水中ブラケットから取り外す場合は、逆の手順で 行ってください。



209

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX W300

뀌士	コンパクトデジタルカメラ	
月別回茶致		
<b>撮像素</b> 子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数16/9万画素	
レンズ	光学5倍ズーム、NIKKORレンズ	
焦点距離	4.3-21.5 mm (35mm判換算24-120 mm相当の撮影画角)	
開放F値	f/2.8-4.9	
レンズ構成	10群12枚(EDレンズ2枚)	
電子ズーム倍率	最大4倍(35mm判換算で約 480 mm相当の撮影画角)	
手ブレ補正機能	レンズシフト方式と電子式の併用	
オートフォーカス	コントラスト検出方式	
撮影距離範囲	<ul> <li>・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、</li> <li>約 50 cm ~∞ (望遠側)</li> <li>・ マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~∞ (広角側)</li> </ul>	
AFエリア	顔認識オート、マニュアル( <b>99</b> 点)、中央、ターゲット追 尾、ターゲットファインド <b>AF</b>	
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約 92万ドット、輝度調節機能付き(5段階)	
視野率(撮影時)	上下左右とも約97%(対実画面)	
視野率(再生時)	上下左右とも約100%(対実画面)	
記録方式		
記録媒体	内蔵メモリー (約99 MB)、SD/SDHC/SDXCメモリーカード	
対応規格	DCF、Exif 2.31準拠	
	静止面:IPFG	
ファイル形式	動画:MP4(映像:H.264/MPEG-4 AVC、音声:AACス テレオ)	
記録画素数		
静止画	16M(高画質)[4608×3456★]、16M [4608×3456]、 8M [3264×2448]、4M [2272×1704]、 2M [1600×1200]、VGA [640×480]、 16:912M [4608×2592]、1:1 [3456×3456]	
動画 <sup>※1</sup>	2160/30p (4K UHD)、2160/25p (4K UHD)、1080/30p、 1080/25p、1080/60p、1080/50p、720/30p、720/25p、 480/30p、480/25p、HS 480/4倍、HS 1080/0.5倍	



ISO感度 (標準出力感度)	<ul> <li>ISO 125~1600</li> <li>ISO 3200、6400(オート撮影モード時に設定可能)</li> </ul>
露出 測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光(電子ズームが2倍 未満のとき)、スポット測光(電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	フロクラムオート、露出補止(±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul> <li>1/1500~1秒</li> <li>1/4000秒(高速連写時の最高速)</li> <li>25秒(シーンモードの[比較明合成]の[星軌跡])</li> </ul>
絞り	電磁駆動による絞り開口 (-1 AV) およびNDフィルター (-2 AV) 選択方式
制御段数	3(f/2.8、f/4.1、f/8.2 [広角側])
セルフタイマー	<ul> <li>10秒、2秒</li> <li>5秒(自分撮りタイマー)</li> </ul>
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約 0.5~5.2 m(広角側) 約 0.5~4.5 m(望遠側)
	モニター発光によるTTL目動調光
外部インダーフェース USB端子	Micro-USB端子(付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB ・ ダイレクトプリント(PictBridge)対応
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子(Type D)
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g(無線LAN標準プロトコル)
周波数範囲(中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11 ch)
出力	11.3 dBm (EIRP)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
周波数範囲(中心周波数)	Bluetooth : 2402~2480 MHz Bluetooth Low Energy : 2402~2480 MHz
電子コンパス	16方位(3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動偏角補正付き、自動オフセット調整機能付き)
位置情報機能	<ul> <li>GPS:受信周波数:1575.42 MHz、測地系:WGS 84</li> <li>GLONASS:受信周波数:1598.0625 MHz ~ 1605.3750 MHz、測地系:WGS 84</li> </ul>

気圧計	表示範囲:約500~4600 hPa
高度計	表示範囲:約-300~+4500 m(-984~+14760 ft)
水深計	表示範囲:約0~35 m(0~114 ft)
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12(リチウム イオン充電池:付属)×1個 ACアダプター EH-62F(別売)
充電時間	約 2時間20分(本体充電ACアダプター EH-73P使用時、 残量のない状態からの充電時間)
電池寿命 <sup>※2</sup>	
静止画撮影時	約 280コマ(EN-EL12使用時)
動画撮影時(実撮影電 池寿命) <sup>※3</sup>	約1時間(1080/30p、EN-EL12使用時) 約1時間(1080/25p、EN-EL12使用時)
LEDライト	あり
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法(幅×高さ×奥行き)	約 111.5×66.0×29.0 mm(突起部除く)
質量	約 231g(電池、メモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	-10℃~+40℃(陸上) 0℃~40℃(水中)
使用湿度	85%以下(結露しないこと)
防水性能	JIS/IEC保護等級8(IPX8)相当(当社試験条件による)水 深30m、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC保護等級 6(IP6X)相当(当社試験条件による)
耐衝撃性能	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験 条件 <sup>(※4)</sup> をクリアー

• 仕様データは、CIPA(カメラ映像機器工業会)の規格またはガイドラインに準拠 しています。

- ※1 電池の温度が0℃未満のときは、2160/30p(4K UHD)、2160/25p(4K UHD)、 1080/60p、1080/50p、HS 480/4倍、HS 1080/0.5倍の動画は撮影できません。
- ※2 電池寿命は、SnapBridgeおよびLEDライトを使用していないときの値です。また、 使用温度、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異 なります。
- ※3 動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、メモリーカードの残量 が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。[動画設定]が 1080/30pの場合は、最長約27分までです。 カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあり ます。
- ※4 高さ240 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます(落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします)。 すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。



212

主な仕様

### Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池	
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh	
使用温度	0°C∼40°C	
寸法(幅×高さ×奥行き)	約 32×43.8×7.9 mm	
質量	約 22.5 g	

### 本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC
定格入力容量	12
定格出力	D
使用温度	<b>0</b> °C
寸法(幅×高さ×奥行き)	約
質量	約

AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A 2-18 VA DC 5.0 V、1.0 A )で~40℃ 约 55×22×54 mm 约 51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。 ~ AC (交流)、--- DC (直流)、回 クラス I 機器 (二重絶縁構造)

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



# 使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- UHS-Iに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。動画のサイズ/フレームレートが [2006/2160/30p] (4K UHD) または [2006/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメー カーにお問い合わせください。

### 商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商 標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録 商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用し ています。
- Apple<sup>®</sup>、App Store<sup>®</sup>、Apple□ゴ、Mac、OS X、macOS、iPhone<sup>®</sup>、iPad<sup>®</sup>、 iPod touch<sup>®</sup>およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商 標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社(http://www.aiphone.co.jp/)のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。 Android ロボットは、Google が作成および提供している作品から複製または 変更したものであり、クリエイティブ・コモンズ表示 3.0 ライセンスに記載さ れた条件に従って使用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンス に基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C,LLCの商標です。



214



- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMI□ゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

### ноті

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

"Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

# AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。 (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVC ビデオといいます) (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または

AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許 諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

# FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (http://www.freetype.org)のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

# MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2017 The HarfBuzz Project (http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz) のものです。すべての 権利はその所有者に帰属します。





# 地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX W300(以下「本製品」という)に搭載されている地名情報データ(以下「本データ」という)は、次の条件で、ご使用頂けます。

#### データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定

株式会社ニコン(以下「ニコン」という)又はニコンのライセンサーは、本デー タの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニ コンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ 非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使 用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売さ れるものではありません。

#### 2. 禁止事項

お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。

- (1) サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用すること。
- (2) インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
- (3)測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と 併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置に は、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポ ケットベル、携帯情報端末(PDA)が含まれますが、これらに限定されるも のではありません。
- (4) 本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は 一部を媒体の如何を問わず複製すること。
- (5)本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆 アセンブル等すること。
- (6)法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再 使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
- (7) 本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
- (8) その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。





3.警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性 質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには 不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権

本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により 保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他 の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責

ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じる お客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いませ ん。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありま せん。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利 を留保します。

6. その他

本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本 データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

# **Government End Users.**

If the Data supplied by HERE is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:



Notice of Use Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: HERE Contractor (Manufacturer/Supplier) Address: 425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606 This Data is a commercial item as defined in FAR 2.101 and is subject to the End-User Terms under which this Data was provided. © 2017 HERE All Rights Reserved

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify HERE prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

# 許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地名情報データについて



本サービスは株式会社ゼンリンのPOI(位置情報)を使用して います。"ゼンリン"は株式会社ゼンリンの登録商標です。 © ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

●日本以外の地名情報データについて



© 2017 HERE All Rights Reserved



Austria: © Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen

Belgium: © - Distribution & Copyright CIRB

Croatia/Cyprus/Estonia/Latvia/Lithuania/Moldova/Poland/Slovenia/Ukraine: © EuroGeographics Denmark: Contains data that is made available by the Danish Geodata Agency (FOT) Retrieved by HERE 01/ 2014

Finland: Contains data from the National Land Survey of Finland Topographic Database 06/2012. (Terms of Use available at http://www.maanmittauslaitos.fi/en/NL5\_open\_data\_licence\_version1\_20120501). Contains data that is made available by Itella in accordance with the terms available at http://www.itella.fi/ liitteet/palvelutiatuotteet/httestietopalvelut/

uusi\_postal\_code\_services\_service\_description\_and\_terms\_of\_use.pdf. Retrieved by HERE 09/2013 **France:** source: © IGN 2009 – BD TOPO ®

**Germany:** Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen Contains content of "BayrischeVermessungsverwaltung – www.geodaten.bayern.de", licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode

Contains content of "LGL, www.lgl-bw.de", licensed in accordance with http://creativecommons.org/ licenses/by/3.0/legalcode

Contains content of "Stadt Köln – offenedaten-koeln.de", licensed in accordance with http:// creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode

Contains Content of "Geoportal Berlin / ATKIS® Basis-DLM", licensed in accordance with http:// www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzlll.pdf

Contains Content of "Geoportal Berlin / Karte von Berlin 1:5000 (KS-Farbausgabe)", licensed in accordance with http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzlll.pdf

Great Britain: Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010

Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010

Greece: Copyright Geomatics Ltd.

Italy: La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.

Contains data from Trasporto Passeggeri Emilia-Romagna- S.p.A.

Includes content of Comune di Bologna licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/ legalcode and updated by licensee July 1, 2013.

Includes content of Comune di Cesena licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/ legalcode and updated by licensee July 1, 2013.

Includes contents of Ministero della Salute, and Regione Sicilia, licensed under http://www.formez.it/iodl/ and updated by licensee September 1, 2013.

Includes contents of Provincia di Enna, Comune di Torino, Comune di Pisa, Comune di Trapani, Comune di Vicenza, Regione Lombardia, Regione Umbria, licensed under http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/ and updated by licensee September 1, 2013.

Includes content of GeoforUs, licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/ legalcode.

Includes content of Comune di Milano, licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/it/legalcode and updated by licensee November 1, 2013.

Includes content of the "Comunità Montana della Carnia", licensed under http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/ and updated by licensee December 1, 2013.

Includes content of "Agenzia per la mobilità" licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/ legalcode and updated by licensee January 1, 2014.

Includes content of Regione Sardegna, licensed under http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/ and updated by licensee May 1, 2014.

Includes content of CISIS, licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/legalcode. Norway: Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority

Includes data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD), available at http://data.norge.no/nlod/en/1.0

Contains information copyrighted by © Kartverket, made available in accordance with http:// creativecommons.org/licenses/by/3.0/no/.



219



地名情報データ使用許諾契約書

Contains data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD) distributed by Norwegian Public Roads Administration (NPRA)

Portugal: Source: IgeoE - Portugal

Spain: Información geográfica propiedad del CNIG

Contains data that is made available by the Generalitat de Catalunya Government in accordance with the terms available at http://www.gencat.cat/web/eng/avis\_legal.htm. Retrieved by HERE 05/2013. Contains content of Centro Municipal de Informatica - Malaga, licensed in accordance with http:// creativecommons.org/licenses/by /3.0/legalcode.

Contains content of Administración General de la Comunidad Autónoma de Euskadi, licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode

Contains data made available by the Ayuntamiento de Santander, licensed in accordance with http:// creativecommons.org/licenses/by/3.0/es/legalcode.es

Contains data of Aiuntament de Sabadell, licensed per http://creativecommons.org/licences/by/3.0/ legalcode, updated 4/2013

Sweden: Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.

Contains public data, licensed under Go Open v1.0, available at http://data.goteborg.se/goopen/ Avtal%20GoOpen%201.0.0.pdf

Switzerland: Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie

United Kingdom: Contains public sector information licensed under the Open Government Licence v1.0 (see for the license http://www.nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/)

Adapted from data from the office for National Statistics licensed under the Open Government Licence v.1.0 Canada: This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including @ Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.

Mexico: Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)

United States: ©United States Postal Service® 2013. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4.

Includes data available from the U.S. Geological Survey.

Australia: Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).

Product incorporates data which is © 2013 Telstra Corporation Limited, Intelematics Australia Pty Ltd and HERE International LLC.

Nepal: Copyright © Survey Department, Government of Nepal.

Sri Lanka: This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka

© 2009 Survey Department of Sri Lanka

The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka

Israel: © Survey of Israel data source

Jordan: © Royal Jordanian Geographic Centre.

Mozambigue: Certain Data for Mozambigue provided by Cenacarta © 2013 by Cenacarta Nicaragua: The Pacific Ocean and Caribbean Sea maritime borders have not been entirely defined. Northern land border defined by the natural course of the Coco River (also known as Segovia River or Wangki River) corresponds to the source of information available at the moment of its representation.

Réunion: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

Ecuador: INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO

AUTORIZACION Nº IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011

Guadeloupe: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

Guatemala: Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL - Resolución del IGN No 186-2011

French Guiana: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

Martinique: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

地名情報データ使用許諾契約書

**~ 資料** 



# 索引

マーク・英数	
	28
ᅋ シーンモード	30
✿ クリエイティブモード 26、	40
🕑 ベストフェイスモード	42
■ ショートムービーショーモード	
	88
▲ オート撮影モート	4/
	21
	69
< 狙八衣小 21、 ₩ 広色ブー/、 3	56
<ul> <li>₩ 広内へ ム</li></ul>	50
■ 9 3 4 17 0 3 King 2 King	56
ELED ライトボタン	20
( アクションボタン	24
🛚 決定ボタン	20
▶ 再生ボタン 3、	21
	22
🖸 撮影モードボタン	26
◙ ツールボタン3、1	05
● (▶ 動画撮影) ボタン	20
MENU メニューボタン 3、1	20
セルフタイマー	52
	50
▼ マクロモート	54
▲ 路山佃山 42、47、49、 1 コマ表示	22
$AC P \vec{\nabla} \vec{\nabla} \vec{\nabla} \vec{\nabla} = 109.2$	05
AE Tリア	19
AF エリア選択 123、124、135、1	45
AF 表示	. 4
AF 補助光	69
AF モード 123、124、138、1	46
A-GPS ファイル	99
BGM	88
Bluetooth 125、1	55
<b>U-</b> フイティンク74、1	25

HDMI ケーブル 108、110
HDMI マイクロ端子 2、109
HDR 33
HS 動画 142、144
ISO 感度設定 123、134
LED ライト
LED ライトタイマー 127、172
Li-ion リチャージャブルバッテリー
Micro-USB 端子
NX Studio 115
PictBridge 108、111
POI 情報
POI 設定
SD メモリーカード 11、185、214
SnapBridge アプリ 15
USB ケーブル
Wi-Fi 125、154

### ア

赤目軽減自動発光 51
赤目補正
アクション画像送り 24、127、171
アクション操作
アクション操作の感度 127、171
アクティブ D- ライティング
アクティブガイド
鮮やかさ 42、47
圧縮率 128
アプリ15
位置情報
位置情報設定
位置情報設定メニュー 120、157
色合い 47
打ち上げ花火 🕲
衛星による日時合わせ 126、160
笑顔自動シャッター
オート撮影モード



オートパワーオフ	20、	127、	172
オートフォーカス	60、	138、	146
おまかせシーンモー	- ド	26	28
音量			91

# カ

カードの初期化 12、	. 127、	173
顔認識オート	135、	145
顔認識撮影		58
拡大表示	21.	67
風切り音低減	. 124、	148
画像回転	125、	151
画像コピー	125、	152
画像コメント	127、	174
画像編集		72
画像モード	123、	128
画像モニター	3	3、4
画面の明るさ		165
カレンダー表示		. 68
かんたんパノラマロ	30.	. 37
かんたんパノラマ再生		39
簡単レタッチ	73、	125
感度制限オート		134
気圧表示		100
機内モード	125、	154
逆光 🖺	30.	. 33
強制発光		51
記録可能コマ数	19、	129
記録可能時間	80	. 81
クイックエフェクト		72
組み合わせて使えない機能		. 64
クリエイティブスライダー		. 47
クリエイティブモード	26、	40
グループ表示設定	125、	153
クローズアップ 🗱	30.	32
言語 /Language	127、	173
広角ズーム	18、	56
光学ズーム	18、	56
高速連写		132
高度 / 水深設定	126、	162
高度計		100
高度表示		100

高度ログ 101、104
サ
再生 21.70.91
再生メニュー 120 149
再生モード 21
日上に「132 133
削除 22 71
用标
場影 (10、20) 場影 (10、20)
服於回致
取於同常
烟影夜00回家衣小103 坦影咕面海洋信 125 154
版於时回该还后
1111111111111111111111111111111111111
版影日一見七一 ト
振影メニュー 120、130
撮影モート
サマータイム
サムネイル表示
三脚ネジ穴
シーンモード
時差 164
自動発光 51
自分撮りタイマー 52
絞り値 57
シャッター音 170
シャッター音の設定 139
シャッタースピード 57
シャッターボタン
充電器
····································
ショートムービーショーメニュー
ショートムービーショーモード
26, 88
常時 AF138、146
使用できるアクヤサリー
情報合成画像 76.125
初期化 12, 173
シングル AF 138 146
スーパーラプス動画 750、140
ズー/、 12 56
7 - 1 + 1 + 1 = 3 10 56
ハ ムレハ
小/木口 100





6 資料

索引

水深表示			100
水深ログ		. 101、	104
水中 🛎		30、	36
水中フラッシュ	127、	170、	206
ストラップ			10
ストラップ取り付け部			2
スピーカー			3
スペシャルエフェクト		88、	90
スポーツ <b>ミ</b>		30	31
スマートフォンと接続		. 125、	154
スマートフォンと同期			163
スモールピクチャー		77、	125
スライドショー		. 125、	150
スローシンクロ			51
スローモーション撮影		142、	144
静止画手ブレ補正		. 127、	168
静止画の切り出し		91、	93
接写			. 54
設定音			170
設定クリアー		. 127、	177
設定の初期化		. 125、	155
セットアップメニュー		. 120、	163
セルフコラージュ	. 45、	123、	139
セルフタイマー		49、	52
セルフタイマーランプ		2、	52
操作音		. 127、	170
送信画像の指定		. 125、	149
ソフト			. 42
5			

# <u>9</u>

ターゲット追尾	. 136、	137
ターゲットファインド AF	59、	136
タイムゾーン	16、	163
タイムラプス動画 뎞	30、	85
ダイレクトプリント	108、	111
単写		132
地域と日時 15、	127、	163
著作権情報	. 127、	175
通信メニュー	. 120、	154
テレビ	. 108、	110
電源スイッチ / 電源ランプ	2.	. 15
電子コンパス設定	. 126、	161

電子ズーム 56、127、169
電池11、212
電池 / メモリーカードカバー
電池残量 19
動画再生
動画撮影
動画撮影中の静止画記録
動画照明 124、147
動画設定
動画手ブレ補正 124、147
動画編集
動画メニュー 120、141
トリミング
トワイライト 🚖 30

<u>+</u>	
内蔵メモリー	11
内蔵メモリーの初期化	173
内蔵メモリー表示	6
夏時間	164
日時の設定15、	163
認証マークの表示127、	177

# <u>Л</u>

バージョン情報	127、177
パーティー 💥	30、31
パソコン	108、115
パソコン接続充電	127、176
発光禁止	51
バッテリーチャージャー	205
半押し	19、57
ビーチ 🗣	
比較明合成 🔊	
ヒストグラム表示	55
日付写し込み	127、167
日付の表示順	16、163
美肌	
ピント 19、57、135、	138、145、146
ファイル名	203
ファンデーション	
風景 🖬	
フォーカスロック撮影	61

6



6 資料

# <u>र</u>

マイク (ステレオ)	2
マクロモード 49、	54
マルチセレクター	120
メイクアップ効果	125
目つぶり軽減 123、	140
メモリーカード 11、185、	214
メモリーカードスロット	11
メモリーカードの初期化	173
メモリーの初期化127、	173
モニター設定 127、	165
モニター表示設定	165

# 7

夜景 🖬	. 30、	32
夜景ポートレート 🖉	. 30、	31
夕焼け 🚔		. 30
雪 &		. 30
用紙設定	112、	113

# ∍

 陸上専用ストラップ	. 10
料理 ¶	32
連写 123、	132

レンズ					2、	210
ログ取得9	5、	10	1、	12	6、	159
ログデータ表示		10	4、	12	6、	160
露出補正	42	2、	47		49、	55

# 資料 索引








# ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコ ン映像製品の総合情報拠点です。

※ ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。イン ターネットでの事前予約が必要となります。詳細については、下記のホームページを ご覧ください。

# ニコンプラザショールーム ナビダイヤル 0570-02-8080

### ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル 0570-02-8060

- ・
   音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセン ター(03)6702-0577におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URL をご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/showroom/



# 修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

### 修理センター ナビダイヤル 0570-02-8200

**ら** 資料

ニコンプラザについて

- ・ 営業時間などの詳細については、上記のホームページをご覧ください。
   https://www.nikon-image.com/support/repair/
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。



# 修理サービスのご案内

#### ■インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。 下記のホームページからお申込みいただけます。

### https://www.nikon-image.com/support/repair/



 ニコンピックアップサービスで発送する場合 ご自宅への修理品専用梱包資材のお届けから修理完了品の返 送までをセットでご提供いたします。詳細については、上記のホームページを ご覧ください。

#### ■お電話でのお申込み

お電話でもニコンピックアップサービスをご利用いただけます。詳細については、 上記のホームページをご覧ください。

### ニコンピックアップサービス専用フリーダイヤル 0120-02-8155

#### ■サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。インター ネットでの事前予約が必要となります。詳細については、上記のホームページを ご覧ください。

#### ■補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内を、修理可能期間とさせ ていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、 ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。ま た、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期 間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス 機関にお任せください。



227



修理サービスのご案内

# 製品の使い方に関するお問い合わせ先

### ■インターネットでのお問い合わせ https://www.nikon-image.com/support/contact/

#### ■お電話でのお問い合わせ

お電話でお問い合わせいただく前に本説明書の「故障かな?と思ったら」 をご参照 ください。

### ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル 0570-02-8000

- 営業時間などの詳細については、上記のホームページをご覧ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

### 💼 ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内 🛚

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力 をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重 要なお知らせなどをメールでご案内いたします。ニコンイメージング会員登録お よび製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

### ニコンイメージング会員のご案内

### https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

### ■■■■ ニコンイメージングサポートページのご案内 ■

### https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報 をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、 定期的なアクセスをおすすめします。





CT2D08(10) 6MQA6410-08

© 2017 Nikon Corporation